

防府市文化協会

20年のあゆみ



創立 20 周年記念

平成 31 年 3 月



防府市美術連盟

初代会長 鱈石 俊男 作

防府市文化協会宣言

平成10年10月16日

本協会は「芸術・文化を通じて
市民の文化意識の向上を図ると共に、
自主的な文化活動を促進し、
人間性豊かな心のふれあいによる、
薰り高い文化に富んだまちづくりに
貢献すること」を目的とする。



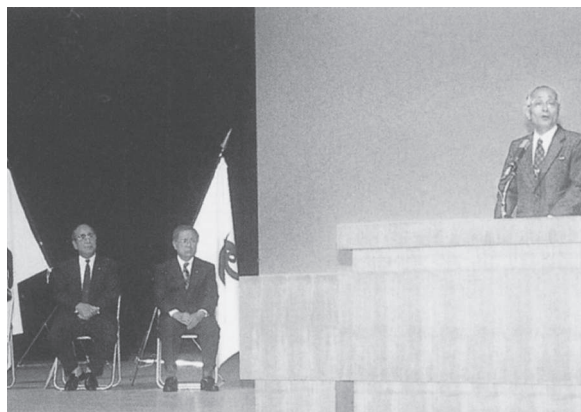
防府市全景（大平山頂より、平成30年秋）

防府市文化協会の誕生について

平成10年6月に、それまで昭和45年から防府市の文化振興の推進役を果たして来た「防府の文化を高める会」が、「(財)防府市文化振興財団」と「防府市文化協会」に発展的に移行し、それぞれの役割分担をもって、防府市の文化振興を図ることとなりました。

そこで、防府市文化協会は、市民の創意と工夫に基づく新しい文化活動を促進する団体として、(財)防府市文化振興財団とは車の両輪の様に手を携えながら、防府市の文化事業を推進して行くことになったのです。(ただし「(財)防府市文化振興財団」は平成23年4月より「(公財)防府市文化振興財団」となる。)

平成10年度中に諸準備が進められました。



文化協会・文化振興財団設立報告



文化協会・文化振興財団へ引継ぎ

平成11年度から防府市文化協会の活動が始まりました。



中国胡弓公演(平成11年4月3日)



平成11年度文化振興奨励賞表彰式
(平成11年6月26日)

目 次

防府市文化協会宣言	1	
防府市文化協会の誕生について	2	
ごあいさつ 防府市文化協会会長	岡本 早智子	4
祝 辞 防府市長	池田 豊	5
祝 辞 防府市議会議長	松村 学	6
祝 辞 防府市教育委員会教育長	江山 稔	7
祝 辞 防府市商工会議所会頭	喜多村 誠	8
ごあいさつ 市民文化活動支援事業部会 部会長	深田 慎治	9
1. 20年間の主な活動記録	10	
2. 加入文化団体の紹介	36	
3. 会 則 等	64	
4. 表 彰	73	
・「文化振興奨励賞」受賞者一覧	73	
・「文 芸 賞」受賞者一覧	75	
・「支援事業振興賞」受賞企業一覧	77	
5. 市民文化活動支援事業助成金交付状況	78	
6. 会員名簿（団体、個人、支援事業部）	81	
7. 歴 代 の 役 員	83	
事務局からのお知らせ	87	
編 集 後 記	88	

防府市文化協会創立二十周年を迎えて



防府市文化協会 会長

岡 本 早智子

この度、防府市文化協会は創立二十周年を迎え、この節目に当たり創立以来二十年間の歩みをまとめた記念誌の刊行に取り組んでまいりましたが、お蔭様でこゝに発刊の運びとなりました。

振り返れば当協会は、平成十年六月に、防府市民の文化意識の向上を図ると共に、防府市民の創意と工夫による自主的文化活動を促進し、薫り高い文化に富んだ防府のまちづくりに貢献することを目的とする団体として誕生しました。

爾来、今日までの二十年の間には、先ず、誕生して約十年間は、県外や国外からも立派な芸術・文化団体を招くなどして、公演等を通して、市民の文化意識の向上を図ると共に、「市民文芸表彰」や「市民文化祭」の充実により、市民の自主的文化活動を促進して、防府市文化協会の基礎をしっかりと定着させております。

次の五年間、即ち十周年から十五周年の間には、それまでに築かれた団体基盤を大切にしながらも、時代や社会の要請に応えられる運営が出来るように、また、真にふるさと防府に根ざした芸術・文化活動が促進されるように、当協会の会則や規約等の見直しも行われ、当協会のよりよい方向への発展が図られました。

以後、二十周年を迎えた今年度までの五年間については、いよいよ順調に年間事業計画に沿って、「文化振興奨励事業」「市民文化活動支援事業」「市民文芸表彰」「民俗芸能発展継承事業」「自主公演事業」等、そして、170を越える当協会加入団体による「防府市民文化祭」や自主的創造的な文化・芸術活動を熱意をもって推進して来たところです。特にこの中で、加入団体の自主的創造的な文化活動がまちづくりに直接役立ち、貢献している事例がみられるようになったことは、当協会として誇れる成果であると嬉しく思っているところです。

このような当協会の今日までの発展も、偏に歴代の役員並びに会員の皆さまのご研鑽・ご協力の賜であり、また、広く市民や関係の皆さま、特に防府市ご当局の温かいご支援・ご協力のお蔭であると深く感謝し、敬意を表したいと存じます。

この上は、これからの大切な課題として、「どんな文化・芸術活動も世代を越えて、伝え広げていかなければならない」ことを、しっかりと胸に抱きながら、防府市がますます薫り高い文化に富んだまちとなりますよう、防府市文化協会会員一同で務めて参りたいと考えます。

市民の皆さまの一層のご指導・ご鞭撻をお願いしご挨拶といたします。

祝 辞



防府市長

池 田 豊

防府市文化協会が創立20周年を迎えられ、このたび記念誌を発行されますことに、心からお祝い申し上げます。

貴会は、平成10年6月に前身である「防府の文化を高める会」からその事業を受け継ぎ、「市民の創意と工夫に基づく文化活動を促す団体」として誕生されて以来、時を同じくして設立した財団法人防府市文化振興財団とともに、防府市の文化事業を推進してこられました。ここに、改めて感謝と敬意を表するものであります。

さて、近年の少子高齢化や社会システムの変革などにより、本市を取り巻く社会情勢は急速に変化しており、個人の価値観も一層多様化してきております。

しかし、そのような時代にあっても、芸術をはじめとする文化は人々の生活に根ざし、潤いと安らぎをもたらすとともに、人々の心に生きがいや創造の喜びを与えるものです。本市が目指す「豊かな心の育みと文化の薫りあふれるまちづくり」を実現するためには、優れた我が市の先人たちが残してくれた伝統・文化を生かし、市民一人ひとりが文化と触れ合い、文化に親しむことができる環境づくりが重要であると考えております。

貴会におかれましては、これからも、市民の皆様、関係団体等と手を携えて、文化事業を推進していただき、本市の文化振興にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



防府市議会 議長

松 村 学

防府市文化協会が創立二十周年を迎えられるにあたり、心からお祝い申し上げます。

平成十年に、「芸術・文化を通じて市民の文化意識の向上を図ると共に、自主的な文化活動を促進し、人間性豊かな心のふれあいによる、薫り高い文化に富んだまちづくりに貢献すること」を目的として貴会が設立され、現在171団体、約10,000人ももの加盟者を擁されるほどの隆盛をきわめられましたことは、誠に御同慶に耐えないところであります。

貴会におかれましては、市民文化祭の開催、文化振興奨励事業及び市民文化活動支援事業等を活発に展開され、芸術・文化活動の推進や、芸術・文化団体の支援・育成に努められ、防府市の文化を創造する推進母体として、防府市の芸術・文化の向上に多大な貢献をしてこられました。

会長を初め、関係者の皆様の芸術・文化に対する御熱意と御尽力に対しまして、心から感謝と敬意を表するものでございます。

人々が心豊かで生きがいのある生活を営むうえで、芸術・文化の果たす役割は極めて大きく、近年、市民の文化的ニーズは増大し、かつ、多様化、高度化してきておりますが、今まで守り育ててまいりました芸術・文化活動等を広く市民へPRし、次の世代へつなげていかなければなりません。

防府市議会といたしましても、今まで以上に、芸術・文化活動に携わる方々の活動しやすい環境づくりに努めてまいり所存でございますが、様々な活動を通じて本市の文化を守り育ててこられました防府市文化協会が今後ともさらなる飛躍を遂げられ、防府市の文化振興に寄与されますことを切望する次第でございます。

終わりに臨みまして、防府市文化協会が、今後ますます発展されますとともに、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

防府市文化協会創立20周年を祝して



防府市教育委員会 教育長

江 山 稔

防府市文化協会が記念すべき創立20周年を迎えられ、ここに記念誌が発刊されますことは誠に意義深く、心からお祝い申し上げます。

防府市文化協会におかれましては、幅広い活動を通じて、本市の文化・芸術の発展に大きく貢献されておりますことに深く感謝するとともに、歴代の会長をはじめ、会員の皆様方のたゆまぬ努力と熱意により、今日の隆盛を極められたことに、深甚なる敬意を表す次第でございます。

近年、人々の価値観の多様化、めまぐるしい社会環境の変化の中であって、心の豊かさやゆとりが求められています。このような社会の中で、芸術をはじめとする文化活動は、生活に活気や潤いを与えてくれるものと認識しております。

本市の文化の更なる発展のためには、これまで引き継がれてきた伝統文化を次代に継承しながら、文化に親しみ、伝えていく人材の育成や環境づくりが必要であり、貴会の果たされる役割はますます重要であると考えております。貴会におかれましては、創立20周年という節目を契機に、市民の文化教養の向上と振興に一層寄与されますことに御期待申し上げます。

最後に、防府市文化協会の更なる充実・発展と会員の皆様方の御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

防府市文化協会創立20周年祝辞



防府商工会議所 会頭

喜多村 誠

防府市文化協会が創立20周年という記念すべき年を迎えられ、ここに記念誌を発刊されますこと、心からお喜び申し上げます。

平素は当所の事業活動にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会におかれましては、平成10年10月以来、市民文化祭の開催や市民文化活動支援事業等を通じ、20年の長きにわたり、防府市の文化芸術活動の中心として、幅広い活動を続けられ、様々な分野で地域文化の振興に大きな役割を果たされてこられたことに、心から感謝申し上げます。

わが国経済は、「第4次産業革命」といわれるAIやIoT、ロボット、ビッグデータ解析などのIT関連技術によってデジタル化が進み、産業構造および社会生活の転換期を迎えております。このような社会の中にあっても、文化・芸術は、人々に心の豊かさや満足感をもたらすとともに、新たな課題に挑戦する創造力の源泉となろうかと思えます。「芸術・文化を通じて市民の文化意識の向上を図ると共に、自主的な文化活動を促進し、人間性豊かな心のふれあいによる、薫り高い文化に富んだまちづくりに貢献すること」を目的とされた貴会の活動は、豊かな人間性を育み、人や地域との連携を築くためにもますます重要なものになってくると思われます。

今春には「平成」が終わり、新しい時代の幕開けとなりますが、貴協会には、これからも防府市の文化・芸術活動のリーダーとして、末長く地域に根ざした活動を続けられるようお願い申し上げます。

結びに、このたびの20周年を契機に、貴協会の更なるご発展と会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

創立二十周年を迎えて



防府市民文化活動支援事業部会 部会長

深 田 慎 治

防府市文化協会の事業は、「文化振興奨励事業」「市民文芸」「民俗芸能発展継承事業」「自主公演事業」「市民文化活動支援事業」等、主な事業がございます。

市民文化活動支援事業部会の趣旨は、防府市の先人が築いてこられた、防府の文化・芸術を守り、継承し、さらに向上させて後世に残していくことであり、我々の責務であります。

この趣旨に賛同された企業及び個人に会員になって頂き、年会費として1万円頂き、その浄財を助成金にあてて、市内の文化・芸術団体に助成しております。

部会では、助成金の申請が出た団体、個人を慎重審議し助成金を決定します。

◎助成金交付対象となるものは、防府市に在住する団体、個人及び防府市出身者の方とします。

◎対象となる事業は、文化・芸術活動等であって、防府市内で行なわれるものに助成しております。

- (1) 営利を目的とする事業
- (2) 利益が見込める事業
- (3) 宗教、政治的、商業的、または興業的な意図がみとめられる事業

(1) (2) (3) は、助成の対象としません。

◎助成金の交付を受けようとする団体から、申請書の提出があった場合は、審査委員会を招集し、審査員の審査を経て、助成金の交付が適当であると認めるときは、その旨を申請者に通知します。

〈支援事業部の補助対象事業〉

文化・芸術等の創出、伝承活動で主な内容は、

- ①音楽・美術・文芸・演劇などの創作や公演・展示・鑑賞の場づくり
- ②歴史的街並保存等の文化的な環境づくり
- ③文化財・伝承芸能の保存伝承

これまでの加入総数はのべ963会員で、市内文化団体91団体に助成交付することができました。誠に有難うございました。

我がふるさと防府市の文化・芸術のさらなる向上・発展を祈念いたします。

1. 20年間の主な活動記録

平成11年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
4月3日	公演「中国胡弓の調べ」 趙 国良
6月26日	文化協会総会 市民文芸表彰・防府市文化協会表彰・総会議事 記念講演「芸術・文化活動とメセナ」小谷典子 《第30回市民文化祭》
7月18日	市民川柳大会 防府川柳会
9月5日	市民俳句大会 防府市俳句協会
10月3日	市民合同短歌大会 防府短歌協会
16日	洋舞フェスティバル 防府市洋舞の会
22日	華道展・お茶席 防府華道連盟 防府市茶道連盟
～25日	健康相談 山口県看護協会防府支部
30～31日	盆栽展 防府盆栽連合会
11月3日	市民音楽祭
7日	邦楽の会 防府邦楽舞踊連盟
14日	ビデオ作品試写会 防府8ミリの会
19～22日	防府市美術展 防府市美術連盟
2月13日	ママさんコーラス連盟講習会



華道展



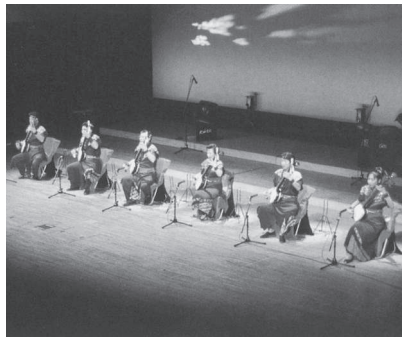
市民音楽祭

平成12年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
6月10日(土)	文化協会 総会 (地域交流センター) 表彰・総会議事、アトラクション「津軽三味線特別公演」
7月16日(日)	市民川柳大会 (文化福祉会館) 出席者：48 受賞者：28 課題決定、研究選考、表彰
9月10日(日)	市民俳句大会 (文化福祉会館) 投句数：117 受賞者：24 研究、選考、表彰
10月1日(日)	防府合同短歌大会 (文化福祉会館) 出詠数：240 受賞者数：16 短歌の批評研究、表彰
10月21日(土) ～30日(日)	市民文化祭 盆栽展 (防府市公会堂) 出品団体：3 団体 出品作品：51点 華道展 (地域交流センター) 出瓶団体：6 団体 出瓶作品数：243点 お茶席 (地域交流センター) 抹茶、煎茶 4 団体 健康相談 (地域交流センター) 血圧測定、体脂肪測定等 相談者：353
10月28日(土)	洋舞フェスティバル (防府市公会堂) スペイン舞踊 フォークダンス 出演団体：3 団体
11月3日(祝)	市民音楽祭 (地域交流センター) 合奏、合唱、独奏等 16個人・団体
11月5日(日)	邦楽の会 (防府市公会堂) 長唄、詩吟、箏曲、舞踊、文楽、民謡、尺八、能楽等発表
11月12日(日)	ビデオ作品試写会 (文化福祉会館) 前年度優秀作品表彰 12作品試写研究
11月17日(金) ～20日(月)	防府市美術展 (地域交流センター) 出品総数：258 入選総数：252 受賞者：33
11月30日 ～6月15日	民話「なまじい物語」公演の準備開始 (文化福祉会館ほか) 脚本完成、実行委員会設立、練習開始 (3月～6月)、公演準備完了 (H.13.6.15)
12月1日 ～5月31日	「山頭火いろはかるた」製作事業の開始 (文化福祉会館) 実行委員会設立 選句 絵画募集 審査 印刷 5月完成 (H.13.5.31)
12月10日(日)	自主公演「津軽三味線大競演」 (防府市公会堂) 入場者数：1379人
2月18日(日)	ママさんコーラス連盟講習会 (文化福祉会館) 会員の研修と親睦 発表会



洋舞フェスティバル公演



津軽三味線特別公演



防府市民川柳大会



洋舞フェスティバル公演



盆栽展

平成13年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
5月31日	「山頭火いろはかるた」の完成
6月16日(土)	文化協会 総会 (防府市公会堂)、表彰、アトラクション「なまじい物語」初公演、記念講演
7月22日(日)	市民川柳大会 (文化福祉会館) 課題決定、批評・研究選考、表彰
9月2日(日)	市民俳句大会 (文化福祉会館) 投句の発表、研究・選考、表彰
10月7日(日)	防府合同短歌大会 (文化福祉会館) 作品発表、研究、選考、表彰
20日(土)・21日(日)	市民文化祭 盆栽展 (防府市公会堂) 盆栽連合会会員の作品展示
10月26日(金) ～29日(月)	市民文化祭 華道展 (地域交流センター華道連盟各流派の作品発表) 市民文化祭 お茶席 (地域交流センター) 茶道連盟各流派のお点前 市民文化祭 健康相談 (地域交流センター) 身長・体重、血圧等の測定、相談
27日(土)	洋舞フェスティバル (防府市公会堂) 洋舞連盟のフラメンコ、バレエ等の発表
11月3日(祝)	市民音楽祭 (地域交流センター) 公募により個人・団体の合唱・演奏
11日(日)	邦楽の会 (防府市公会堂) 長唄、詩吟、箏曲、能楽、舞踊、文楽、民謡、尺八の発表会
18日(日)	ビデオ作品試写会 (文化福祉会館) 会員自主制作の作品映写会、表彰
23日(金) ～26日(月)	防府市美術展 (地域交流センター) 日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン各部門の作品発表、表彰
12月16日(日)	自主公演「楽太郎・小遊三二人会」 (防府市公会堂) 落語 前座、小遊三、二つ目、楽太郎
2月17日(日)	ママさんコーラス連盟講習会 (文化福祉会館) 連盟の会員研修と親睦・交流



藤田弓子先生総会記念講演「いつも何かにときめいてみよう」



総会情景・表彰



総会アトラクション・狂言の世界公演



市民俳句大会

平成14年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容	
4月2日	主催事業 山頭火いろはかるた大会	
6月8日	文化協会総会 市民文芸表彰・防府市文化協会表彰・総会議事 アトラクション（天神囃子「梅っ子」公演） 特別講演「和太鼓競演」 《第33回市民文化祭》	
7月21日	市民川柳大会 防府川柳会	
9月8日	市民俳句大会 防府市俳句協会	
9月25日	防府演劇研究会設立	
10月19日 ～20日	盆栽展 防府盆栽連合会	
10月25日 ～29日	華道展・お茶席 防府華道連盟 防府市茶道連盟 健康相談 山口県看護協会防府支部	
10月26日	洋舞フェスティバル 防府市洋舞の会	
11月3日	市民音楽祭	
11月10日	邦楽の会 防府邦楽舞踊連盟	
11月17日	ビデオ公開試写会 防府8ミリの会	
11月22日 ～25日	防府市美術展 防府市美術連盟	
11月30日	自主公演「茂山忠三郎・狂言の世界」公演	市民音楽祭公演
2月16日	ママさんコーラス連盟講習会	



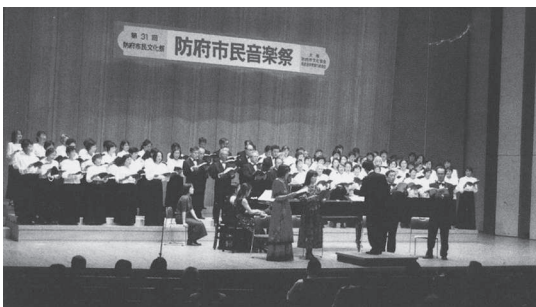
市民音楽祭公演



春日鬼太鼓公演



「茂山忠三郎・狂言の世界」公演



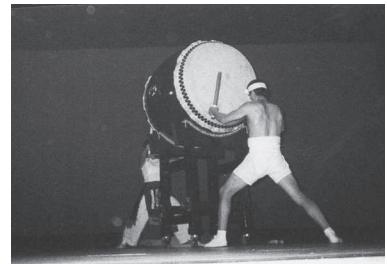
防府市民音楽祭



防府市美術展

平成15年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
4月10日(木)	第1回防府民俗芸能まつり実行委員会
4月21日(月)	山口県文化連盟総会(山口市)
4月22日(火)	文化協会 会計監査
4月24日(木)	14年度市民文芸表彰者選考会 川柳・俳句・短歌各 10名
4月25日(金)	第1回文化協会常任委員・委員合同会議
5月2日(金)	第2回防府民俗芸能まつり実行委員会
5月7日(水)	文化振興奨励賞選考部会 個人2名・団体5団体
5月9日(金)	第1回支援事業部会委員会
5月20日(火)	第3回防府民俗芸能まつり実行委員会
5月30日(金)	第4回防府民俗芸能まつり実行委員会
6月7日(土)	文化協会総会(公会堂) 「姫島婿島物語劇」発表 表彰、平成14年度事業及び会計報告、平成15年度事業計画及び予算案、 防府民俗芸能まつり及び和太鼓「今福 優の世界」公演
6月26日(木)	防府民俗芸能まつり 会計監査
6月30日(月)	第5回防府民俗芸能まつり実行委員会
7月9日(水)	第2回支援事業部会委員会
9月24日(水)	第1回支援事業部会委員会(審査会)
10月21日(水)	第2回文化協会常任委員会
2月26日(木)	第2回文化協会常任委員・委員合同会議
3月16日(火)	第2回支援事業部会委員会(審査会)
3月24日(水)	第3回支援事業部会委員会
	2. 主催事業等 (市民文化祭)
7月21日(祝)	市民川柳大会(文化福祉会館) 参加者 50名
9月7日(日)	市民俳句大会(文化福祉会館) 参加者 90名
10月13日(祝)	市民短歌大会(文化福祉会館) 参加者 43名
10月24日(金)	華道展(地域交流センター) 出瓶数 170点
~27日(月)	お茶席(地域交流センター) 入場者数 1,038人 健康相談(地域交流センター) 受診者数 300人
10月25日(土)	洋舞フェスティバル(公会堂) 入場者数 1,345人
11月1日(土)	盆栽展(公会堂) 出品数 33席 入場者数 500余名
~2日(日)	
11月3日(祝)	市民音楽祭(地域交流センター) 12団体出演
11月9日(日)	邦楽の会(公会堂) 8部門出演
11月21日(金)	市美術展(地域交流センター) 出品数 248点
~24日(月)	
11月30日(日)	ビデオ作品公開映写会(文化福祉会館) 12作品上映
2月22日(日)	ママさんコーラス発表会(海北園)



今福 優 大太鼓演奏



民俗芸能まつり公演



民俗日本舞踊花柳流



郷土芸能まつり

平成16年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
4月14日(水)	文化協会会計監査
4月23日(金)	第1回常任委員・委員合同会議
4月27日(水)	15年度市民文芸表彰者選考会(川柳、俳句、短歌)
4月30日(金)	文化協会総会並びに特別公演第1回実行委員会
5月26日(水)	山口県文化連盟総会
6月9日(水)	文化協会総会並びに特別公演第2回実行委員会
6月19日(土)	文化協会総会(公会堂)
	「津軽三味線成田流」「浜子うた」、文化奨励賞及び市民文芸表彰
6月30日(水)	第1回支援事業部会委員会
7月6日(水)	総会・表彰式・「津軽三味線・浜子うた」第3回実行委員会
7月22日(金)	文化協会総会「津軽三味線」「浜子うた」に関する特別会計監査
9月17日(金)	第1回支援事業部会委員会(審査会)
10月25日(月)	第2回常任委員会
2月21日(月)	第2回支援事業部会委員会(審査会)
2月25日(金)	第3回常任委員会・第2回委員会合同会議
	2. 主催事業等
	(市民文化祭)
7月19日(月)	市民川柳大会(文化福祉会館)参加者 40名
9月5日(日)	市民俳句大会(文化福祉会館)参加者 80名
10月3日(日)	市民短歌大会(文化福祉会館)参加者 40名
10月10日(日)	山口県邦楽大会(公会堂)20団体出演 入場者数 336名
10月22日(土)	盆栽展(公会堂)入場者数 310名
~25日(月)	
10月22日(土)	華道展(地域交流センター)入場者数 2,025人
~25日(月)	お茶席(地域交流センター)入場者数 1,020人、健康相談
10月23日(土)	洋舞フェスティバル(公会堂)入場者数 1,042人
11月3日(水)	市民音楽祭(地域交流センター)入場者数 465人
11月14日(日)	ビデオ作品公開映写会(防府図書館)13作品上映
11月19日(金)	防府市美術展(地域交流センター)入場者数 1,304人
~22日(月)	
10月7日(木)	市民吹奏楽の夕べ(ブリヂストン吹奏楽団)
10月13日(水)	本を読む市民のつどい(防府市読書グループ連絡協議会)
11月6日(土)	文化講演会(防府史談会)
2月27日(日)	ママさんコーラス合唱講習会(海北園)



防府市民短歌大会



山口県邦楽大会



邦楽の会



津軽三味線特別公演



防府浜子うた

平成17年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容	
	1. 会議等	
4月11日(月)	文化協会会計監査	
4月13日(水)	山口県文化連盟総会	
4月22日(金)	第1回常任委員・委員合同会議	
4月27日(水)	16年度市民文芸表彰者選考会(川柳、俳句、短歌)	
5月13日(金)	文化振興奨励賞選考会	
5月17日(火)	文化協会総会並びに特別公演第2回実行委員会	
6月6日(月)	文化協会総会並びに特別公演第3回実行委員会	
6月18日(土)	防府市文化協会第7回総会(公会堂) 韓国交流40年記念特別公演・韓国舞踊・太鼓公演 民俗芸能<和尚なまず><華浦音頭><大道切畑神楽><龍美女太鼓>公演 文化振興奨励賞・市民文芸賞表彰	 <p>「和尚なまず劇」民俗芸能連盟</p>  <p>韓国舞踊特別公演</p>
6月30日(木)	第1回支援事業部会委員会	
7月11日(月)	文化協会総会並びに特別公演第4回実行委員会・特別会計監査	
9月5日(月)	第1回支援事業部会委員会(審査会)	
9月17日(土)	全日本文化集会 山口大会	
10月18日(火)	第1回常任委員会	
2月24日(金)	第2回常任理事・理事合同会議	
3月27日(月)	第2回支援事業部会委員会(審査会)	
	2. 主催事業等 (市民文化祭)	
7月17日(日)	市民川柳大会(文化福祉会館)参加者 50名	
9月4日(日)	市民俳句大会(文化福祉会館)参加者 60名	
10月2日(日)	市民短歌大会(文化福祉会館)参加者 40名	
10月8日(日)	盆栽展(公会堂) 入場者数 263名	
~9日(月)		
10月21日(金)	華道展(地域交流センター) 入場者数 1,875人	
~24日(月)	健康相談(地域交流センター)	
10月22日(土)	洋舞フェスティバル(公会堂) 入場者数 1,212人	
10月30日(日)	市民音楽祭(地域交流センター) 入場者数 599人	
11月6日(日)	邦楽の会(公会堂) 出演団体 25 入場者数 737人 プレ国民文化祭「大茶会」(毛利氏庭園・防府天満宮芳松庵) 2,061人	 <p>韓国舞踊特別公演</p>
11月20日(日)	ビデオ作品公開映写会(防府図書館) 13作品上映	
11月25日(金)	防府市美術展(地域交流センター) 入場者数 1,677人	
~28日(月)		
12月3日(土)	プレ国民文化祭	
2月26日(日)	第26回山頭火全国自由律俳句大会(アスピラート) ママさんコーラス合唱講習会(海北園)	 <p>韓国舞踊特別公演</p>  <p>防府市華浦音頭公演</p>

平成18年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
3月13日(月)	18年度総会並びに特別公演「津軽三味線大競演」第1回実行委員会
3月28日(火)	17年度市民文芸表彰者選考会(川柳、俳句、短歌、自由律俳句)
4月11日(火)	文化協会会計監査
4月13日(木)	山口県文化連盟総会
4月14日(金)	文化振興奨励賞選考会
4月17日(月)	山頭火小冊子改訂版編集会議が始まる(9月に刊行)
4月18日(火)	文化協会総会並びに特別公演第2回実行委員会
4月28日(金)	第1回常任理事・理事会
5月30日(火)	第1回支援事業部会委員会
6月2日(金)	文化協会総会並びに特別公演第3回実行委員会
6月24日(土)	防府市文化協会第8回総会(公会堂) 特別公演 津軽三味線大競演 文化振興奨励賞・市民文芸賞表彰
7月18日(月)	文化協会総会並びに特別公演第4回実行委員会 文化協会総会並びに特別公演 特別会計監査
9月1日(木)	山頭火小冊子改訂版『防府の生んだ癒やしの自由律俳人山頭火』
9月5日(月)	第1回支援事業部会委員会(審査会) 刊行
10月17日(火)	第2回常任理事会
11月3日(祝) ~12日(日)	国民文化祭・やまぐち2006
3月9日(金)	第2回支援事業部会委員会(審査会)
3月16日(金)	第3回常任理事会
3月27日(火)	第2回支援事業部会委員会
	2. 主催事業等 (市民文化祭)
7月17日(祝)	市民川柳大会(文化福祉会館)参加者 80名
9月3日(日)	市民俳句大会(文化福祉会館)参加者 83名
10月1日(日)	市民短歌大会(文化福祉会館)参加者 35名
10月7日(日) ~8日(月)	盆栽展(公会堂)入場者数 720名
10月29日(日)	邦楽の会(公会堂)出演団体 18 入場者数 680名
11月4日(金) ~5日(月)	華道展(地域交流センター)入場者数 1,602名 健康相談(地域交流センター)
11月12日(日)	ビデオ作品公開映写会(ルルサス防府)12作品上映
11月19日(日)	市民音楽祭(地域交流センター)入場者数 583名
12月1日(金) ~4日(月)	防府市美術展(地域交流センター)入場者数 1,449名
12月9日(土)	洋舞フェスティバル(公会堂)入場者数 1,350名
2月25日(日)	ママさんコーラス合唱講習会(海北園)



国民文化祭文芸祭「自由律俳句」



祝い獅子 立方 花柳 鶴千榮



民俗芸能連盟「勝間浦人太鼓」



尺八の深い音色が響く



津軽三味線大競演



津軽三味線大競演

平成19年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
4月6日(金)	18年度市民文芸表彰者選考会(川柳、俳句、短歌、自由律俳句)
4月9日(月)	文化協会会計監査
4月16日(月)	文化振興奨励賞選考会
4月20日(金)	第1回常任理事・理事合同会議
5月18日(金)	第1回支援事業部会委員会
5月31日(木)	山口県文化連盟総会
6月8日(金)	文化協会総会舞台打合せ(ルルサス防府)
7月3日(火)	防府市文化協会第9回総会実行委員会最終打合せ
7月7日(土)	防府市文化協会第9回総会、「雅楽公演」と「人形浄瑠璃公演」 文化振興奨励賞・市民文芸表彰
9月7日(金)	第1回支援事業部会委員会(審査会)
10月19日(金)	第2回常任理事会
12月14日(金)	正副会長会議
2月25日(月)	正副会長会議
3月7日(金)	第2回支援事業部会委員会(審査会)
3月14日(金)	第3回常任理事会
3月27日(木)	第1回10周年記念特別公演実行委員会
	2. 主催事業等 (市民文化祭)
7月16日(祝)	市民自由律俳句大会(文化福祉会館)参加者 80名
9月2日(日)	市民俳句大会(文化福祉会館)参加者 83名
10月7日(日)	市民短歌大会(文化福祉会館)参加者 35名
10月13日(土) ～14日(日)	盆栽展(公会堂)入場者数 537名
10月27日(土)	洋舞フェスティバル(公会堂)入場者数 1,139名
11月4日(日)	市民音楽祭(地域交流センター)入場者数 536名
11月9日(金) ～12日(月)	お茶席(地域交流センター)入場者数 1,005名 華道展(地域交流センター)入場者数 1,849名、健康相談
11月11日(日)	邦楽の会(公会堂)出演団体 18 入場者数 537名
11月18日(日)	ビデオ作品公開映写会(ルルサス防府)作品上映
12月5日(水) ～9日(日)	防府市美術展(地域交流センター)入場者数 1,620名
2月24日(日)	ママさんコーラス合唱講習会(海北園)
	 <p>山口県神社庁雅楽公演</p>  <p>山口県神社庁雅楽公演</p>  <p>大道人形浄瑠璃公演</p>  <p>防府市民音楽祭</p>  <p>華道展</p>

平成20年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
3月28日(金)	19年度市民文芸表彰者選考会(川柳、俳句、短歌、自由律俳句)
4月9日(水)	文化協会会計監査
4月16日(水)	文化振興奨励賞選考会
4月24日(木)	沖縄「組踊」公演、沖縄関係者と下見打合せ
4月25日(金)	第1回常任理事・理事合同会議、第1回特別公演実行委員会
5月9日(金)	第1回支援事業部会委員会
5月27日(火)	山口県文化連盟総会
6月5日(木)	文化協会総会舞台打合せ(第2回実行委員会・アスピラート)
6月13日(金)	防府市文化協会第10回総会最終打合せ(第3回実行委員会)
6月28日(土)	防府市文化協会第10回総会 10周年記念中国音楽胡弓コンサート公演 文化振興奨励賞・市民文芸表彰
7月5日(土)	防府市文化協会・(財)防府市文化振興財団設立10周年記念事業 特別公演 沖縄「組踊」
7月24日(木)	第4回特別公演実行委員会
9月3日(水)	第1回支援事業部会委員会(審査会)
10月21日(火)	第2回常任理事・理事会
2月13日(金)	正副会長会議・第2回10周年記念誌編集会議
3月6日(金)	第2回支援事業部会委員会(審査会)
3月13日(金)	第3回常任理事・理事会及び編集会議
3月25日(水)	第2回支援事業部会委員会
	2. 主催事業等 (市民文化祭)
7月19日(土)	市民自由律俳句大会(文化福祉会館)参加者 80名
9月7日(日)	市民俳句大会(文化福祉会館)参加者 83名
10月5日(日)	市民短歌大会(文化福祉会館)参加者 35名
10月4日(土) ～5日(日)	盆栽展(公会堂)入場者数 537名
10月24日(金) ～27日(月)	お茶席(地域交流センター)入場者数 1,005名 華道展(地域交流センター)入場者数 1,849名 健康相談(地域交流センター)
10月25日(土)	洋舞フェスティバル(公会堂)入場者数 1,139名
11月2日(日)	市民音楽祭(地域交流センター)入場者数 536名
11月9日(日)	邦楽の会(公会堂)出演団体 21 入場者数 537名
11月16日(日)	ビデオ作品公開映写会(ルルサス防府)作品上映
12月3日(水) ～7日(日)	防府市美術展(地域交流センター)入場者数 1,620名
2月22日(日)	ママさんコーラス合唱講習会(海北園)



防府市洋舞フェスティバル



趙国良さんほかによる胡弓コンサート



10周年記念中国胡弓公演



10周年記念事業 沖縄「組踊」

平成21年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
3月30日(月)	平成21年度総会 第1回実行委員会
3月31日(火)	20年度市民文芸表彰者選考会(川柳、俳句、短歌、自由律俳句)
4月9日(木)	文化協会会計監査
4月22日(水)	文化振興奨励賞選考会
4月28日(火)	第1回常任理事・理事会、総会第2回実行委員会
5月27日(水)	第1回支援事業部会委員会
6月9日(火)	山口県文化連盟総会
6月19日(金)	総会第3回実行委員会
7月4日(土)	防府市文化協会総会、表彰 第5回防府民俗芸能まつり及び特別公演澤田組邦楽ライブコンサート公演
7月15日(水)	特別公演会計監査
7月17日(金)	総会第4回実行委員会
7月21日(月)	防府市豪雨災害に対して市へ 832,454円 社会福祉協議会へ 45,456円寄付
9月8日(火)	第1回支援事業部会委員会(審査会)
10月16日(金)	第2回常任理事・理事会
3月9日(火)	第2回支援事業部会委員会(審査会)
3月19日(金)	第3回常任理事・理事会及び編集会議(「文化協会だより」)
3月25日(木)	第2回支援事業部会委員会
	2. 主催事業等
	(市民文化祭)
7月25日(土)	第3回市民自由律俳句大会(ルルサス防府)参加者 25名
9月6日(日)	市民俳句大会(文化福祉会館)参加者 84名
10月4日(日)	市民短歌大会(文化福祉会館)参加者 34名
10月25日(日)	市民川柳大会(文化福祉会館)参加者 32名
10月3日(土)	盆栽展(公会堂)入場者数 292名
~4日(日)	
10月16日(金)	お茶席(地域交流センター)入場者数 1,018名
~19日(月)	華道展(地域交流センター)入場者数 1,621名
10月17日(土)	健康相談(地域交流センター)
~18日(日)	
10月24日(土)	洋舞フェスティバル(公会堂)入場者数 1,011名
11月1日(日)	市民音楽祭(地域交流センター)入場者数 660名
11月8日(日)	邦楽の会(公会堂)出演団体 21 入場者数 529名
11月23日(月)	ビデオ作品公開映写会(ルルサス防府)作品上映
11月25日(水)	防府市美術展(地域交流センター)入場者数 1,624名
~29日(日)	
2月21日(日)	ママさんコーラス合唱講習会(海北園)



防府市へ豪雨災害寄付



山頭火劇



邦楽の会

平成22年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
3月30日(火)	平成22年度総会 第1回実行委員会
3月31日(水)	21年度市民文芸表彰者選考会(川柳、俳句、短歌、自由律俳句)
4月9日(金)	文化協会会計監査
4月12日(月)	文化振興奨励賞選考会
4月23日(金)	第1回常任理事・理事会
5月17日(月)	第1回支援事業部会委員会
5月28日(金)	山口県文化連盟総会
6月26日(土)	防府市文化協会総会
	勝間浦人太鼓・鈴々舎馬るこ落語独演公演 文化振興奨励賞・市民文芸表彰 特別公演会計監査
7月15日(木)	
9月14日(火)	第1回支援事業部会委員会(審査会)
10月27日(水)	第2回常任理事・理事会
11月2日(火)	第15回山口県文化功労賞受賞(山頭火ふるさと会)
3月11日(金)	第2回支援事業部会委員会(審査会)
3月18日(金)	第3回常任理事・理事会及び編集会議(「文化協会だより」)
3月22日(火)	第2回支援事業部会委員会
	2. 主催事業等 (市民文化祭)
7月18日(日)	第4回市民自由律俳句大会 参加者 34名
9月5日(日)	市民俳句大会 参加者 81名
10月3日(日)	市民短歌大会 参加者 73名
10月24日(日)	市民川柳大会 参加者 32名
10月16日(土)	盆栽展(公会堂) 入場者数 359名
~17日(日)	
10月23日(土)	洋舞フェスティバル(公会堂) 入場者数 1,030名
10月31日(日)	市民音楽祭(地域交流センター) 入場者数 633名
11月7日(日)	邦楽の会(公会堂) 出演団体 19 入場者数 427名
11月12日(金)	お茶席(地域交流センター) 入場者数 994名
~15日(月)	華道展(地域交流センター) 入場者数 1,458名
11月13日(土)	健康相談(地域交流センター)
~14日(日)	
11月23日(月)	ビデオ作品公開映写会(ルルサス防府) 作品上映
12月8日(水)	防府市美術展(地域交流センター) 入場者数 1,624名
~12日(日)	
2月20日(日)	防府市女声合唱連盟研修会(海北園)



勝間浦人太鼓



市長より文化振興奨励賞授与



鈴々舎馬るこさんによるサイン会



盆栽展

平成23年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
3月28日(月)	22年度市民文芸表彰者選考会（川柳、俳句、短歌、自由律俳句）
4月5日(火)	臨時常任理事・理事会
4月7日(木)	文化協会会計監査
4月15日(金)	文化振興奨励賞授賞者選考会
4月19日(火)	第1回常任理事・理事会
5月24日(火)	第1回支援事業部会委員会
5月31日(火)	山口県文化連盟総会
6月8日(水)	臨時常任理事・理事会
6月18日(土)	防府市文化協会総会 邦楽演奏：箏曲への誘い 演目：萌春 演奏者：箏 山野 安珠美、尺八 小林 範山、文化振興奨励賞・市民文芸表彰 東日本大震災義援金 67万円を市を通して寄付
7月12日(火)	特別公演（総会時の演奏等）会計監査
7月15日(金)	東日本大震災義援金 3万円を社会福祉協議会を通して寄付
8月23日(火)	臨時常任理事・理事会（「会則等の見直し」専門委員会の立ち上げについて）
9月24日(土)	第1回支援事業部会委員会（審査会）
10月20日(木)	第2回常任理事・理事会
10月21日(金)	第1回「会則等の見直し」専門委員会
11月21日(月)	第2回「会則等の見直し」専門委員会
12月20日(火)	第3回「会則等の見直し」専門委員会
1月12日(木)	第4回「会則等の見直し」専門委員会答申
1月13日(金)	会則等の見直し答申を顧問及び防府商工会議所会頭等に報告
1月27日(金)	臨時常任理事・理事会、 2月13日(月) 臨時総会
3月7日(水)	第3回常任理事・理事会
3月21日(水)	第2回支援事業部会委員会
	2. 主催事業等 （市民文化祭）
7月17日(日)	第5回市民自由律俳句大会 参加者 34名
9月4日(日)	第43回市民俳句大会（文化福祉会館）参加者 81名
10月2日(日)	第40回市民短歌大会（文化福祉会館）参加者 73名
10月30日(日)	第34回市民川柳大会（文化福祉会館）参加者 32名
10月15日(土)	盆栽展（公会堂）入場者数 346名
～16日(日)	
10月22日(土)	洋舞フェスティバル（公会堂）入場者数 896名
10月30日(日)	市民音楽祭（地域交流センター）入場者数 324名
11月6日(日)	邦楽の会（公会堂）出演団体 18 入場者数 348名
11月11日(金)	お茶席入場者数 883名 華道展入場者数 1,583名
～14日(月)	（12日(土)、13日(日)）健康相談（地域交流センター）
11月23日(水)	ビデオ作品公開映写会（ルルサス防府）作品上映
12月7日(水)	防府市美術展（地域交流センター）入場者数 1,293名
～11日(日)	
2月19日(日)	防府市女声合唱連盟研修会（海北園）



初代会長橋口照男氏に感謝状贈呈



東日本大震災義寄附



華道展



洋舞フェスティバル

平成24年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
4月5日(木)	第1回理事会
4月6日(金)	文化協会会計監査
4月13日(金)	23年度市民文芸表彰者選考会(川柳、俳句、短歌、自由律俳句)
4月18日(水)	文化振興奨励賞授賞者選考会
4月26日(木)	第1回常任理事・理事会
5月29日(火)	「文化協会だより」編集会議
6月12日(火)	山口県文化連盟総会
6月13日(水)	臨時常任理事会
6月22日(金)	防府市文化協会総会・文化振興奨励賞・市民文芸賞表彰
6月27日(水)	第1回支援事業部会委員会
9月13日(木)	第1回支援事業部会委員会(審査会)
9月24日(月)	正副会長会議
10月23日(火)	第2回常任理事・理事会
11月	第17回山口県文化功労賞受賞(文芸・俳句)伊藤仙女
12月13日(木)	第2回支援事業部会委員会(審査会)
12月20日(木)	『文化協会15年のあゆみ』編集会議(第1回)
1月28日(月)	正副会長会議
2月4日(月)	『文化協会15年のあゆみ』編集会議(第2回)
3月12日(火)	第3回常任理事・理事会
3月14日(木)	第2回支援事業部会委員会
	2. 主催事業等 (市民文化祭)
7月15日(日)	第6回市民自由律俳句大会 参加者 34名
9月2日(日)	第44回市民俳句大会(文化福祉会館)参加者 81名
10月7日(日)	第41回市民短歌大会(文化福祉会館)参加者 29名
10月21日(日)	第35回市民川柳大会(文化福祉会館)参加者 32名
10月13日(土)	盆栽展(公会堂)入場者数 341名
~14日(日)	
10月20日(土)	洋舞フェスティバル(公会堂)入場者数 856名
10月28日(日)	市民音楽祭(地域交流センター)入場者数 360名
11月4日(日)	邦楽の会(公会堂)出演団体 19 入場者数 395名
11月9日(金)	お茶席(地域交流センター)入場者数 972名
~12日(月)	華道展(地域交流センター)入場者数 1,333名
11月10日(土)	健康相談(地域交流センター)
~11日(日)	
11月23日(水)	ビデオ作品公開映写会(ルルサス防府)作品上映
12月5日(水)	防府市美術展(地域交流センター)入場者数 1,732名
~9日(日)	
2月17日(日)	防府市女声合唱連盟研修会(海北園)95人



市民音楽祭



市民自由律俳句大会



文化協会総会



洋舞フェスティバル



市民音楽祭

平成25年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
4月4日(木)	文化協会会計監査
4月9日(火)	『15年のあゆみ』編集会議
4月12日(金)	24年度市民文芸表彰者選考会（川柳、俳句、短歌、自由律俳句）
4月17日(水)	文化振興奨励賞受賞者選考会
4月24日(水)	第1回支援事業部会委員会
4月26日(金)	第1回常任理事・理事会
6月4日(火)	山口県文化連盟総会
6月20日(木)	臨時常任理事会
6月27日(木)	第2回支援事業部会委員会
6月29日(土)	防府市文化協会創立15周年総会並びに防府民俗芸能まつり、文化振興奨励賞・市民文芸表彰
7月24日(水)	第1回支援事業部会委員会（審査会）
10月23日(水)	第2回常任理事・理事会
1月7日(火)	監査事務局より監査報告（指摘事項：特になし）
1月9日(木)	正副会長会議
1月24日(金)	正副会長会議
2月17日(月)	臨時常任理事・理事会
3月13日(木)	第3回支援事業部会委員会
3月17日(月)	第3回常任理事・理事会
	2. 主催事業等 （市民文化祭）
7月21日(日)	第7回市民自由律俳句大会 参加者 34名
9月8日(日)	第45回市民俳句大会（文化福祉会館）参加者 81名
10月6日(日)	第42回市民短歌大会（文化福祉会館）参加者 29名
10月20日(日)	第36回市民川柳大会（文化福祉会館）参加者 32名
10月12日(土)	盆栽展（公会堂）入場者数 341名
～13日(日)	
10月19日(土)	洋舞フェスティバル（公会堂）入場者数 856名
10月27日(日)	市民音楽祭（地域交流センター）入場者数 360名
11月3日(日)	邦楽の会（公会堂）出演団体 22 入場者数 395名
11月8日(金)	お茶席（地域交流センター）入場者数 972名
～11日(月)	華道展（地域交流センター）入場者数 1,333名
11月9日(土)	健康相談（地域交流センター）
～10日(日)	
11月23日(土)	ビデオ作品公開映写会（ルルサス防府）作品上映
12月4日(水)	防府市美術展（地域交流センター）入場者数 1,732名
～8日(日)	
2月16日(日)	防府市女声合唱連盟研修会（海北園）95人



岡田会長あいさつ



支援事業振興賞表彰



創立15周年防府民俗芸能まつり



邦楽の会

平成26年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
4月4日(金)	文化協会会計監査
4月9日(水)	25年度市民文芸表彰者選考会（川柳、俳句、短歌、自由律俳句）
4月10日(木)	第1回理事会
4月14日(月)	文化振興奨励賞受賞者選考会
4月24日(木)	第1回常任理事・第2回理事会
5月29日(木)	第1回支援事業部会委員会
6月5日(木)	山口県文化連盟総会
6月12日(木)	総会最終打合せ
6月20日(金)	防府市文化協会総会 文化振興奨励賞・市民文芸賞表彰
10月23日(木)	第2回常任理事・第3回理事会
12月11日(木)	第1回支援事業部会委員会（審査会）
3月12日(木)	第2回支援事業部会委員会
3月17日(火)	第3回常任理事・第4回理事会
	2. 主催事業等 （市民文化祭）
7月19日(土)	第8回市民自由律俳句大会 参加者 27名
9月7日(日)	第46回市民俳句大会 参加者 62名
10月5日(日)	第43回市民短歌大会 参加者 39名
10月19日(日)	第37回市民川柳大会 参加者 28名
10月11日(土)	ビデオ作品上映会（イオンシネマ防府）作品上映 150名
10月11日(土) ～12日(日)	盆栽展（公会堂）入場者数 254名
10月18日(土)	洋舞フェスティバル（公会堂）入場者数 899名
10月26日(日)	市民音楽祭（地域交流センター）入場者数 312名
11月2日(日)	邦楽の会（公会堂）出演団体 20 入場者数 433名
11月14日(金) ～17日(月)	お茶席（地域交流センター）入場者数 829名 華道展（地域交流センター）入場者数 1,550名
11月15日(土) ～16日(日)	健康相談（地域交流センター）
12月3日(水) ～7日(日)	防府市美術展（地域交流センター）入場者数 1,621名
	 <p>総会並びに表彰式</p>
	 <p>花柳扇千鶴さんによる日本舞踊</p>
	 <p>大道人形浄瑠璃</p>
	 <p>市民川柳大会</p>

平成27年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
4月3日(金)	文化協会会計監査
4月9日(木)	26年度市民文芸表彰者選考会（川柳、俳句、短歌、自由律俳句）
4月16日(木)	文化振興奨励賞受賞者選考会
4月22日(水)	第1回常任理事・理事会
4月30日(木)	ねんりんピック実行委員会
5月7日(木)	第1回支援事業部会委員会
5月13日(水)	ねんりんピック実行委員会
6月2日(火)	山口県文化連盟総会
6月19日(金)	防府市文化協会総会 文化振興奨励賞・市民文芸賞表彰
6月26日(金)	ねんりんピック実行委員会
7月9日(木)	第1回支援事業部会委員会（審査会）
8月22日(土)	春日神社 鬼面表彰
10月22日(木)	第2回常任理事・理事会
12月10日(木)	第2回支援事業部会委員会（審査会）
2月4日(木)	臨時常任理事会
2月25日(木)	第2回臨時常任理事会
3月15日(火)	第3回臨時常任理事会（役員選出会議）
3月17日(木)	第2回支援事業部会委員会
3月21日(月)	第4回臨時常任理事会（役員選出会議）
3月24日(木)	第3回常任理事・理事会
	2. 主催事業等 (市民文化祭)
7月18日(土)	第9回市民自由律俳句大会 参加者 203名
9月6日(日)	第47回市民俳句大会 参加者 62名
10月4日(日)	第44回市民短歌大会 参加者 39名
10月18日(日)	第38回市民川柳大会 参加者 28名
10月10日(土)	盆栽展（公会堂）入場者数 410名
～11日(日)	
10月17日(土)	洋舞フェスティバル（公会堂）入場者数 1,294名
10月18日(日)	ビデオ作品上映会（イオンシネマ防府）作品上映 190名
10月25日(日)	市民音楽祭（地域交流センター）入場者数 250名
11月1日(日)	邦楽の会（公会堂）出演団体 17 入場者数 372名
11月6日(金)	お茶席（地域交流センター）入場者数 833名
～9日(月)	華道展（地域交流センター）入場者数 1,205名
11月7日(土)	健康相談（地域交流センター）
～8日(日)	
12月2日(水)	防府市美術展（地域交流センター）入場者数 1,216名
～6日(日)	



岡田会長あいさつ



祝儀舞 吟舞



中関塩浜太鼓

平成28年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
4月5日(火)	文化協会会計監査
4月7日(木)	27年度市民文芸表彰者選考会（川柳、俳句、短歌、自由律俳句）
4月11日(月)	文化振興奨励賞受賞者選考会
4月21日(木)	第1回常任理事・理事会
5月12日(木)	第1回支援事業部会委員会
5月13日(水)	ねんりんピック実行委員会
6月7日(火)	山口県文化連盟総会
6月18日(土)	防府市文化協会総会 文化振興奨励賞・市民文芸表彰
7月7日(木)	第1回支援事業部会委員会（審査会）
8月20日(土)	春日神社 鬼面表彰
*10月12日(水)	宇部文化連盟から防府市文化協会を視察に来訪
10月20日(木)	第2回常任理事・理事会
12月15日(木)	第2回支援事業部会委員会（審査会）
12月21日(水)	役員選考会
1月23日(月)	役員選考会
2月13日(月)	第3回常任理事会（役員選出会議）
*3月1日(水)	宗像市文化協会から防府市文化協会を視察に来訪
3月8日(水)	第2回支援事業部会委員会
3月22日(水)	第4回常任理事会・第3回理事会合同会議
	2. 主催事業等 （市民文化祭）
7月16日(土)	第10回市民自由律俳句大会 投句者 632名
9月4日(日)	第48回市民俳句大会 参加者 62名
10月2日(日)	第45回市民短歌大会 参加者 39名
10月23日(日)	第39回市民川柳大会 参加者 28名
10月15日(土)	盆栽展（公会堂）入場者数 360名
～16日(日)	
10月22日(土)	洋舞フェスティバル（公会堂）入場者数 1,225名
10月22日(土)	ビデオ作品上映会（イオンシネマ防府）作品上映 190名
10月30日(日)	市民音楽祭（地域交流センター）入場者数 403名
11月6日(日)	邦楽の会（公会堂）出演団体 17 入場者数 441名
11月11日(金)	お茶席（地域交流センター）入場者数 705名
～13日(日)	
11月12日(土)	華道展（地域交流センター）入場者数 1,001名
～13日(日)	
11月12日(土)	健康相談（地域交流センター）
～13日(日)	
12月7日(水)	防府市美術展（地域交流センター）入場者数 1,281名
～11日(日)	



若柳吉祐矢さんによる祝儀舞



文化振興奨励賞受賞



市民文芸年度賞受賞



市美術展

平成29年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
4月6日(木)	文化協会会計監査
4月7日(金)	28年度市民文芸表彰者選考会(川柳、俳句、短歌、自由律俳句)
4月11日(火)	文化振興奨励賞受賞者選考会
4月18日(火)	第1回常任理事・理事会
5月25日(木)	第1回支援事業部会委員会
6月6日(火)	山口県文化連盟総会
6月17日(土)	防府市文化協会総会、文化振興奨励賞・市民文芸賞表彰
7月6日(木)	第1回支援事業部会委員会(審査会)
8月29日(火)	第2回常任理事会
10月25日(木)	第3回常任理事会・第2回理事会合同会議 平成30年度創立20周年記念事業計画が決まる
	1. 記念祭の開催 総会(6月23日)に合わせて開催
	2. 記念誌の刊行
	(1) 山頭火小冊子『防府が生んだ自由律俳人山頭火』
	(2) 『防府の民俗芸能をたずねて』(平成30年度版)
	(3) 『防府市文化協会20年のあゆみ』
11月28日(火)	セルビアローラ舞踊団と牟礼中学校との交流事業打合せ
12月14日(木)	第2回支援事業部会委員会(審査会)
12月15日(金)	山頭火小冊子改訂版編集会議始まる
12月20日(木)	『防府の民俗芸能をたずねて』(平成30年度版) 編集会議始まる
2月7日(水)	セルビアローラ民族音楽舞踊団歓迎会打合せ
2月8日(木)	セルビアローラ民族音楽舞踊団と牟礼中学校との交流事業打合せ
2月13日(火)	山頭火小冊子改訂版編集会議
2月15日(木)	セルビア給食試食会(於防府市給食センター)
2月16日(金)	セルビアローラ民族音楽舞踊団来防、牟礼中交流、市内見学、歓迎会(グランドホテル)
2月17日(土)	セルビアローラ民族音楽舞踊団公演 於アスピラート
2月20日(火)	第4回常任理事会・第3回理事会合同会議
3月7日(水)	第2回支援事業部会委員会
3月17日(土)	20周年記念祭の「語り芝居」打ち合わせ
3月20日(火)	第5回常任理事会・第4回理事会合同会議
	2. 主催事業等 (市民文化祭)
7月15日(土)	第11回市民自由律俳句大会 投句数 544名
9月3日(日)	第49回市民俳句大会 参加者 61名
10月1日(日)	第46回市民短歌大会 参加者 39名
10月14日(土)	第40回市民川柳大会 参加者 28名
10月14日(土)	盆栽展(公会堂) 入場者数 378人
～15日(日)	
10月22日(日)	洋舞フェスティバル(公会堂) 入場者数 1,039人



前会長岡田利雄氏に感謝状贈呈



岡本会長あいさつ



市長あいさつ



総会議事



月 日	行 事 名 ・ 内 容
10月22日(日)	ビデオ作品上映会（イオンシネマ防府）作品上映 150人
10月29日(日)	市民音楽祭（地域交流センター）入場者数 338人
11月 5日(日)	邦楽の会（公会堂）出演団体 17 入場者数 503人
11月10日(金)	お茶席（地域交流センター）入場者数 709名
～12日(日)	華道展（地域交流センター）入場者数 1,102人
11月11日(土)	健康相談（地域交流センター）219人
～12日(日)	
12月 6日(水)	防府市美術展（地域交流センター）入場者数 1,045人
～10日(日)	



若柳吉冬貴さんによる祝儀舞



表彰式



西浦音頭

セルビアローラ民族音楽舞踊団来日

（防府天満宮、山頭火ふるさと館をご案内しました。レセプションでは、尺八と日本舞踊がご披露され、団からは美しい歌声を頂きました。）



気をつけて来てね



永田菅堂さんによる尺八演奏



若柳吉冬貴の会による日本舞踊



素敵な合唱と演奏でした

平成30年2月16日

セルビアローラ民族音楽舞踊団と牟礼中学校との文化交流



給食を一緒に食べました



折り紙完成!!



牟礼フォークダンス同好会のリードによりダンス交流



少しずつ輪になってきました



みんなで記念撮影



芳松庵にて角中社中によるお茶席



ふくさのたたみ方に興味津々



みんなでハイポーズ

平成30年度

月 日	行 事 名 ・ 内 容
	1. 会議等
4月5日(木)	文化協会会計監査
4月6日(金)	29年度市民文芸表彰者選考会（川柳、俳句、短歌、自由律俳句）
4月19日(木)	文化振興奨励賞受賞者選考会
4月24日(火)	第1回常任理事・理事会
5月23日(水)	第1回支援事業部会委員会
5月31日(木)	20周年記念山頭火小冊子『防府の生んだ自由律俳人山頭火』刊行 『防府の民俗芸能をたずねて』（平成30年度版）刊行
6月6日(水)	山口県文化連盟総会
6月22日(金)	防府市文化協会総会 リハーサル
6月23日(土)	防府市文化協会総会・20周年記念祭 感謝状・文化振興奨励賞・市民文芸賞・支援事業振興賞表彰、記念公演 記念冊子『防府の生んだ自由律俳人山頭火』贈呈（市内全小中学校児童・生徒及び教職員）
7月18日(水)	第1回支援事業部会委員会（審査会）
10月17日(水)	創立20周年記念誌『防府市文化協会20年のあゆみ』の編集委員会始まる
10月23日(火)	文化協会常任理事・理事会 13時30分～ 講座室
11月20日(火)	20周年記念誌編集委員会
12月12日(水)	第2回支援事業部会委員会（審査会） 14：00～
1月15日(火)	20周年記念誌編集委員会 15：00～ 参考室
2月5日(火)	20周年記念誌編集委員会 13：30～ 参考室
2月26日(火)	20周年記念誌編集委員会 13：30～ 参考室
3月6日(水)	第2回支援事業部会委員会 14：00～ 参考室
3月19日(火)	文化協会常任理事・理事会 13時30分～ 講座室
3月	創立20周年記念誌『防府市文化協会20年のあゆみ』刊行
	2. 主催事業等 （市民文化祭）
7月14日(土)	第12回市民自由律俳句大会 投句数 263名
9月2日(日)	第49回市民俳句大会 参加者 50名
10月7日(日)	市民短歌大会 10時～ 講座室 参加者 30名
10月14日(日)	市民川柳大会 13時～16時 講座室 参加者 20名
10月13日(土) ～14日(日)	盆栽展（公会堂）入場者数 628人
10月21日(日)	洋舞フェスティバル（公会堂）入場者数 1,103人
10月21日(日)	ビデオ作品上映会（イオンシネマ防府）作品上映 180人
10月28日(日)	市民音楽祭（地域交流センター）入場者数 243人
11月4日(日)	邦楽の会（公会堂）出演団体 18 入場者数 411人
11月16日(金)	お茶席（地域交流センター）入場者数 713人 華道展（地域交流センター）入場者数 1,014人
～18日(日)	健康相談（地域交流センター）378人（17日～18日の2日間）
12月5日(水) ～9日(日)	防府市美術展（地域交流センター）入場者数 1,383人



岡本会長あいさつ



総会議事



前市長松浦正人様へ感謝状贈呈



杉山教育長へ「山頭火冊子」を小中学校全児童
生徒及び教職員へ贈呈



支援事業振興賞授与



箏演奏家山野安珠美さんによる箏独奏



松崎小学校の児童による山頭火自由律俳句の朗詠



池田市長ごあいさつ

やまぐち文化プログラム協賛事業

防府市文化協会創立20周年 総会・記念祭

世代をこえて つなげよう! ひろげよう! 薫り高い防府の文化を

と き **平成30年** ところ **アスピラート**
(3階音楽ホール 他)

6月23日(土) 総会 新開 12:00~12:30
(受付11:00~)

記念祭 13:00~16:30
(受付12:30~)

第1部 記念式典
● 記念式 ● 表彰

第2部 記念公演
● 防府市から世界へと活躍中
争演美家 **山野 安珠美**さん
・ 脩神月(市川廣作曲) ・ 讃歌(沢井忠夫作曲)

● 防府市立松崎小学校児童による山頭火自由俳句の朗読
● "明治維新150年"を記念して福岡からお迎えする
語り芝居「高杉晋作と望東尼 そして幕末・維新の防府」

七色の声をもつ舞台俳優・若城朋子さんが、防府にも大きな関わりをもち、明治維新で活躍した人物、頼朝妻貞・山田隠良・野村望東尼と高杉晋作などの物語を一人で演じます。物語の語り人をつとめるのは、高杉晋作研究家の亀田真砂子さんです。ご期待ください!

一人芝居 **若城 朋子**さん 語り人 **亀田 真砂子**さん

● 防府の民俗芸能公演(二部)
・ 創作民俗芸能 龍美女太鼓「毛利水軍太鼓」
・ 華浦音頭保存会「華浦音頭」

お問い合わせは防府市文化協会へ
TEL&FAX: **0835-26-6841**

主催: 防府市文化協会
後援: 防府市、防府市教育委員会、(公財)防府市文化振興財団、防府商工会議所、防府市観光協会

関心のある方は、どなたでも直接会場へとっせー!(入場無料)



龍美女太鼓



華浦音頭



「山本百次会子ども組」によるお茶席



子どもたちの御点前に、お客様が喜ばれました!



市民文芸 文芸賞・年度賞表彰



防府市文化振興奨励賞表彰



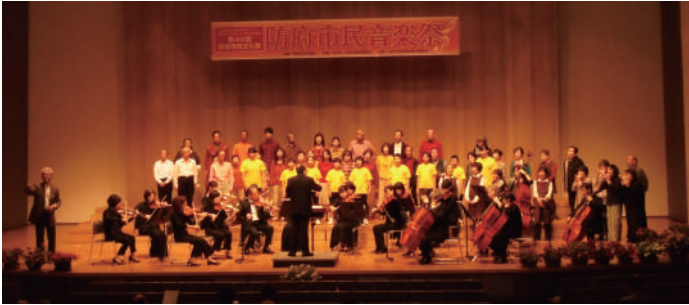
市民文芸 佳作表彰



盆栽展



谷淑江スペイン舞踊スタジオダンサルテ



市民音楽祭では、会場の皆様と「ふるさと」を合唱して終わりました。

行事名	とき	ところ	内容	入場料
盆 裁 展	10月13日(土)~14日(日) 9:00~15:00	防府市公会堂	防府市民文化協会盆裁展 9時より観覧券配布あり	無料
第23回ビデオ作品上映会	10月21日(日) 13:30~16:00	イオンシネマ防府	防府映像サークルによる ビデオ作品上映会	無料
第29回洋舞アズスタイル	10月21日(日) 13:00~16:30	防府市公会堂	アザリユ、フォークダンス、アラブダンス、 パルレ、ジャズダンス融合発表会	300円
市民音楽祭	10月28日(日) 13:00~16:30	アズビコート	市民音楽団による合唱、演奏会	無料
邦楽の会	11月4日(日) 10:00~16:00	防府市公会堂	謡曲、琴曲、日本舞踊、長唄、 尺八、鼓楽等の発表会	500円
華道展	11月16日(金)~18日(日) 10:00~17:00	アズビコート 2階展示ホール	防府市華道連盟 各流派の発表会	無料
市民茶会席	11月16日(金)~18日(日) 10:00~16:00	アズビコート 2階リハーサル室	防府市華道連盟 文藝お手紙による茶席	300円
健康相談	11月17日(土)~18日(日) 10:00~15:00	アズビコート 2階展示ホール隣	山口県看護協会防府支部 による健康相談	無料
第68回市美術展	12月5日(水)~9日(日) 9:00~17:00(最終日は9:00~15:00)	アズビコート 2階展示ホール	防府市美術家協会による アート・クラフト・工芸品の発表会・展示	無料

主催 防府市文化協会



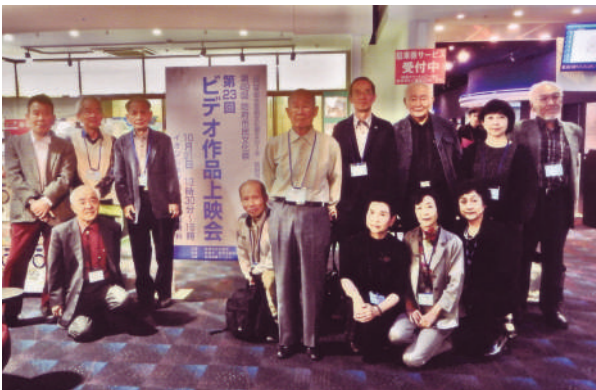
邦楽の会



華道展



市民茶会席



防府映像サークルの皆さん



市美術展表彰式



H.C.Bカウント・エースによる演奏



オカリナ士の音による演奏



洋舞フェスティバル



誠英高等学校 能楽クラブ



日本舞踊



日本舞踊



華道展



市民茶会席

2. 加入文化団体の紹介

20周年記念誌を編集するにあたり、防府市文化協会に加入されている171団体のみなさまに寄稿のお声掛けをしたところ、次の82団体から会のPRや日頃の活動と会の今後の展望などをお寄せいただきましたので、ご紹介します。



初めての自由律俳句の会みもぞ

普段の言葉で、感動する心を磨き合う

初めての自由律俳句の会みもぞ代表 門田 美和子

初めて山頭火の句に出会ったのは中学生の頃、学校の近くに住まいがあった友人と何をするでもなく遊んでいた小さな公園の大きな岩に、「雨ふるふるさとははだしであるく」と彫ってあった。それが、ふるさと防府の偉大な俳人・自由律俳句の生みの親「種田山頭火」の句だと知ったのは少し後。若い頃は父親の姿に重なり嫌いだっ

年を経て、今は亡き田中ご夫妻が出版された「山頭火の句碑集」を読ませていただき、句の奥にあるものが少しずつ感じられるようになった。

清貧に徹した生活や自然や生き物との出会いを、普段の素朴な言葉で表している山頭火の句を通して、この防府の地に、自由律俳句に親しむ仲間が増えたらいいなと思う人たちと毎月第一月曜日午後、文化福祉会館に集い、楽しい句会を開催している。

お互いの句を味わい、感じたことを言い合い、互いの句を推敲し合います。

「もう頭が働かなくなって・・・」と言いながら参加される九十代の会員からはいろんな言葉を教えてもらいます。教え合い、磨き合い、時には孤独に苦しみ、その孤独から句が生まれます。お陰様で、市広報の文芸欄に紹介していただける句も増えつつあり、防府市の文化の発展の一助になっているかな？と。

在りし日の山頭火を偲びながら、嬉しかったこと、悲しかったこと、辛かったことを言葉に紡いでいます。

防府市俳句協会

防府における俳句の興隆について

防府市俳句協会 事務局 藤井 汎水

防府市俳句協会は、先人達のご尽力により昭和五十六年に発足しており、以後防府市と防府市文化協会の後援ほか各方面のご支援のもとに三十五年間活動を続けて来ました。

松尾芭蕉以来の日本伝統文芸「俳句」を続け、大会開催や市広報等を通じて指導・育成するとともに、「俳句」をもとに市民相互の交流や親睦を促進しました。市内の高・中・小学校生にも作句や応募の機会を提供し、創作力と国語力向上をサポートしました。

しかしながら、俳句界にも高齢化が進み、かつ若者の参加が増えない情勢にあり、その波は容赦ありませんが、日本の風土で三百有余年続いた世界一短い詩である「俳句」を後世へ伝えていく義務が我々にあります。一方、国内では、世界を目指して「俳句」をユネスコ無形文化遺産に登録するべく国際俳句交流協会（会長は元文部大臣有馬朗人氏）が設立され、世界に広がる気運にあり、非常に心強く感じます。当協会を支援するためにも我々はしっかりと「俳句」の興隆を図らなければなりません。それには、俳句各派・句会間の交流促進や潜在的同好者への呼びかけ、広報活動等も更に活性化して「俳句」の底辺を厚く、確固たるものにしなければならぬと感じています。次第であります。



防府市民短歌会

短歌への誘い

防府市民短歌会 羽仁 和子

防府市文化協会が創立二十周年を迎えられましたこと、誠にめでたうございます。

私どもの防府市民短歌会も、文化協会という心強い後ろ盾を戴き、市民文芸、市民短歌大会と活動を続けています。心からのご指導ご支援を戴き、次の世代にも継承すべく努力せねばと気を引き締めているところです。

次の世代と言えば、うれしいことがあります。短歌大会に多くの高校生が参加してくれることです。高校の先生方の並々ならぬご熱意、ご努力があることは言うまでもありません。フレッシュな感覚で素直な気持ちを詠む高校生の歌に、会員一同感動しています。会員も高齢になり、大会に参加する人数も少なくなってきましたが、若い人たちに刺激を受け、より多くの人に気持ちを伝えられる歌を詠もうという思いが高まっています。

歌は誰にでも詠めます。万葉の時代から私たち日本人には馴染みの詩形です。いい歌、褒められる歌を詠もうと初めから気負い過ぎるといけません。自分を見つめ、思いを素直に具体的に詠んでいくうちに、人に伝わる歌が詠めるようになるものです。何事もそうですが、続けることが大事です。苦しみや悲しみ喜びを詠み、潤いのある人生を歩んでいけたら、こんなに幸せなことはないと信じます。



防府市民川柳会

川柳始めてみませんか！

防府市民川柳会 河村 康子

平成三十年度の防府市民川柳大会は、平成三十年十月十四日に、防府市文化財郷土資料館講座室にて十三時から開催しました。

参加者は少数で、淋しい大会でした。川柳人口は、いつからこんなに少なくなったのでしょうか？

滑稽、笑い、風刺、皮肉といろいろな人事を読む面白い文芸のはずですが・・・。

微力ながら二、三人の有志の智恵で、今年は何か試みてみようと思案中です。

とにかく五・七・五の面白いリズムに慣れてほしいものです。



防府図書館自由律句講座

講師 富永 鳩山

平成十七年五月開講、当時は桑山の図書館でした。

平成十八年、山口県は「心ときめく文化維新」をテーマに国民文化祭を開催されることになり、種田山頭火の生地である防府市では「全国自由律句大会」を開催する運びとなりました。そこで自由律句を理解していただくために開講したものです。同年二月から「FMわっしょい」でも番組が始まり、防府市広報の文芸欄にも自由律句が掲載されるようになりました。

また、この講座を取材したNHK山口では番組にて「自由律句らぶ」と題したコーナーが設けられ平成二十年から平成三十年までの十年間放送されました。

こうして種田山頭火と自由律句は少しずつ皆さんに浸透していきました。当講座では、毎月一回防府市立図書館の研修室で、山頭火の句をはじめ先人の句の紹介や鑑賞、そして講座生の皆さんも句作をしながら句会としても楽しんでいきます。講座の句集はこれまでに六冊上梓しています。平成二十九年には「山頭火ふるさと館」もオープンしました。ますます自由律句が身近な文学になっていくことを期待しています。



防府詩の会

「珊瑚樹」四十五号の発刊に寄せて

防府詩の会 代表 佐藤 文彌

防府詩の会は昭和五十年（一九七四）市内有志によって発足し、多くの方々の協力を得て、もう四十三年。年刊詩集「珊瑚樹」も四十五号を発刊できました。ここまで長い時間をかけて、この防府の街に根づいた詩の文化を消してはならない。そんな志しが連綿と受け継がれ、ここまでこられたことは本当に嬉しい限りです。

防府詩の会は「現代詩を通して会員相互の親睦を深め、詩作活動を通して地域文化の向上に貢献すると共に、年刊詩集を発行し、生涯活動を行う」という趣旨のもと、市内某喫茶店で、二カ月に一度合評を行い、それぞれが年間に出版された詩の原稿を元に「珊瑚樹」と言うタイトルで詩集として出します。この文化を継続し、次の世代に渡す。今いる我々の仕事と想っています。

あなたの心のうぶ毛に
そっと触れてみませんか
心の機微が解れ
解れた糸を紡いで
あなたが織りなす言葉に
誰かが目覚め
誰かが立ち上がる
……「前へ」と



防府市民文芸自由律俳句の会

子どもたちが自由律俳句に親しむ防府市に!!

防府市民自由律俳句の会 代表 窪田 耕二

防府市の皆様に自由律俳句を親しんでいただけたら、との思いから「市民自由律俳句大会」を毎年開催しています。子どもたちからご高齢の皆さんまで参加していただきたく、市内の各小中高校や公民館等に投句の募集要項をお届けし、たくさんのご協力をいただき、十二回目を済ませました。

毎回、防府市内の小・中・高等学校の多数の児童・生徒の皆さんからも投句していただいています。平成二十九年十月に開催した山頭火ふるさと館で出会った、小学四年のお子さんが「学校でもらった本（昨年、防府市文化協会が市内の小・中学生に贈呈）を読んで、子どもの頃に、つらいことがいっぱいあったので、こんな句ができたんだ!」と思って、自分も自由律俳句を作ろうと思った。」と話していました。

「ふるさとのおちやもみがうまい
ふるさとにいる」
「水音しんじつおちつきました」
「まっすぐなみちでさびしい」
「酔うてこおろぎとねていたよ」等
漂泊の俳人は、帰りたくても帰れないふるさと防府に思いを馳せながら、全国を行脚し、句作を続けていました。
自由律句を考えている時だけでも、物欲を捨て、少しでも孤高の俳人に近づけたらいいなあと考えている今日この頃です。



文化サークル「爛銀」

文化サークル「爛銀」

野々村 竹代

当サークルは、我が子の小学生時代にPTAの広報委員をしていたメンバーを主体として、平成四年四月に発足しました。

当初の目的は、月に一度テーマを決めた例会を開き、年に一度文集を作成することとなっていました。二十八年間に作成した文集は十四冊とやや不活発な活動状況となっております。

只、もう一つの目的に「最後の楽しみ」のためとあり、メンバーの殆どが高齢者の仲間入りをしたこれからは、「できることをできるように」をモットーにして、無理のない範囲で活動を続け、八名のメンバーで仲良く年を重ねて行こうと思います。



山頭火ふるさと会

山頭火ふるさと会 会長 窪田 耕二

昭和五十五年五月に山頭火研究会が設立されて、今年で四十年目になりました。

同年に全国自由律俳句大会をスタート。平成四年十月、山頭火ふるさと会と名称変更をして、東京、関西、四国、九州、全国各地のゆかりの地で、二十五回にわたり全国山頭火フォーラムを開催。

全国の会員各位の熱心な協力で啓蒙活動、山頭火新聞（五十一号発刊）、旅の会、酒の会などの活動を通じて、顕彰の基地としての山頭火記念館の設立を願ってきました。

そして平成二十九年十月七日に念願だった山頭火ふるさと館が開館、大きな目標を達成することができました。会員や役員の意見の中で、昨年になり会の存続について問題提議があり、平成三十年三月十六日の山頭火ふるさと会の総会で、会員の脱会の増加、全国自由律俳句大会、全国フォーラムが役員の高齢化による実務遂行の困難など、これまでのような活動の継続が出来なくなり、会活動の縮小の動議があり、検討の結果、現在は地元有志による十二月三日の生誕祭、十月十一日の山頭火をしのぶ会、山頭火ホームページの継続による全国ファンとの交流、山頭火ふるさと館への協賛などに活動範囲を縮小しています。

「山頭火をうたい、山頭火に親しみ、山頭火をつたえる」理念のもとに山頭火ふるさと館が、これまでに私たちが活動してきた顕彰、交流、研究、発信、自由律俳句の拠点としてバトンタッチしてくれており、民間団体として試行錯誤をしながら顕彰活動の応援を継続しております。

ほうふ水彩画倶楽部

防府の水彩画愛好者が集う場として

ほうふ水彩画倶楽部 執筆者 青木靖男

近年人気のある水彩画の魅力は一体何でしょうか。身近な画材で、場所を選ばず、気軽に描け、表現の幅が広い等、数え上げるときがありませんが、一言で言うのであれば「だれもが楽しめる」ではないでしょうか。水彩画に興味をお持ちの方、どうぞ「ほうふ水彩画倶楽部」（以下当会）で共に水彩画の魅力を堪能しようではありませんか。

当会は二〇〇四年に、「市内の水彩画愛好者が共に学び、共に楽しむ場」として発足しました。この間、全国的に水彩画の人氣が高まり、入会者も増加、数年後には文化協会にも加入させていただきました。お陰様で活動内容も充実の一途を辿る中、まもなく十五周年を迎えます。今後は、個人単位だけでなく、教室単位やサークル単位等団体での入会も推進し、一層の充実拡大に努めるとともに、防府市水彩画愛好者の交流を進め、併せて地域文化の向上・発展に寄与して参りたいと存じます。

《当会の主な活動内容》

- ・定例会：月に一度、会員が集い、水彩画実習および情報交換等を行います。
- ・特に指導者、講師等は置かず、「相互研鑽」を前提としています。
- ・現在：約十名参加、毎月第二日曜日午後、市文化福祉会館にて開催しています。
- ・作品展：年に一回、活動成果発表の一環として、会員の作品を持ち寄り、「作品展示会」を開催しています。
- ・併せて、広く近郊水彩画愛好者にも、展示の機会提供および相互研鑽の観点で出品呼びかけをして、好評を得ています。
- ・現在：六月上旬にアスピラートにて約七十点の作品を三日間展示します。
- ・その他：スケッチ旅行、研修会、交流会等を随時開催します。

書研・風信会

『書の道は続く』

書研・風信会 会長 山田 梓江

昭和四十二年に、初代会長山田魯江が書道を勉強したいという人に声をかけて創立されてから今年五十一年目を迎えました。会員も新旧の入れ替わりはあるものの、五十数年継続している人も数名あり、書の魅力は何かと思う時、追求することが無限大にあるからではないかと思えます。私達は古典から学ぶ漢字、かな文字、そして、現代の文字、アートの前衛書などあらゆる角度から観て楽しめる事が出来るような知識を得ようと日々研鑽しています。専門分野しか解らないよりも多くのことが理解出来た方が楽しいと思っっているからです。

平成二十九年は第四十五回記念書道展という事もあり、全会員軸装にして日本文化の美しさを表現しました。全国に会員が在籍する書道芸術院の巡回展と併催となり、「アスピラート」と「ルルサス」の二会場を使用しましたが、お陰様で全国各方面からのご来場者もあって活気のある展覧会になりました。

平成三十年は「アスピラート」で四月に開催する事が出来ました。そして、第四十七回展は新しい年号に変わった六月に開催します。書の文化が永遠に続く事を願って・・・



絵手紙同好会

代表 松永 房枝

下手でいい、下手がいいといわれ、絵手紙をはじめて二十年近くなりました。

防府郵便局三階会議室を使用させて頂き、宇田先生の教えを賜りました。口コミで月毎に会員が増え、午前午後の二部に分かれ、受付や集金の世話をしました。

そのうち郵便局の使用が出来なくなり、現在まで、佐波公民館で活動を続けております。

史跡名勝歴史的建造物見学で、萩・下関・門司・柳井、熊野の筆の里へスケッチバス旅行をしました。

宇田先生が各地の教室が忙しくなり、私たちの会を切られました。

現在は、郵便局時代の仲間と月一回佐波公民館で十名和気あいあいポケ防止に楽しみながら十年続けています。



スケッチサークル十色会

水彩スケッチで豊かな人生を
スケッチサークル十色会とじろかひ 藤村 涼子

平成二十五年に行われた市の生涯学習講座を起点として始まった自主活動グループ『スケッチサークル十色会（とじろかひ）』は、五年目を迎え、講師の熊崎範男先生を中心として、十八人のメンバーで活動しています。

「水彩スケッチを通して豊かな人生を楽しむ」をモットーに、先生から教わるスケッチ技法を基に、それぞれの感性で、伸び伸びとスケッチを行ってきました。天候の良い時期には、屋外に出かけてのスケッチ、雨天や冬など気候の悪い時は、屋内での学習を重ねてきました。

平成三十年は、多くの協力を得て、第二回作品展を、十月二十七日から十一月四日まで、国指定の史跡『英雲荘』で行うことができました。永い歴史が刻まれた英雲荘の壁を背景に、メンバー手作りのイーゼル等を使い、文化財と共に水彩画を楽しんで観て頂けるように、作品を配置しました。期間中多くの方から、英雲荘の佇まいと見合い、とても雰囲気の良い展示会だったという感想を頂き、会員にとっても、大変嬉しい作品展となりました。

今回の成果を励みとし、更に良い作品展を開けるように、力を付けて行きたいと考えています。そして、何より、皆で元気で楽しく活動を続けていきたいと思っています。



防府市美術連盟

伝統の防府市美術展
防府市美術連盟 会長 岡田 博幸

防府市美術展は、昨年六十八回目を迎え、市内唯一の公募展として長く伝統を引き継いでいます。市民の皆様のご支援とご理解により、この展覧会が防府市の美術文化向上に寄与できていると思っています。

美術連盟の主な活動の一つとして「防府市美術展」を毎年十二月に開催し、多くの作品応募をいただき、ハイレベルな展覧会になっていることはご存知の通りです。

応募部門は今までの七部門から「現代アート」を一昨年から新設し、現代は八部門としています。自由な発想と若者にも関心を持って貰いたいという願いからです。また会場の配置換えで鑑賞し易く、それぞれの作品が輝くようにレイアウトしました。高校生にも参加を呼びかけています。現在は、会場入り口付近に、幼児児童の作品展示や自由参加のワークショップ（クリスマスリース作り）等、楽しめる参加型展覧会を目指しています。

歴史的、文化的遺産の多い防府市は、既に芸術的な素地や感性は市民に十分に培われており、これから一段の関心と、活発な創作活動が望まれるところで



防府市書道連盟

会長 富永 鳩山

防府市書道連盟は、防府市内で活動されている先生方が志を持って集い、平成十二年三月二十六日に発足しました。第一回防府市書道連盟展は、防府天満宮千百年式年祭に合わせて、平成十四年四月に開催しました。以後、連盟展を毎年開催し、数年前より隔年ごとに開催しております。

書道をより身近な文化にするため、さまざまな工夫をして参りました。茶道の会、琴の会、写真の会などと共催して、お互いの文化により深く接することにより、その伝統に磨かれてきたもの、現代社会が求めているものを取り込みながら、書道芸術の発展に寄与して参りました。昨年の連盟展では学生部を併設し、幅広い年代の皆さまに参加していただき大きな成果を得ました。また、ルルサスでは毎年、小学生を対象に夏休みと冬休みにボランティアで書の指導をしております。来年度は小学一年から「習字」の授業が始まります。

文字を書く、言葉を書く、より美しく書く、そして芸術として展開し、書のある風景が人の心に新しい変化をもたらす。この伝統芸術を文化の力として、皆様と切磋琢磨しながら防府市書道連盟はこれからも精進して参ります。



書研 鳩山書院

書研 鳩山書院 主宰 富永 鳩山

地域に書道を学ぶ会を作る、を命題として、昭和三十八年、現在の勝間一丁目に開塾して以来、「全日本書芸文化院」の運営総務として、また書道家として伝統文化の一つである書道を沢山の子どもたちや一般の方々と五十年以上共に学んで参りました。皆さん書道を通して芸術を学び、人生を深め、趣味として道として、一筆一筆にそれぞれの思いを込めて楽しんでるようです。そして教室から多くの師範も育ちました。最近の伝達手段は驚くほど手軽にスピーディになりました。その中であって手書きは時間も手間もかかりますが、実感が伝わりやすく個性の出る行為であり、芸術としても素晴らしい表現方法だと思えます。

平成二十九年二月、第十三回鳩山書院書作展を開催しました。いつものように「書道体験コーナー」を併設し、多くの来場者の方が筆を持つ楽しさを体験されました。何年ぶり何十年ぶりに筆も持った、その喜びは格別なようです。長い歴史を持つ書道に釣り糸を垂れること、自分の好きな道を歩くことは限らない喜びです。伝統文化にはそうした道が開かれています。これからも書道という道を歩き続けていきます。



花桜の会

花桜の会 はなざくら 代表 佐古 明美

花桜の会は平成十一年五月に発足して、平成最後の年を迎え二十一年間頑張っております。

私達のグループは短い花の命を、何時までもの思いからはじまりました、押し花を研鑽しながら地域のいろいろなボランティアにも参加して、第二の人生を楽しくとの思いからはじまりました。初めは結婚式に使用したブーケをフレームにとじ込めるところからはじまりました、楽しい押し花教室です。プランタンの花、庭に咲いた花、野山に咲いた花その他あらゆる植物を使ってフレームに閉じ込め押し花絵を作っております。

お花も育てる事も楽しんでおります、防府市生涯学習フェスティバルにも春休み、夏休みと参加して子供向けの簡単押し花の講座も毎年いたしております。二年に一度は地域交流センターアスピラートにおいて作品展もしております。

また公民館を通じて地区の小学校、中学校にも作品の展示を行っております。

写真はアスピラートで作品展の看板です（押し花作品）。



彫歩会

伝統彫刻の美しさを伝える

彫歩会 会長 山本 歩

彫歩会は、伝統彫刻や漆芸の美しさと難しさにとり憑かれた私の許に集まった、数名の朴の木会(ほのおのきかい)という小さな木彫りの会から始まりました。デザインプラザ防府ができて間もなく初めての木彫展を開き好評を得ました。図書館やアスピラートでも作品展を開催し、その後公民館にて木彫と鎌倉彫講座としての活動を開始すると、瞬く間に百二十名の大きな会へと成長しました。私の活動の原点は、日本の伝統彫刻の美しさを沢山の方に知って欲しい事。その思いで活動を続け、あっという間に三十数年が過ぎ、その間に防府市美術連盟の理事も十年間務めさせて頂き、会員の中にも美術展への出品に意欲を燃やす人も沢山出て、充実した活動もできたように思います。

私自身、全国でも珍しいと言われる女の建築彫刻師として、周防国分寺の聖天堂再建の装飾彫刻をさせて頂いて以降、県内外の十軒以上の社寺仏閣の彫刻の仕事を手掛けさせて頂き、この技術を次世代へ伝承する責務を感じているところです。

朴の木会は防府木彫工芸会へ、そして彫歩会へと名を改め、活動を続けています。彫歩会は趣味の会ですから木彫りを学びながらも人との出会いを楽しんで頂けたらと思います。



藍と愛の会

天然灰(あく)汁醗酵建正藍染

「藍と愛の会」 会長 鈴木 秀子

藍染は世界中に在ります。最古の出土品は、紀元前五百年前のエジプト、フォスタットのろうけつ染の小布です。

今「ジャパンブルー」と賞讃される美しい天然灰汁醗酵建正藍染は、どのような経緯で今日に至っているのか定かではありません。

唯日本人の世界一高い美意識と、藍バチルス(藍菌)の作用を自然に活用しつ、今日まで大切に育んで来ました。多くの古布に残されています。

十九世紀、科学万能、経済最優先の時代に入り、合成藍が発明され、化学薬品による染色が行われるようになると、手間のかかる、時間のかかる天然の自然発酵建ては打撃を受けました。

薬品が地球を汚し、作業人の健康を害しても、薬で早く多く儲かる・・・薬品建ての藍染に、変ってしまいました。

私共は、五十年前から活かしている正藍染を続けて居ります。世界へのジャパンブルーよ!

藍さんよ。何時までも! 富海のおお(・・)よ! 何時までも! と願って働いて居ります。

本物の藍の体験も出来ます。お待ち致して居ります。

(要予約)事務局

090-7544-3360



合唱組曲 佐波川を歌う会

代表 堀越 政美

合唱組曲『佐波川』は、平成元年に(社)防府青年会議所の企画で誕生し、その翌年、ふるさとの自然・歴史・文化がたくさん詰まったこの曲を歌い継ぐために「合唱組曲『佐波川』を歌う会」が結成されました。

ふるさとの母なる川「佐波川」を歌ったこの組曲は、女声合唱「笹さやぐ」、男声ソロ「木遣り」、男声合唱「佐波の津」、女声ソロ「思い出」、児童合唱「たらいと人形」、混声合唱「大地生成」、全員合唱「佐波川讃歌」の7曲からなっています。

佐波川の水が生まれ出る清々しい様子から、河口に流れ出るまでの雄大な様子、また東大寺再建の為に佐波川を使って用材を運んだ重源上人の心情や、来目皇子への苦勞を安らかに眠ってほしいと願う気持ち、菅原道真公がまたこの地に戻ってくると誓った気持ち、子どもの頃のなつかしい思い出、これからの防府市への未来に期待する思いなどを歌っています。

私たちは、合唱組曲「佐波川」を好きな人たちが一緒に歌いましょうという会です。

初めての方でも、歌が好きな方、防府の好きな方なら大歓迎! 私たちにとって、ふるさとの母なる川佐波川。合唱組曲「佐波川」を一緒に歌いましょう!

練習日 毎月第三火曜日

19時30分 佐波公民館



防府マンドリンギターアンサンブル

マンドリン合奏を通して広がる音楽の輪、人の和
防府マンドリン・ギターアンサンブル 代表 西村和代

防府マンドリン・ギターアンサンブルは、一九九九年にアスピラート「音楽ホール」が完成したのをきっかけに、地元有志によって結成されました。その年に第一回の定期演奏会を行い、昨年は二十周年の記念演奏会を防府市民合唱団との共演による特別ステージも設け、盛大に開催しました。

部員は二十代から七十代までと幅広く、マンドリンやギターの経験も学生時代からの経験者、全くの未経験者と様々ですが、皆音楽が大好きで和やかな雰囲気の中にも毎週真剣に練習に取り組んでいます。

二〇一三年からは、山口県内にある十余りの社会人、学生のマンドリンクラブが一堂に会しての「山口県マンドリンフェスティバル」を隔年で開催しています。各団体の発表の場でもあり、全員での大合奏を通して交流を深めてきました。また年に数回、福祉施設や保育園などからの依頼を受け、聴いて下さる方々と一緒に楽しい演奏会も行っています。これからこのような音楽の輪が広がっていくことを目標に精進していきたいと思っています。



勝間ギターアンサンブル

勝間ギターアンサンブル
佐藤 正勝

勝間ギターアンサンブルはクラシックギターのアンサンブルを楽しもうとの目的で、防府マンドリン・ギターアンサンブルのギターパートのメンバーが主体となり二〇一八年四月に発足しました。現在のメンバーは八名で、一〜二回/月、勝間公民館でバロックからポピュラーまで幅広いジャンルの曲を楽しんでいます。練習の成果はアスピラートでの各種行事や依頼演奏等、出来るだけ多くの場で演奏する様に心掛けています。当クラブでは常時メンバーを募集しています。クラシックギターを愛好されている方、一緒にアンサンブルを楽しみましょう。



大村能彰顕彰会

能章まつり 輝け 昭和歌謡大会
大村能彰顕彰会 会長 池永光男

大村能彰顕彰会の二つの大きな行事は、春と秋の能章まつりです。
春は「二輪のサクラ祭り」と題し、今年で十五回目。佐波神社境内で行われ、地元多々良自治会の協賛により、佐波神社春季例大祭奉賛行事として四月第一日曜日に行っております。

秋の能章まつりは二十八回目となり、今年は十月十二日(土)アスピラートで行う予定です。二十五回を期にコンテスト方式から会場の皆様が選ぶ好きな昭和歌謡を歌った方に賞を贈り、入場無料で行っております。

また、地元ラジオ、FMわっしょいでの番組「昭和歌謡の旅」で毎月最終火曜日午後四時から役員等が出演し能章先生の生い立ち、生き様、生涯の話など放送しています。

今後の顕彰活動としては、全国各地に何千とある能章先生の作品を知るために全国能章ネットワークステーション(仮称)の構築を考えています。



防府市民合唱団

一緒に歌いませんか

防府市民合唱団

団長

河野 隆文

「防府市民合唱団」は、一九八三年（昭和五十八年）7月防府市内の歌が好きな仲間たちで結成された混声合唱団です。本年度で結成三十六年となります。現在は防府市だけではなく、山口市や周南市在住の団員もいます。結成以来、防府市民音楽祭、フェスタアスピラート、天神ピア・サマーコンサートなどの地域行事への参加だけでなく、毎年夏に開催される全日本合唱コンクールへ出場しています。昨年までに山口県大会に二十九回出場し、内十八回は山口県代表として中国大会にも出場いたしました。また数年に一度行う定期演奏会は昨年で十一回となり、デイズニーの「美女と野獣」をミュージカル仕立てで演奏し好評を博しました。

練習は毎週月

曜日佐波公民館で第一・三土曜日は勝間公民館で十九時三十分よりおこなっています。高校生以上の歌うことが好きな方、一緒に歌いませんか？見学等大歓迎です。



防府ふるさとコール

山頭火に魅せられて

防府ふるさとコール

代表

中谷 俊子

季語や五・七・五の形にこだわらない自由俳句を詠む防府市生まれの俳人・種田山頭火。お酒が大好きで全国行脚しながら句を詠み続けました。彼の功績をたたえ、平成二十九年に「山頭火ふるさと館」もオープンしました。

分け入っても分け入っても青い山

あざみあざやかな朝の雨上がり

あめふるふるさは、はだしであるく等、多くの句に感銘を受けられて、桑原一朗先生が哀愁のあるメロディーをつけ、すてきな曲が生まれています。一曲一曲に味わいがあり、大正・昭和にタイムスリップしながら合唱を楽しんでいます。

「防府ふるさとコール」は、発足して二年余りのほやほやの合唱団ですが、歌うことを通じて山頭火の心にそっと触れ、幸せなひとときを過ごしています。毎月第三木曜日に「ふるさと館」に集まり活動しています。山頭火を歌う仲間がもっと増えることを期待しています。



サルビア・コール

目標！！ 美しいハーモニー

サルビアコール

藤本

三恵子

サルビアコールは、今年で四十七年目にはいります。当初からの二人の会員を合わせ、現在、三十八名が在席しております。

年三回の発表会に向けて、私達、五〇代から八〇代で年令を越えた仲間が気持ちを一つにして、至福の時間を過しています。

ご指導して下さるのは、河村京子先生、伴奏を担当して下さるのは、喜多村裕美先生、時折、素敵なピアノの音色の前奏に聞き入り、自分の歌い出しに躓くこともあり、お二方と毎週二時間練習しております。

先生の選曲されたものが難しく大変に思うこともありますが、難しい程、日を追う毎に少しずつ、ハーモニーが仕上げられてゆく過程が醍醐味となり、一層歌うことに楽しさを感じるのではないかと常々思っております。

この楽しさを一人でも多くの方に感じて頂きたい。歌の好きな方、一緒に歌いませんか。世の中の諸々の事、歌っている間だけでも払拭出来ます。

生涯学習の一環として、また防府市の文化活動の一助にも繋がる活動になるのではないかと信じております。



日本クーラウ協会

日本クーラウ協会山口支部活動報告

日本クーラウ協会山口支部 会長 田上 紳

平成二十九年三月にアスピラートのリハーサル室で、第一回日本クーラウ協会山口支部総会及び演奏会を開催して以来、昨年の三月十日(日) 十八時三十分より、アスピラートの三階ホールで第三回総会・演奏会を行なえるまでに成長しました。

当会は、日本クーラウ協会の会長であるフルーティストの田上紳の防府市永住を機に、山口県に作曲家クーラウ(ペートーヴェンより少し後のデンマークの作曲家)の業績や、彼の作品を紹介し、一回でも多くクーラウの曲目を聴いてもらいたいという思いで設立し、活動して参りました。

防府市を活動の拠点としておりますが、防府だけに留まらずに、山口県内に作曲家クーラウを拡めたいと思いい、支部会長に、山口市で産婦人科クリニックの院長先生である榎田史郎氏にお願いし、評議員に六名の音楽家や音楽愛好家に協力戴きながら、便宜に評議員会での話し合いの元、活動を続けて参りました。会員にはプロの音楽家、アマチュアの音楽好きの方よりも、まるきり音楽をやった事のない人も多数会員になり活動を続けています。

第三回音楽会は、第一部は二台のピアノでクーラウ唯一のピアノ協奏曲。第二部のピアノ独奏では、クーラウの最高傑作といわれる作品127やソプラノ独奏など、アスピラートで開催されるクラシックの音楽会の中では、高度な専門性の高い曲が続きますが、音楽に余り縁がなかった人にも充分楽しんでもらえる音楽会になります。それ程、クーラウの音楽には自分自身を見直す何かがあります。

是非この機会に私達と共通の目標を持ち、新しいご自分の生き方を目指すきっかけとして、クーラウ協会へのご入会をお待ちしております。(尚、三月十日、十八時三十分開催のアスピラートの音楽会は入場無料です。多数の入場をお待ちします。)

防府音楽連盟

防府市文化協会と伴に歩んだ半世紀

防府音楽連盟 代表 石川 功

「防府音楽連盟」は、昭和四十二年(一九六七年)1月、ユネスコ青年部のバックアップで、それまで個々で活動していた市内の職域音楽グループが、「音楽を自分たち自身で体験し理解しよう、そして市内の音楽グループの結束を図り、音楽活動を通して地域文化の一助となろう。」というテーマのもとに手を結び、「防府アマチュアバンド連盟」として発足し、昭和四十八年(一九七三年)からは現在の名称に改称しました。

連盟の発足当初は「防府の文化を高める会」、その後創立された「防府市文化協会」には、本連盟の基本理念にご賛同いただき、防府市の文化振興に関する活動を通じて伴に歩み、市内外の地域文化向上行事の事業計画や企画等、また、演奏を通して「防府市民音楽祭」、「松崎ふるさとまつり」など様々な地域行事に率先して参加し、市内外で活動するアマチュアバンドの輪を拡げてまいりました。

昨年九月には、本連盟に在籍しているJazzのフル・バンド「H.C.B.カウント・エース」の結成五十周年記念コンサートも盛大に開催することができ、連盟の活動が無事半世紀を迎えることができましたのも、当協会の団体会員として、これまで多くのご指導・ご支援を頂いたおかげだと感謝しております。

これからも、連盟発足当初の会員、諸先輩方が未来に望んだアマチュアバンドの活動理念から離れることなく、古きを訊ね、また、日々誕生しては消え、進化していく音楽形態にも適応できるように会員一同が研鑽を重ね、市内の音楽グループの代表として各グループの結束を強め、音楽活動を通しての地域文化進行に努めてまいります。

みつばち合唱団

みつばち合唱団について

みつばち合唱団 代表 末富 孝代

みつばち合唱団は二〇一二年に発足。下は年長さんからは十八歳までの児童合唱団です。

少人数を活かして、個人の才能や個性が発揮できるよう独唱コンクールにも挑戦しています。昨年の山口県学生音楽コンクール独唱部門では、参加した五年生、六年生の三名全員が入賞を果たしました。

毎年十月に行われる「防府市民音楽祭」や、三月にアスピラートで開催する「みつばち合唱団定期コンサート」は、メンバーがたくさん練習を積み重ねて創り上げる、大きなイベントです。緊張で失敗しても、大きなステージを経験することで、一人ひとりがより成長し、メンバー同士の絆も深まっていきます。

地域のお祭りや福祉施設で歌うことも、子供たちにとって、聴いて下さる皆様が喜んで頂けることを肌で実感できる、とても貴重な体験となっています。

防府市華浦地区を拠点にして、活動中です。今後とも、よろしくお願いたします。



山頭火讃歌隊

『会員募集中』

山頭火讃歌隊

代表 伊達 英二
指揮者 桑原 一朗

山頭火讃歌隊は、平成十四年に結成され、現在、山頭火の句にメロディーをつけて、合唱をしております。

主に、『ふるさと』と『花』の句を選んで歌っております。練習日は、毎月第二・第四の水曜日に、勝間公民館にて、十八時三十分～二十時三十分まで行なっております。結成以来、会員の皆さまとともに活動でき、大変嬉しく思っております。

ただ今会員募集中です。ご興味のある方は、勝間公民館（二二一〇八五四）か代表伊達（二二一〇八五四）までお気軽にお問合せください。今後ともよろしくお願いたします。



H.C.Bカウント・エース

H.C.Bカウント・エースの軌跡キセキ

会長 桑原 一朗

平成三十年九月九日 防府市アスピラートで、「H.C.Bカウント・エース結成五十年記念コンサート」を、練習・演奏し続けたメンバーと、長くご支援頂いた多くの方々のおかげで開催することが出来た。

月曜日と木曜日 夜八時から十時。週二回の練習日、結成当初から変わらない。この時間と空間に入り込むと、年齢・職業・音楽への方向性も異なるメンバーが、一曲を仕上げる為に見事に合体変身する。そんな不思議な現象が起こるのだ。これを体感すると、完全にはまってしまう、H.C.Bです。

一人一人が、自己練習で自分に磨きを掛けた技を、ぶっつけ合っ。それが練習場なのである。

結成当初のライオンクラブ主催の「市民音楽の夕べ」（現市民音楽祭）が初ステージ。以来色んなジャンルの音楽を演奏してきた。

思い起こせば、昭和四十年台の防府市内には、社会人バンド（職域の企業ビッグバンド編成）が群雄割拠していた。広政鉄工所ダークパールズ。協和発酵ブルーブラネット。大村印刷OPCブルーレイंस防府市役所ブルーフェローズ。そこへ、新しく、音楽好きなら誰でも参加できる市民バンドとして、防府キューバンボーイズ（H.C.B）が誕生した。以後、女性ボーカルのグループが参加し、名称から「ボーイズ」が無くなり。ラテンナンバーだけでなく、ジャズもロックもポップスも歌謡曲もと演奏ジャンルもバンド編成も拡大した。

現在は、H.C.Bを防府シティバンドと読み、会の名前。バンド名をH.C.Bカウント・エースに落ち着いている。

一人ひとりが耀けば、バンドが耀く。メンバーは不揃いの歯車。しかしこれが噛合い、回り出すと個人では出せない、何倍ものパワーが発揮される。

決して妥協ではなく、お互いの信頼と支援と尊敬の上になり立つサウンドづくり。それがH.C.Bの目指すものだ。

茜屋出雲流 茜会

日本舞踊 茜屋出雲流茜会防府支部

執筆者 出雲松帆月 上田 清子

茜屋出雲流の御紹介をさせていただきます。茜屋出雲流家元出雲松扇は、歌舞伎の名門大和屋八世、坂東三津五郎師より、坂東弥之輔の名を許され、昭和五十年、茜屋出雲流を創流。今年で四十四周年を迎えており、全国北は東北、南は沖縄まで、二十七支部の会員によって活動されておられます。

平成二十五年より、中国ブロック防府支部茜会として、出雲松賀・出雲松姿・出雲松帆月三名の直門名取は、防府市文化協会団体会員となるとともに、防府邦楽舞踊連盟にも加入させていただいき、防府市文化協会主催事業の防府市民文化祭「邦楽の会」に出演させていただいております。又、防府天満宮の裸坊祭りの奉納邦楽演奏会や、毎年夏の風物詩としての防府おどりにも、お弟子さんとともに、「ちよるちよるやちよるおどちよる」の曲に合わせて夏の夜を楽しんでおります。

また、各自で毎年一回春には、それぞれの教室が舞踊の会を開催し、日本舞踊の素晴らしさを広く世の人に知っていただきたく頑張っております。



防長民謡会

唄いましょう日本の心民謡を

防長民謡会 会主 永田 玲秀

昨年十一月四日、第四十九回「邦楽の会」が無事終えることが出来ました。誠に嬉しいのと感謝です。一年の目標のしめくくりが、邦楽の会であり新たな年の目標でもあります。

お客様に感動して楽しんで頂ける舞台が出来上がるように、課題も多くあります。

防長民謡会は、発足して四十数年の月日がたちます。

一時は、百名を超える程の民謡人口でしたが、近年は高齢化で減少。一人でも多くの人達に唄って欲しいです。声をだす事は健康になります。年の初めの初唄い初弾

会 六月の山口民謡コンクール大会、並びに日本民謡発表会、キャリア

アップ教室、ボランティア、

佐波公民館での

サークル活動、

障害福祉センター、

現在も続いていますが、

これからも未来に繋がって欲しいです。



日本吟道防府岳誠会

健康増進と脳の活性化！皆さん挑戦してみませんか。

防府岳誠会 林 昭 岳

防府岳誠会は詩吟の会です。昭和四十二年創立です。この頃詩吟ブームが始まろうとしていた頃で、私たちの会も人数がどんどん増え三百人を越える会員数でした。漢詩や和歌、俳句等を複式呼吸で腹の底から歌い上げるのが詩吟です。呼吸や発声が体に良いことはいまでもありませんが、漢詩や和歌などとおして、歴史や歴史上の人物像が学べる等々、とても楽しく生き甲斐になる趣味です。年二、三回の発表会や建国記念吟詠大会、観月吟詠大会等々市内の吟詠家が集まる大会もあり、楽しく張りのある活動をしております。

現在、市内十五ヶ所の教場で、週一回詩吟の勉強をしておりますが、高齢化が進んでいます。これからは、若い人に詩吟の良さをアピールする方策を考え、興味をもってもらえる活動に力を入れたいと思っております。

また、「天神山公園歌碑めぐり」、「防府八景」、「望東尼ものがたり」、「山頭火句碑めぐり」等々の映像とともに吟じる構成吟にも力を入れております。

複式呼吸によって内臓機能が改善され、腹からの発声によってストレスが解消、さらに歴史が学べ、感性が磨かれる詩吟。皆さん挑戦してみませんか。

防府岳誠会



鷺朋吟詠会防府総支部

古の漢詩を吟じる素晴らしさを学ぶ

鷺朋吟詠会防府総支部 代表 高橋 岳鷲

吟詠とは詩に込められた作者の喜びや哀しみ、感動した心を吟者が感じ声に出して詩の意味を表現するものです。お腹の底から声を出すことは、ストレス解消になります。新鮮な空気をたくさん吸い込むことで、内臓の働きが良くなり体調を整えてくれます。高齢化社会の進む中、お年寄りにも手軽にできて、生涯学習として最適です。

日本古来より伝わる（漢詩・和歌・俳句）を学び、遠い古への歴史に思いを馳せて先人の志を学んでおります。興味のある方は、一度教室を見学して下さい。

団体は、防府邦楽舞踊連盟に所属し、行事としては、建国記念吟詠大会、観月会大会ほか、防府市文化協会主催事業である防府市民文化祭と地域ふれあいまつり、会員の勉強の成果を発表する（温習会）に毎年参加しています。大きな発表の場に参加できる喜びを参加者一同誇りに思います。

一昨年には、「山頭火ふるさと館」の落成式に俳句『ふるさと』を吟じさせて頂きました。ありがとうございました。どうぞございました。

これからも防府市の文化向上に微力ながら協力して参ります。今後とも変らぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



防府邦楽舞踊連盟

邦楽舞踊連盟盛衰記

防府邦楽舞踊連盟 会長 中尾 岳燹

先哲の努力と工夫により、立派に洗練された邦楽と舞踊の演技、此の催しに参加し、出演して感激し、感動して参りました。見事に洗練された演技に、此の分野に籍を置き、自らも演技が出来、感動を覚えることが出来たことに些かの誇りを感じるものであります。

防府市公会堂の催し物の中でも歴史の古い邦楽舞踊の大会に独特の雰囲気を持つ邦楽部門に参加しお世話出来た私は幸せ者であります。

即ち主催、出演双方の仕事が出来たことは幸いであります。今年は、維新百五十年の各種行事や催し物が企画され行なわれておりますが、これ等は全て一過性のものであり歴史の重みを感じることが出来ませんが、邦楽には独特のものを感じ、歴史の重みも感じます。遠くは神代の時代から今日に到るまで悠久の流れがあるのです。私達は此の時代に此の分野で活することに無常の喜びを感じざるを得ません。樂しかりき邦楽連盟 嬉しかりき邦楽連盟。これからも皆様と共に楽しみ、共に慶びながら、睦み合い、励まし合って此の会を樂しみながら更なる伸展を図りお互いの融和と親睦を求めてゆきましよう。平成三十年の区りと元号改定の時節柄、良いものには更に研ぎをかけ、悪習は改め乍ら私達の愛する邦楽舞踊連盟の伸展を目指して行こうではありませんか。連盟は永久に不滅です。これからも協力し合って輝かしい邦楽舞踊連盟を更に立派な団体として後に続く人々に継承して行きたいものです。

邦楽舞踊連盟光輝あれ!!連盟の演技に参加した者の達成感、満足感、参加した者でなければわかりません。躍動感と歴史の深みのある邦楽の魅力に会場にご来場ください。壮重で歴史のある邦楽の躍動感へのご来場とご参加をお待ちしております。

日本吟舞曾光流曾光会

日本吟舞曾光流 本部長 曾光 恵一

防府の文化を高める会を、防府市文化振興財団と防府市文化協会へ発展的に移行する形で、防府市文化協会が設立され、二十周年の節目の年を迎えられることになり、おめでとうございます。

文化協会の主要な行事である防府市民文化祭の邦楽の会では、毎年一定な時間を割り当てていただき、ありがとうございます。防府曾光会では邦楽の会への出演を非常に大切に、この出演を年間の目標にして日頃稽古に励んでいます。今年には明治維新百五十年に当たり、構成吟舞「維新の志士」を九人が出演しました。

なお、吟舞詩舞では雰囲気を出すため琴と尺八の演奏が不可欠です。すばらしい詩吟と演奏をしていただく詩吟及び琴、尺八の先生方には心から感謝申し上げます。

また、平成二十七年六月には、日本吟舞曾光流曾光会が、多年防府の文化の振興に尽力されその向上に寄与したということで、防府市長、防府市文化協会長連名での表彰の栄に浴することができました。現在は二代目宗家曾光可恵、三代目曾光可貴の指導体制で稽古に励んでいます。

その他、正月の初舞会、夏のゆかた会、二、三年に一度の発表会、建国記念日防府詩吟連合会吟詠大会、観月会、天満宮奉納演舞会(防府邦楽舞踊連盟)、地域の文化祭やイベントへの参加、養護施設への慰問などを行なっています。こうした活動が、防府市のまちづくりの目標「人・まち元氣 誇り高き文化産業都市 防府」に強く繋がって行けばと思っています。

今後とも、かけがえないふるさと防府の地が、文化の香り高き地であり続けましよう、防府文化協会の益々の充実・発展を願っています。

都山流尺八楽範山会

『人の心に響く音づくりを目指して』
都山流尺八楽範山会 会長 小林 範山

範山会は、故末永萬山師の指導のもと小林範山を中心に邦楽(尺八音楽)を愛する者たちが集い昭和五十二年四月一日に設立しました。邦楽舞踊連盟には昭和六十二年四月に入会を許可され現在に至っています。会員(十一名)は日々の稽古を中心に合奏勉強会や本曲コンクール挑戦など諸行事に積極的に参加して演奏技術の向上を目指しています。

人の声は生まれた時から人それぞれの声(音色)があります。尺八は練習次第で吹奏者の音(音色)が出来上がり、この出来上がった音は楽器が変わってもその人の音となります。従って尺八を練習し始めたときからその人の音色づくりが始まるわけです。持って生まれた声は変えることが難しいのですが尺八は自分だけの音をつくる面白さがあります。またこの音は練習によって磨かれ、美しく艶のある音にもなり『人の心に響く音』にもなります。音づくりは簡単ではありませんが、より良い音づくりを目指して会員一同精進して参りたいと思っております。



和歌奈会

和歌奈会の「色」

和歌奈会代表 山野安珠美

和歌奈会の会主、母、山野歌奈女が他界して、もうすぐ二年が経とうとしています。

短くもあり長くもあつたこの二年。会員と共に、母が伝えてくれた沢山のことを胸に、箏と向き合ってきました。新しい仲間が増えたり、様々な演奏の機会を頂けたことは、大きな力となりました。また邦楽舞踊連盟・文化協会の皆様の温かな励ましやお導きにも支えて頂きました。この場をお借りし心より御礼申し上げます。

母がいる頃のような十分な環境でない中、夫々が手探りで積み重ねて得たものは、個の変化と成長、団結力だったように感じます。ふとした瞬間、音色、演奏に「和歌奈会の色」を感じるがあります。これらは皆、一人一人と丁寧に向き合い、音楽に対してどこまでも探究し続けた母の生きた証でもあると思っています。私自身は指導者としてまだまだ未熟ですが、箏を弾きたいという想いがそこにある限り、試行錯誤しながら自分出来ることを、続けていけたらと思います。

今年で和歌奈会は五十年を迎えました。一緒にが叶わないのは本当に残念ですが、継承の思いで少しずつ、皆で力を合わせて進んでゆけたらと思います。これからも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



上田流尺八道管友会

「芸術に国境なし!」

上田流尺八道管友会 会長 永田 菅堂

我が国は長い歴史と文化を有する誇るべき国です。この文化は他の国々との良好な交流により独自の発達を遂げ、長年に亘る先人の改良・工夫により培われてきた努力の結晶です。尺八は我が国の伝統音楽邦楽の一翼を担う楽器であります。厳密には日本発祥の伝統楽器ではなく、古代中国唐代初期に現われた雅楽器を源流とし、日本には奈良時代に唐楽の演奏用として伝来しその後、室町中期ごろに、南中国から伝来したといわれる竹箏も加わり長い年月の変遷を経て江戸期には普化宗の法器として宗教音楽に用いられ、明治時代には古典本曲の一部と外曲や近代本曲が確立されるとともに、西洋音楽とも融合して芸術音楽に入り、その他これらとはまったく別に、民謡尺八とよばれる民俗音楽、ジャズやポピュラーなどの大衆音楽にも活躍の場が拡大してまいりました。

このように尺八は、他の伝統楽器や洋楽器とともに、民俗から芸術まで、古典から現代音楽まで、独奏からさまざまな組合せによる合奏まで国内外で広く用いられております。

近年、地球規模のグローバル化に伴い、防府市におきましても外国との交流が深まり、姉妹都市縁組や高校生の語学研修派遣をはじめ文化・スポーツの民間交流も拡大しつつあります。邦楽の分野でも来防の外国からの皆さんに伝統音楽を鑑賞して頂く機会が増えており嬉しい限りです。また、来年の東京オリンピック・パラリンピック開催に際し、防府市はセルビアのホストタウンとなり、多方面で交流が推進されています。

昨年二月にはセルビアからローラ民族音楽舞踊団が来防し、その歓迎レセプションの折、当協会は尺八演奏をはじめ日本舞踊・民謡浜子うたを披露させて頂きました。演奏後の若き団員の皆さんとの熱い握手に芸術には国境がないことを実感した一夜でした。

萌えぎ会

地域文化、邦楽の発展と

中山歌翠先生の若さの秘訣(源)

萌えぎ会 藤村 歌祥

萌えぎ会は、昭和四十五年に結成。現在「防府邦楽舞踊連盟」「防府市文化協会」「山口市徳地文化協会」に加入しております。

今年は五十周年を迎え、中山先生の御指導のもと二十数名が日々練習に励んでおります。

これまで、全国知事会、県庁県政資料館落成記念式典、大村能章まつり、デザインプラザこけら落し、武道館記念式典、アスピラート音響しらべ、徳地文化ホール、国立山口徳地青少年自然の家、高川学園、その他沢山の式典等、又国際交流、国際ユネスコ大会、ジャンボリー、福祉施設等で協力演奏しております。

近年は、文化育成事業で市内外の小中学校で、日本伝統音楽の邦楽授業を指導し、普及に努力をしております。

現在、私たちも高齢化が進み、若者の加入を心待ちにしているところですが、子どもたちは、塾や習い事も近代的になり、邦楽には中々眼を向けてもらえない今日の頃です。

中山先生の情熱的な指導の姿やお元気な姿、いつまでもおしゃれで美しい姿、先生自身何事にも積極的で研修に励まれる姿は見習いたいと思っています。日々の生活に追われお稽古もまっならない私たちは、若い世代の入会を待ち望み、地域文化の向上に努めて参ります。会員一同、心からお待ちしております。

千鶴の会

二十年を振り返って

千鶴の会 会主 花柳 扇千鶴

二十年前といえば、私はまだまだ新米で、先輩先生方の背中を一生懸命追いかけてながら、色々御指導頂き、また御自身の苦勞、経験された事を楽しく話して頂いた事が思い出されます。防府市文化協会へ入会させて頂き、お陰さまで諸先輩先生との出会いがあり、信頼できる同会の方々と共に話し合い、ご相談し何事も進めて行く事ができます。

おこがましくも、「防府市文化協会創立二十周年記念誌」に掲載させて頂き光栄に存じます。

「千鶴の会」は、昭和四十三年十一月に旧小郡町で発足し活動を初め、昭和五十年に防府市に移し本年度五十年となりました。

現在、実際に舞踊公演活動している行事としては、毎年「千鶴の会 勉強会」開催、「防府おどり」参加、防府市文化協会主催事業の「邦楽の会」と「防府天満宮奉納舞踊会」出演、ボランティア活動では、養老院施設慰問舞踊会、地域敬老会、盆踊り等に参加し地域伝統文化向上に会員一丸となり、舞踊行事に積極的に活動の輪を広げ楽しく踊っています。

今後は、微力ながら、後輩の育成に精進し、若者の上達が目ざましく嬉しく、代々へと継承して頂くように努めたく思います。



吉冬貴の会

日本舞踊若柳流 吉冬貴の会

修練の成果、宇部や周南の舞台で披露

会主 若柳 吉冬貴

当会は、日本舞踊若柳流の日舞を学ぶ会で一九九五年に「柳貴会」として発足し、二〇〇九年に「吉冬貴の会」と改名しました。十一歳から八十六歳までの会員たちが、古典舞踊をはじめ、新舞踊、民謡舞踊を稽古しています。

会員たちは山口県芸術祭や防府市、周南市の文化祭、防府天満宮で開かれる奉納邦楽演奏会などに出演。老人福祉施設への慰問も行うなど積極的に活動しています。中でも、名取の面々は下関市の先帝祭で太夫に選ばれたり、県内外の舞踊公演で修練の成果を披露したりしています。今年も、二月十六、十七日に東京の国立劇場大劇場で日本舞踊協会公演、五月十九日に宇部渡辺翁記念会館で山口県総合芸術文化祭参加・山口県日本舞踊公演、十一月十日には周南市文化会館で周南邦舞連盟舞踊公演に出演します。

日舞を通じたボランティア活動にも取り組み、防府市立右田小学校の正課クラブでの指導は3年目になります。児童のみならず和やかに交流しながら、日本の伝統文化を伝えていきます。

一昨年は新舞踊の師範の資格を持つ当会会員が「祐矢の会」を立ち上げ、防府市文化協会に加入しました。ともに精進し、一人でも多くの方に舞台を見ていただけたらと願っています。

浜子うた保存会

防府市指定無形民俗文化財「浜子うた」

浜子うた保存会会長 古谷 昇

元禄十二年（一六九九年）毛利氏の三白政策により防府に築造された入浜式塩田は、永い間地域の産業経済の中心であったが、昭和三十四年（一九五九年）に二百六十年の歴史に幕を閉じた。その後昭和四十二年、「浜子」塩田作業員の最も過酷な春の地盤ごしらえ作業に合せて唄っていた労働歌「浜子うた」が防府市無形民俗文化財に指定された。

以来「浜子うた」は、全国民謡大会、国民文化祭民謡民舞の祭典など全国で出演を重ね、姉妹都市安芸高田市の文化祭やセルビア共和国パレーポール協会の歓迎レセプションなどにも招かれた。防府市制八十周年の昨年には「浜子うた保存会」が特別功労賞を受章した。

文化財指定から半世紀を経た今日、指導者は二代目、三代目が引き継ぎ、今なお月一回程度の伝習会や毎年秋の塩田まつり、市民文化祭、天満宮のあとまつりに出演し顕彰と継承に励んでいるが、地域に根ざした民謡は昨今疎んじられる傾向にある。一人でも多くの地域の若者が「浜子うた」継承者となることを願ってやまない。保存会事務局で唄の練習用CDが複写できるので、ぜひ活用していただきたい。

（電話25-2237文化財保護係）



イクエフラPDC

運命を感じた文化協会との出会い

イクエ フラ PDC 会長 福田 育恵

平成十八年、洋舞に出演いたしまして約十年と月日が過ぎてまいりました。私がフラを始めて多くの出会いと学びがありました。

文化協会との出会いは、洋舞の会に入会することから始まりました。毎年開催する、洋舞フェスティバルを観劇して、この舞台に出演したいと思い、早速、文化協会に入会しました。その時、洋舞の会のことを聞き、入りたいことを伝えました。しかし、伝統ある洋舞の会に入会するには、洋舞の会の会長さん、会の代表の方に認めていただかなくては入れません。当時、私は佐波公民館と自分のスタジオでレッスンをしていました。そのなかで、会長さんに佐波公民館でのレッスンを見ていただきました。その時、洋舞の会の会員に入会することを認めていただき平成十八年に洋舞フェスティバルに初めて出演しました。夢のような出来事でした。

それから、十年。フラ人口も増え私は防府の中心でフラを広めたいと思い、ルルサスの広場で、平成二十九年からナイトフラを実行しました。約百五十名の踊り手と、お客様とで防府の街が輝き、大成功となり良かったです。これからも初心を忘れず頑張っていきたいと思っています。



牟礼フォークダンス同好会

牟礼フォークダンス同好会 会長 西山 晋

私たちの会は、例会に皆が集まって踊りを楽しんでいるサークルです。ワイワイガヤガヤとにぎやかな会です。普段、フォークダンスは自分たちで楽しむ目的で踊っていますが、洋舞フェスティバルに参加し始めて踊りに対する取り組が変わってきました。皆に見てもらうために、一つ一つの踊りを丁寧に踊ることを心がけていますが、踊りを大切に作る姿勢が身につけてきました。

洋舞フェスティバルに参加し始めて二十年近くになりますが、毎年の積み重ねで徐々にですが成長させてもっています。

二〇一八年二月。私たちはとても大きな行事を体験しました。

セルビアローラ民族音楽舞踊団と防府市の交流事業は、防府市と防府市文化協会の皆さんの甚大な協力があって実現し、感激を与えてくれました。

一加盟団体の提案を取り上げ、市民活動にまで押し上げて下さった文化協会の皆さんの御助力に感謝し、文化協会に加盟していたことの大切さを実感しています。文化協会の後押しがなければ机上の計画だけで終わっていたことだと思えます。文化協会に加盟し活動することで、私たちの会が育てられています。



dance studio Kirara Spirits

執筆者 田村 直樹

二〇〇一年の山口きらら博で人生変わったなうって方もおられると思います。自分もその一人かな。

『山口元気伝説』に県民ダンサーで出演。その後ダンスを始め、これまでに多くの先生に出会い育てていただきました。踊る楽しさや表現の難しさ。刺激的な作品や面白い作品を、観たり踊った時、こんな作品を作りたいいっしょか先生を目指すようになりソシアルダンスの資格を取得。

流行りの曲を踊ったり、ソシアルを踊ったり、踊りたい曲を見つけてはストーリーを付けて面白く仕上げたり。お手伝いで発表会に出演したり。

スタジオのキャッチフレーズは『Let the Good Times Roll』「楽しい時間を過ごそう」です。

本職ではないので空いた時間しか練習出来ませんが、一緒に踊ってくれる仲間も募集中です。文化協会の制度を使わせていただきまして、月に一回は広い会場を借りてステージを想定した練習もしています。元山口県知事二井関成先生より、Kirara spiritsの名前を頂き、スタジオの名前にしました。今後は、名前負けしないように作品を作っていきます。イベントや発表会にも出演しますが、平成三十一年度の洋舞フェスティバルに参加する予定です。観に来てくださいね。今後ともよろしく願います。



谷淑江 ス페인舞踊スタジオダンサルテ

谷淑江スペイン舞踊スタジオDANZARTE

執筆者 谷 淑江

防府市文化協会が作られるきっかけとなった洋舞連盟が発足した二十年前、私は、洋舞フェスティバルの先駆けである「洋舞の会」にバレエ教室の生徒の一人として出演しました。それから毎年のように防府高校を卒業し上京するまで、公会堂の舞台で踊りました。気が付けば、今は私が主催するスペイン舞踊スタジオの恒例行事として、その日を楽しみに生徒たちが日々のレッスンに励んでいます。

私の恩師でもある洋舞連盟の立ち上げに尽力なさった今は亡き青木昭代先生の遺志を継いでこの会が防府市の芸術文化の向上を担い、発展して行くことを願います。

私共は、スペイン舞踊の普及を目指し山口県の花博、防府市の緑化祭、山口市のスペインフェスタ等のイベント出演や自主ライブの開催をしています。この舞踊の素晴らしさを皆様にお伝えしなければと思っております。

毎年文化庁芸術祭参加作品に選ばれスペインの一流アーティストを招聘し東京で公演をしています。きつとつか故郷でも公演できるようなれからも精進してまいりますので、私共の活動にお力添えくださいますようよろしくお願い申し上げます。



防府市洋舞の会

防府市洋舞の会 会長 竹尾 耶衣子

今年、元号が変わろうとしています。また、新しい時代を迎えることに、わくわくしております。時代の流れに身をまかせ・・・、歌の文句ではないけれど、地域に根付いた活動をして行き、防府市洋舞の会も結成から二十年になりました。

私は、前会長青木昭代さんから、平成二十四年から会の会長を引き継ぎ、当時幼稚園から高校生までの子どもたちが、現在大人に成長し、先生として指導者となり、生徒さんたちと一緒に発表会に取組まれている姿を見ることが出来、心暖まる思いです。我が子のように自分が教えた生徒が指導者となり、また、その生徒であった教え子が又次世代へと繋が行けば、これほど嬉しく誉れなことはいりません。

防府市洋舞の会は、現在、谷淑江スペイン舞踊スタジオダンサルテ、重藤亜季恵バレエスタジオ、牟礼フォークダンス同好会、イズミバレエスタジオ、カパークオクウアラレファ、ティアラバレエアート、キミエダンススタジオ、イクエフラPDCの八団体が、各会の発表会はもちろん、文化協会主催事業である防府市民文化祭の一環である洋舞フェスティバルにおいて、力を合わせて、継続開催しておりますことを嬉しく思います。

これからも夢を膨らませ、どのように進歩発展していくか、それぞれが自分の分野で輝ける道を歩くとともに、洋舞を支えて行ってほしいです。

自由に表現出来る今の時代を大切に生き、一人では何も出来ないけれど、手を繋いでくれる仲間がいてこそ芸術であり、この思いが今年の私のテーマです。

皆さんと共に笑ってなんでも話し合えて表現し、認め合いながら力になり、仲間づくり、人づくりを楽しみましょう。芸術は、まず自分自身が作品であることを忘れないようにしたいものです。

カパーカーカウイオクウアラレファ

ハワイアンフラの魅力

カパーカーカウイオクウアラレファ 主宰 周田 香

「カパーカーカウイオクウアラレファ」は、ハワイのフラの師より、伝統的なフラとハワイ文化を学んでいます。

日本では、ウクレレやギターの演奏で踊る現代フラが主流ですが、私達はハワイで古い時代から踊られていた古典フラも学んでいます。

古典フラは、ひょうたんや鮫の皮を貼って作られるドラムの伴奏で踊られます。また、ダンサーが石や竹などの楽器を使い詠い踊るスタイルもあり、演奏者やダンサーは、ハワイ語を正しく発音する事が求められています。

日々の練習では、フラだけでなくハワイ語の理解も深めるようにしています。

美しいハワイアンミュージックに合わせて優雅に、時には軽快に踊られる現代フラ、そして厳粛で神聖な迫力ある古典フラ、どちらも観る人々に癒しと感動を与える事ができる踊りであると確信しています。

フラの最大の魅力は、ダンサー達が幸福感と癒しを感じながら、仲間達と心一つにして踊る事により、それぞれの内面の美しさを表現できるところだと考えます。今後もフラの魅力を多くの人々に伝える為、様々な場所で活動させて頂きたいと思っております。



ティアラ・バレエアート

「観る人に感動を与える舞台」を目指して

ティアラ・バレエアート 代表 田村 梨乃

「ティアラ・バレエアート」は、平成二十四年一月に開校し、本年で七年を迎えました。一歳半から大人まで年齢に合わせたクラスがあり、現在、総勢七十名近くの生徒が所属しています。

バレエを通して、外見的な美しさやプロポーションだけでなく内面的にも協調性や忍耐力、精神力を養い、仲間として良きライバルとしてお互いが切磋琢磨し、成長していけるように生徒たちは日々レッスンに励んでいます。年に一度、当スタジオ主催の発表会を開催、また防府市文化協会が主催する洋舞フェスティバルにも参加しています。

私個人は、第一回目の洋舞フェスティバルからアキョバレエ研究所の生徒として参加させていただき、とても親しみと思い入れがあります。

亡き恩師も「観る人に感動を与える舞台」を目指し取り組んでいました。私もその意志を受け継ぎ、次の世代に繋いでいけるよう、また防府市の文化を高めていけるよう、これからも精進していく所存です。



重藤亜季恵バレエスタジオ

バレエスタジオ設立への思いと歩み

重藤亜季恵バレエスタジオ 重藤亜季恵

私のバレエとの出会いは八木和子バレエ教室の発表会でした。初めて見るバレエに魅せられた私は四歳より八木先生の下でバレエを始めました。

その後、バレエの本場ロシアポリシヨイバレエ学校に留学、エレーナ・リビンキナに師事しました。

帰国後、東京のNBAバレエ団に入団し全公演に出演、在団中は「読売日本テレビ文化センター錦糸町」にてバレエ講師も務めました。

二〇〇七年バレエ団退団後は防府に戻り、自分が学んできた経験を基にバレエを教えたいと「重藤亜季恵バレエスタジオ」を設立。生徒が技術向上と共に、人間的にも成長できる事を目指し指導しております。

さらに地域にバレエを広めたいと「松崎ふれあいまつり」をはじめとする地域のイベントに参加。二〇一三年からは防府市洋舞の会に所属し「洋舞フェスティバル」に出演、昨年は第一回発表会を防府市公会堂にて開催致しました。

キエフバレエ団来日の際には子役として出演、またレベルアップを目指し、バレエコンクール、講習会にも参加しています。

今後も微力ながら防府市の文化発展に貢献できるよう努めてまいります。



Izumi Ballet Studio

「防府市を芸術の街へ」

Izumi Ballet Studio 代表 清家 泉

防府市右田にあるイズミバレエスタジオは、二〇〇五年に設立し、今年で十四年目を迎えます。

防府市文化協会主催の洋舞フェスティバルに参加させて頂いてから今年で六年目となり、防府市の芸術を盛り上げていく一員として協力できていることに大変感謝しております。

イズミバレエスタジオでは二年に一度発表会を行うと共に、バレエコンクールや様々なジャンルの先生方とイベント等へ参加させていただき、バレエを通して豊かな表現力や音楽性、感受性を育て美しい芸術の世界に直接触れることで、子ども達の新たな可能性を引き出し見つけていけるよう、日々レッスンに励んでいます。

バレエのレッスンは決して楽なものではなく辛い時もあります。日々のレッスンを積み重ねて、憧れの衣装、憧れのトゥシューズを履いて舞台上に立った時の喜びはとて大きいものです。自分の姿を鏡で見て、自分自身と向き合い心も体も強く成長してほしいと願っています。

子ども達が人生の一頁に「バレエ」という素晴らしい思い出を残せるよう、愛情を込めて指導しています。

これからも私たちの街、防府市を芸術であふれる豊かな街にするため文化協会の一員として貢献できれば幸いです。



K I M I E ダンススタジオ

伸びやかにしなやかに

K I M I E ダンススタジオ「ルルベ」 谷口 ちよ

この度は防府市文化協会創立二十周年おめでとうござ
います。

文化を高める会の時の、文化福祉会館講座「ジャズダ
ンス」教室を三年間講座続け後にサークル活動「ル
ベ」とクラス名をつけ現在に続いています。

以前は、広いフロアでストレッチ・ステップ・ダン
スをした後は、運動量も多くの汗をかいたあとの爽快感
は、何とも言えない気持ちです。

K I M I E ダンススタジオのモットーである「元気で
美しくパワフルに」、プラスしなやかさを目標に皆さん
も続ける事で踊れるようになり精神力もつき感動でし
た。おかげさまで防府踊りに参加、フェスタアスピラー
ト、洋舞フェスティバル、昨年は「ほうふ幸せますまち
博」のイベント参加から山口夢花博に繋いで「手のひら
を太陽に」を元氣よく舞台上で踊りました。現在は、市内
の福祉施設にも出向いています。

K I M I E ダンススタジオも
今年で二十五周年目を迎えま
す。これからも、スタジオが皆
さんに元氣を与えることが出来
ますように。

自身の文化援助で繋がった皆
様に感謝するとともに、防府市
の文化協会の益々の発展を心よ
りお祈り致します。



防府映像サークル

第23回ビデオ作品発表会を終えて

防府映像サークル 会長 清澄 邦夫

昨年十月二十一日、二十三回目のビデオ作品発表会を
「イオンシネマ防府」で行いました。

文化協会やイオンシネマのご支援を頂きお陰様で
百八十人のお客様に楽しんで頂きました。皆様方に心か
らお礼申し上げます。

本格的なスクリーンに映し出された映像は迫力があり、
お客様共々楽しむことができました。

上映作品は「右田お田植祭り」畔田京子「三田尻駅か
ら防府駅へ」窪田耕二「フクちゃんの子育て」梶山淳子
「えひめあやめ」村本昭重「天神の七夕」市川泰毅「冬
の男」津森伸彦「SI狂走曲!」國廣眷爾「くじゅうの
冬景色」金重道子「大空の航跡」清澄邦夫「明治時代の
フォード快走」吉屋勇「防府市の石橋」米倉弘「爺と婆
の夏休み」石丸恵子「ハイビスカス」西村一「古地図を
片手にまち歩き」吉次和彦「私の中の三江線」大野進二
の十五作品でした。アンケートも好評でした。

ビデオは①会いたいときに会いたい人と会える②記憶
は、記録によって呼び覚まされる③ビデオは我が家の文
化遺産になるというメリットがあります。

帰らぬ人、帰らぬ風景、帰らぬ行事は、街の貴重な文
化遺産にもなります。

デジタルカメラやスマホは優れた記録機器として進化し続け
ています。これらを大いに活用して、大切な時間を楽し
むとともに、ついでに編集をされることをお勧めしま
す。

私たちのモットーは「楽しく撮って、楽しい作品を」
で和気あいあいとやっています。関心のある方はお気軽
に会場へお越しください。

※月例会と入会のご案内
毎月第三金曜日十三時三十分から松崎公民館で
入会者大歓迎とくに初心者
連絡先・清澄邦夫
電話 090-5374-5878 (携帯)

上山満之進に学ぶ会

上山満之進先生没後八十年記念「報恩墓参」

上山満之進に学ぶ会 上山 忠男

江泊出身の上山満之進は、官僚・政治家として多忙な
現職時代にも郷土愛が強く、「敷山城で戦死した二人の
僧侶を顕彰し、国指定とし、周防国府の研究を三坂圭治
先生にお願いし国の指定にしました。又、防府の今昔・
英雲公と防府・国府の研究など郷土の歴史の図書発行に
も援助を続けました。晩年には、郷土の子弟が向学心を
奮い起こし勉学に励んでほしいと東京の私邸を売り払っ
て図書館建設資金とするも、昭和十三年完成を見ること
なく亡くなりました。遺言どおり防府町に寄付し、名称
を「三哲文庫」と希望し決まりました。

三哲とは、吉田松陰・品川弥二郎・乃木希典の三先生
で、これを手本とし図書館で学んでほしいと希望しまし
た。

昨年七月三十日には、右に述べたように上山満之進は
郷土の恩人と云われていましたので、特に報恩墓参と呼
び掛け墓参しました。墓参に当たって江泊の方が五月か
ら周辺を整備し直前には、七十名の方が一斉に清掃いた
だき参列者を迎えることが出来
ました。

地元自治会長のご挨拶で「地
元では上山さんと云わないで上
山様と云っているのです」と話
され、没後八十年後も大事にし
ていただいていることを改めて
感謝した次第です。



防府野村望東尼会

維新百五十年を終えて

防府での野村望東尼の顕彰活動は今

防府野村望東尼会 会長 岡本 早智子

福岡に生まれ育った勤王歌人野村望東尼は、高杉晋作他多数の若い志士達を平尾山荘で支援しました。その罪で、六十歳の時姫島に流され、十か月後今度は高杉の手配で奇跡的に救出され、下関へ脱出しました。高杉を取った後は山口から防府へと移り、慶応三年十一月六日、六十二歳にして三田尻で客死しました。望東尼は、桑山に葬られ、楯取素彦により現在の墓碑が出来ました。

望東尼の顕彰は、桑山近辺の女性達によるお墓参りや墓掃除に始まったようで、特に墓碑建立（明治二十六年）後は、顕彰会の名前や規模は変わっても、脈々と続いて来ています。

現在の「防府野村望東尼会」は平成九年九月、大西方会長のもとで動き出し、平成十四年から上山喜譽会長のもと、百四十回忌記念事業が立派に推進され、平成二十七年から不肖岡本が会長を務め百八十人の会員と共に通常の活動に合せて、百五十回忌記念事業（平成二十八年）と維新百五十年記念事業（平成三十年）の推進に、力を注いで参りました。この間で特に思い出深いのは、『望東尼物語』の編集・刊行、望東尼最後の歌『冬ごもりこらえこらえて一時に花咲き満てる春は来るらし』の歌碑建立、そして昨春の『維新百五十年記念「福岡・下関の望東尼と晋作を辿る旅」』バスツアー等です。

これからも、会員のみなさまと心を合わせ、尊敬して止まない望東尼様の顕彰に励みたいと考えております。

防府史談会

防府史談会の歩み

防府史談会会長 脇 正典

防府史談会は、会則第二条に「本会は郷土の歴史を探り、その知識を広めることを持つて目的とする」とある。明治百年を記念して、昭和四十三年一月に史談会は発足した。以来半世紀に渉り継続している。研究誌『佐波の里』は同四十六年十一月に創刊号が出され、平成三十年まで四十六号が出されている。

史談会の前身は、昭和五年に当時の小山介造防府町長が発起人となりできた「防府郷土史料保存会」である。その後太平洋戦争で中断していたが、前「防府市史」刊行後の同三十六年九月に「防府史料保存会」が再興された。防府史料編纂の委員が中心となり、同四十三年に「防府史談会」ができた。

昨年は明治維新百五十年であることから、幕末・維新时期、特に四境戦争（幕長戦争）を中心に講演・研究発表会を行った。年間事業として、研究誌『佐波の里』の発行、研究発表会、文化講演会、歴史講演会、歴史講座、古文書講座、歴史散歩等を行っている。

史談会の出版事業としては、昭和四十二年に三坂圭治氏の『防府の今昔』の刊行がある。以後中断していたが、平成十六年に『防府市内の狛犬』、同十九年に『防府の鳥居』、同二十三年に『防府霊場八十八か所めぐり』、同三十年に『山陽道散策』を出版している。



煎茶道三葵亭賣茶流

煎茶の祖賣茶翁に学ぶ煎茶道

三葵亭賣茶流 國貞 喜美江

文化協会創立二十周年お慶び申し上げます。
賣茶翁は、月海元昭という黄檗宗（おうぼくしゅう）（禪宗の一つ）僧侶の通称で正確には高遊外賣茶翁といわれています。

肥前蓮池に生まれ十一歳で仏門に入り化霖禪師に師事。黄檗山に於いて修業中疫病に罹り一笠一杖の雲水行脚で奥州を経て再度師の元で修業を重ねた後、仏門を離れ茶に傾倒し、京都東山に「通仙亭」なる茶店を設け茶賣りを生活の資とする。その通仙亭の宣伝文句が奇抜で、「茶錢黄金百溢（一溢は二十両）より半銭は呉れ次第、ただよりは負け申さず（高額はもらわないが、ただよりは負けない）」。そばに竹筒を置き、茶代は客が随意投げ込む。背負う茶具は豪華で名代の文人高僧の題した書画など多く、都の風流人は釜の煮える音、松風の音や柴木の煙など自然の封がに魅せられ、集り来たる、貴賤を問わず料の有無を問わず茶を呈する禅僧こそ煎茶道の祖賣茶翁である。

三葵亭賣茶流は文人的な道を愛好し学び、「風流・風雅の交換する」ことを本質として、「いつでも、どこでも誰でもできる煎茶道、文人花」まさしく賣茶翁の心を現代に実践することを目的に自然の動作の中においしいお茶を淹れ「一期一会」を楽しみに斯道の研鑽をつみたいと思います。



ラベンダーの会

ラベンダーの会 代表 熊安 悦子

このラベンダーの会は、防府市市役所の四号館前にある花壇にラベンダーを植栽しています。花壇の手入れは五、六年は経つでしょう。毎年、更新用のラベンダーの挿し木をしています。現在、会員は七、八人です。平成三十年四月にラベンダーの会としてハーブ料理を毎月一回、右田公民館で開催しています。

ハーブ料理では、育てたハーブを利用することで心身ともに健康になれる園芸療法を取り入れて実施しています。ハーブが好きな人、精神的、社会的、肉体的に元気になりたい方などにお勧めです。実は、私自身もラベンダーの挿し木をしたことにより毎日毎日ラベンダーを育てていくうちに自分自身が元気になった経験があります。父の介護に園芸療法を取り入れ、ただ単に、お花などを育てるのではなく、障がいがあっても達成感を自覚して頂けるよう指導します。五感をフルに発揮して頂けるよう配慮致しています。今のところまだまだ少人数ですが育てたハーブや野菜を使って楽しいコミュニケーションの場にし、地域環境を美しくしていきたいものです。元気な方も、元気を取り戻したい方も楽しいハーブ料理に参加しませんか。先月十二月にはサフランやハイビスカス（ローゼル）等で黄色、赤色の自然豊かな素敵なお餅ができました。

子供さんや高齢者の方にも食べやすいお餅作りもしました。

ラベンダーの会入会費は無料、材料費のみ徴収を致します。

連絡先：NPO・JHS認定・上級ハーブインストラクター
日本園芸療法学会認定・専門認定登録園芸療法士
日本心理学会・認定心理士 熊安悦子 090-4899-4300

表流防和会

日々是好日

表流防和会 河内山 厚子

表流防和会は、表千家流茶道の研鑽と会員の親睦を図り、表千家同門会防府地区、青年部とともに「和敬清寂」の心を広めていこうとする会です。

平成から新しい元号に変わる今年、奇しくも表千家では昨年、而妙齋宗匠から十五代の猶有齋宗匠へ代が譲られました。表千家の伝統は長い時間軸の中で継承され、世代交代による新しい流れを受け、私たちは表千家の全国の会である同門会の一員として、気持ちも新たに茶道を学んでいます。

年間を通じ、茶筌祭、慈善茶会、追善茶会、市民文化茶会などを市民の皆様と共に楽しみ、また防府天満宮、公民館や学校茶道の活動を地道に行っています。青年部も防和会とともに、県・地区行事を積極的に取り組んでいます。

昨年は市とコラボして、毛利邸築百年・明治維新百五十年を祝う『毛利邸で和を愉しむ』茶会を裏千家、専心小笠原流の方達と一緒に行いました。

これからも伝統文化としての茶道を通じて地域の文化発展に尽力すべく精進してまいります。



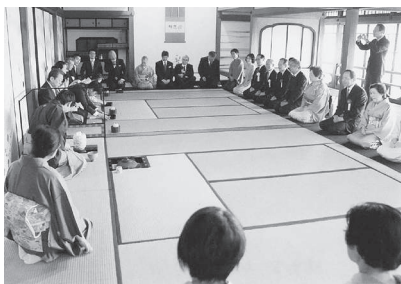
茶道裏千家淡交会

和の文化の継承のために

茶道裏千家淡交会山口支部 幹事長 高橋 宗周

淡交会山口支部は県央、(山口市、防府市)と津和野を含む広い地域の中で、一定の資格を有し、茶道を愛好する三百数十名の会員で構成される団体です。支部内の青年部は、五十才迄の会員を中心に、茶道経験の浅い若い人達が、新しい試みに挑戦したり、茶道紹介に尽力する活動をしています。又、支部内中学校茶道連絡協議会では、幼児から大学生迄、各種教育機関に於いて茶道の教育活動をしております。茶道と言う和の文化を伝承して行く為に、資格を有する会員も年に数回、裏千家元直属の講師から指導を受けます。日頃の稽古を実践する場として、毎年、初点茶会、追善茶会、チャリティー茶会を山口市、防府市交互に開催しております。又、防府市からの依頼により、毛利邸完成百周年、明治維新百五十年「毛利邸で和を愉しむ茶会」を三年続け、皆様に楽しんで頂きました。恒例となりました文化協会主催の市民茶会は、気軽に茶会を楽しめる体験の場として定着しております。

毛利邸、英雲荘、天満宮等、防府には県内外の茶道愛好者から羨望される沢山の施設があります。恵まれた環境に感謝し、伝統文化茶道を広く理解して頂く為、精進して参ります。



防府市華道連盟

伝統文化の花道

防府市華道連盟 羽嶋 秋貞

防府市文化協会二十周年おめでとうございます。防府市華道連盟は、華道をとおして文化の向上に寄与することを目的として、昭和四十七年に華道五流派で結成し、現在は六流派で活動しております。春にはじばさんフェアに協賛して華展、秋には市民文化祭華道展、国指定史跡英雲荘の支関と奥の書院の床の間に、六流派交替で季節の花を活けております。

昨年は明治維新百五十年祭で国指定旧毛利邸の支関と各部屋の床の間に花を飾ることができ、また拝観においてになったお客様からご希望の方にギャラリー舞衣にて生け花を体験学習していただきました。

日本の伝統文化を多くの方々に知っていただく様、六流派で努力しております。流派によっては伝統文化を未来につないでいただく様、子供いけばな教室を開催しております。

花を見て心を癒す
伝統文化の継承を連
盟一丸となって頑張
ることで、防府市の
文化の向上のお役に
たてばと思っております。今後も防府市
文化協会のご発展を
お祈りいたします。



花供養あじさい会

花供養あじさい会 会長 佐戸レイ子

今、心の時代。「花供養」は花の命に愛しみと感謝の気持ちを含めて、人と花とのかわりを素直に感じ取り、その絆を心の文化として命の尊さと思いやりと優しさを要に、あじさい祭りを盛り上げようと、平成五年六月に第一回花供養を始めて平成三十年で二十六回無事続けることができました。

「有意義な会」になるようにと、阿弥陀寺住職、林寛孝氏の協力のもと、執り行つて参りました。

行政観光協会、市内の事業所、短大、高校、幼稚園の協力や花屋、花市場の支援もあり、阿弥陀寺あじさい祭り「花供養」は防府の初夏の観光の一大行事として防府の観光振興に貢献して参りました。

あじさい会員はいけ花、押し花、お茶、歌唱、着付け、化粧、写真、琴、尺八と幅広く特技を持つ素晴らしい仲間が花供養の志をもち集まりました。

「命への思いやりとやさしさ」を要に楽しい会となり感謝しております、ありがとうございます。

桑原一朗先生の「花供養の唄」もあります。ずっと継続できて、防府の「心」になると良いと思います。



防府茶道連盟

文化茶会 一服のおもてなし

防府茶道連盟 河内山 厚子

防府市文化協会創立二十周年おめでとうございます。防府茶道連盟は昭和四十五年「文化を高める会」設立時に市内の茶道各流派の参加により発会しました。現在は表千家、裏千家、煎茶道三葵亭賣茶流、専心小笠原流煎茶により活動を行っています。

茶道連盟の主な行事である市民文化茶会は「文化を高める会」の活動を含めると四十九回となり、「市民文化祭の中で外すことのできないものとなっております。文化の日」に因んで十一月の三日間、日替わりで各流派による趣向を凝らした茶席が設営され、雅味に富んだ雰囲気の中で点てられる一服のお茶が何よりのおもてなしと心掛けて、毎年行っております。近年、お子様連れのご家族の姿も多く見受けられ、「美味しかったよ」の声をいただくのと茶道が身近になった喜びを感じます。市民文化祭なればこそその気負うことのない「おもてなしの心」が一服のお茶を通して繋がる「一期一会」の出会いが伝統文化の賜物です。

これからも美味しい一服・一服を市民の皆様と分かち合えるよう精進してまいります。



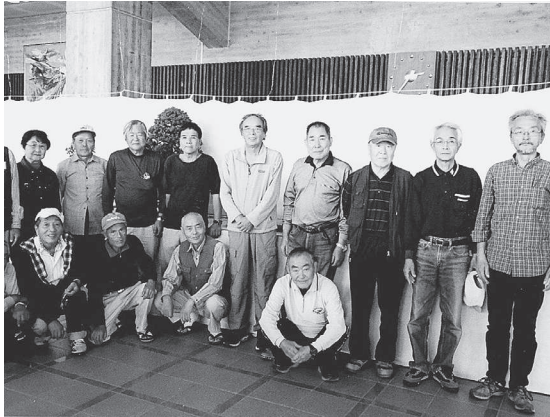
防府盆裁会

盆裁を楽しむ

防府盆裁会 会長 上田 和明

盆裁を通して友達になりましょう。老いも若きも女性も男性も月に一度の集いです。会場は、メンバーの曾我さんの家です。講師は、大道盆裁会も一緒の小林保先生です。

経験も豊富で、指導がとっても上手な先生です。第二週の木曜日十三時～十六時、二～三時間程度で、十人～十五人位が集まり和気あいあいと楽しいひとときです。盆裁素材も曾我さんにお問い合わせするとよいでしょう。一切お金が必要ない楽しい集いです。ぜひ一度参加してみたいかがですか。会員一同大歓迎です。年に二～三回の即売を兼ねた展示会を開催しています。



中関塩浜唄の会

三世代に渡る民俗芸能の保存継承について

中関塩浜唄の会 会長 藤井 清

私たちの住む故郷「中関」を中心とした「三田尻塩田」は江戸時代から昭和の中頃迄の長い間日本有数の塩業地のひとつとして発展し、故郷の繁栄を支えて来ました。

その塩田で働く人々(浜子)の間から生まれた「やっせ」の唄や踊りは地域の中で脈々と引き継がれて今日に至っております。又、大正十五年に「中関村」が「中関町」になった折に、記念に作られた「中関小唄」の唄や踊りと共に、普及保存し、継承していく為に、従来の「やっせ踊り保存会」を発展的に解消し、新たに「中関塩浜唄の会」(S・六十二・四)が結成されました。

そして、平成七年に「国」からの助成金により購入された太鼓等を契機に、会員の有志の中から「中関塩浜太鼓」が結成され幅広く活動をしております。

さらには、「えんしん幼稚園」「中関幼稚園」での夏祭りや運動会での園児の指導、「中関小学校」の運動会の生徒の指導「華陽中学校」での文化祭や運動会での生徒の指導、そして「塩田まつり」「中関ふれあいまつり」も併せて行っており、「やっせ踊り」「中関小唄」「中関塩浜太鼓」の唄や踊りと太鼓を三世代に渡り幅広く普及保存継承すべく努力をしております。



南京玉すだれ山口保存会

明るく楽しく元氣よく伝統芸能を継承

古典芸能南京玉すだれ山口保存会 会長 勝間 幸次

当山口保存会は、「南京玉すだれ」の継承と習得した技術でもって、慰問活動・イベント参加等地域貢献活動を目的に、平成二十年一月に勝間公民館で発足。防府市内に事務局を置き、山口防府地域を中心に県内で活動し、昨年創立十周年となりました。

毎月、防府市文化福祉会館で講習会の開催や、南京玉すだれの楽しさを体験してもらうため、随時体験教室を開催。また、老人ホーム等への慰問及び地域イベント、放課後子ども教室等に参加し、お陰さまで、昨年末までに二百七十回余り出演することができました。

当会は、「防府市文化協会」会員のほか、「防府市市民活動支援センター」、「防府市社会福祉協議会防府市ボランティアセンター」及び「防府市教育委員会ほうふ幸せます人材バンク指導者バンク」並びに山口市の公的三機関に団体登録して活動しています。

昨年は創立十周年記念行事として、六月にアスピラート音楽ホールで、「芸能のつどい」を開催し、多くの皆さんに楽しんでいただきました。

楽しい南京玉すだれ、あなたもやってみませんか！世界中の皆さんと仲良くなれて、人生が楽しくなりますよ！



防府民俗芸能連盟

防府民俗芸能連盟 会長 桑原 一朗

私たちの「ふるさと」防府は、佐波川を母なる川として栄え太古より人々が住みつき、美しい風土はさらさら人々を呼び文化を育て歴史を作り、県内でも最も多くの貴重な有形・無形の文化財を有しています。

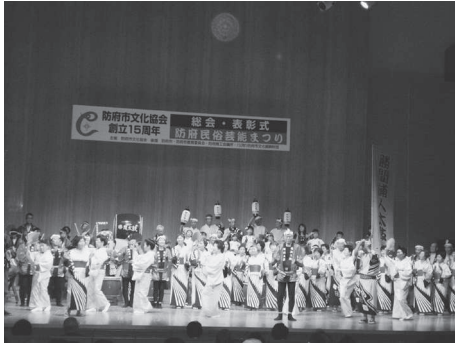
先人たちが継承してきた伝承・民俗芸能の足跡をたどり、彼らの文化を学び、明日の社会を創造していくことは、未来に向かっての大きな遺産ともいえましよう。

現在、連盟加盟団体は、二十五団体。文化協会総会に合わせ、五年ごとに、代表団体を選び「防府民俗芸能祭り」を開催して来りました。

昨年度は、文化協会二十周年記念事業の一環として、「防府の民俗芸能をたずねて」平成三十年版の冊子を、新しくカラー版で再版致しました。

今回は、連盟加入団体のみならず未加入の団体も、各地域に伝わる民俗芸能についても掲載する事が出来、喜びに堪えません。

今後は、防府の民俗芸能を市内外・県外に発信すべく、関係団体や、興味を持って下さる方々にもお配りしたいと思います。



笑い講

伝統文化伝承の大切さ 笑い講 代表 林 忠信

天下の奇祭笑い講は、全国的に知られていますが、これを世襲として、今後も続けて行くためには、いろいろな問題があります。八一九年続いたこの祭り、まず家の問題があります。家の間取り（十五畳の広さ）と後継者であります。この二点は、講員の皆さんと小俣八幡宮で話し合い、解決しております。

次に、この伝統文化をいかに周知、広めて次世代に伝える事が、重要と考え、先ず次のことを実践しております。まず、将来の子どもたちに、この笑い講の文化をよく知って頂き、伝承の大切さを教えるために、毎年一回大道小学校において、お笑い集会が開催されて、三十年続いており、学校と笑い講文化が、本当に正しく、教育されて、地区住民も感謝しています。またお年寄りについては、健康のためにも、いろいろな介護施設において、お笑い大会を実施しております。これは大変好評を得て、これからも続けて行きたいと思えます。

以上二点は、ほんの一例ですが、いろいろな所で報道されていますが、その都度強調し、お伝えすることは、伝統化の重要性と、誰がやるのか、それは関係者と、多くの人びとの協力だと思えます。それぞれの人が、この伝統文化を伝承したいとする気持ちを持って頂きたいと思えます。



創作風鎮神楽会

あゆみ 代表 古谷 忠隆

●2005年12月1日、「風鎮神楽会」として発足（防府市西浦）。以後、8月10日の氏神様・風鎮祭に神楽奉納。また、地元の祭り等で公演。

●2016年5月1日、「風鎮神楽会」を発展的解消し「創作風鎮神楽会」を立ち上げる。

5月31日、防府市アスピラートで発会式。
12月18日、西浦公民館にて初の練習開始。

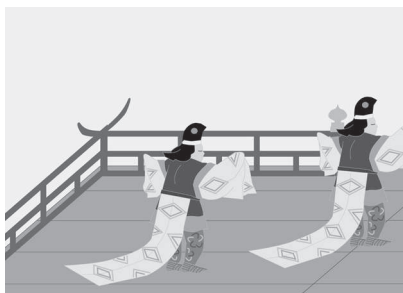
●2017年5月1日、「長州風鎮神楽社中」発足（防府市）。

12月18日、華西中学校で初公演。
●2018年、2月18日、「長州西の京神楽社中」発足（山口市）。7月1日、「長州天神神楽社中」発足。

7月11日、「長州風鎮神楽社中」解消（防府市）。
11月11日、西浦小学校で公演。

12月19日、華西中学校で公演。●現在に至る。

注：平成30年度、山口県内において地方公演を8回実施。
目的・・地方創生、青少年健全育成。



国府の節保存会

国府の節保存会 代表 林 伸彦

今は昔、奈良時代西暦七三〇年頃、現在の大道切畑の金山(かなやま)で長門鑄銭司の銅銭製造に用いる鉱石を採掘した。

その山開きの時、周防国府の役人とともに地元の人達が祝賀のために唄い踊ったのが「国府の節」と言い伝えられている。

防長風土注進案によると、三田尻村、三田尻町、西佐波令村、仁井令村、植松村、新田村、浜方村等で盆踊りの際に謡い踊り候事とある。

それからおよそ一三〇〇年、唄い継がれ踊り継がれて来たが、現代では防府市の一隅大道地区で伝承されているのみとなった。

当保存会は、昭和四十三年十月地区有志によって設立され、目的は郷土芸能の保存普及によって明るく豊かで健やかなふるさと造りをするとなつてゐる。山口県盆踊大会で一位入賞の輝かしい記録を残している。

活動は、主に大道地区での各種行事に出演し、他地区からの要請にも応じてゐる。近年は、大道小学校・同中学校の運動会にも参加し、郷土文化の継承・向上に努めてゐる。



大道人形浄瑠璃保存会

大道人形浄瑠璃保存会 会長 川本 禮子

大道人形浄瑠璃を未来に引き継ぐ子どもたち

平成三十年十一月二十九日、大道小学校屋内運動場にて、毎年人形浄瑠璃の発表会が地区の皆様や保護者の方々、報道関係の方々をお招きして、盛大に行われました。授業の一環として、大道に伝わる伝統芸能の指導を十六年前から始めており、大道では江戸時代から、明治・大正・昭和の初期まで大変盛んで、各地区にそれぞれ講がたち、娯楽の少ない時代大変喜ばれていたとのことです。「大道に行つて浄瑠璃を語る勿れ」とまで言われた時代。そういえば、隣のおじさんや父なども太閤記を口づさんでおりました。出前も行い、新築祝いや結婚式には必ず出たとのことです。昭和に入り、戦争や水害等で人形も流され自然消滅寸前のところ、旧家より頭二十体余りが発見され、同好会有志の方々により、保存会が発足しました。現代では、敬老会や老人ホームの依頼があれば、どこにでも出張しております。また、活動的に他地域の光人形浄瑠璃や安田系やつり人形芝居、徳地の人形浄瑠璃の方々と交流しています。人形浄瑠璃は、太夫・三味線・人形使いが一体となり始めて成り立つ芝居です。観る人に感動を与えるからには、それなりに練習が必要です。三者が心を一つにし、情を出し、泣き笑いなど様々の動作、むつかしい語り。どれをとっても、気を抜く訳にはいきません。子どもたちも二時間の正座をよく耐え真剣に取り組んでおり、まして楽譜があるわけもなし、昔ながらの教えを守つております。

四年前、学校の先生に協力して頂き、床本に語りの処節の付くところに三味線の音いわるチン・トン・テン・シャンを細かく書き込みとこと語りに入り、とこと節に入るか。のはず所、短くするところなど事細かく書き入れ今はその床本で勉強しております。毎年親子の情愛を表す「傾城阿波之鳴門順礼歌之段」を取り入れ、昔の字、ましてや浄瑠璃の元本は私たちがえわからず、理解し易いよう書きかえ、子どもたちは指導する私たちが頭が下がるほど皆真剣に取り組んで下さい。子どもたちにこの大道に残る伝統芸能継承のため頑張ってもらいたいと望みを持ち、命のある限り指導に参りたいと思つております。

ぜひ一度大道人形浄瑠璃を観に来て頂けたらと思います。

お手廻り保存会

防府市文化協会創立二十周年にやせて
防府天満宮お手廻り保存会 会長 田中 信治

防府市文化協会創立二十周年を迎えられましたことを心よりお祝いを申し上げます。設立以来、防府市の伝統文化・芸術活動の振興発展に貢献されてこられましたこと、伝統文化を継承する者として、改めて感謝とお礼を申し上げます。

当会は、防府天満宮の「花神子社参式」及び「御神幸祭」に奉仕しております。防府市は山陽道が東西に延び、江戸時代には九州の諸大名、また毛利の殿様が参勤交代の際必ずお通りになられる場所で数百名のお供を引き連れ江戸に赴く際、行列で殿様の護衛をする「手廻り」という役が、道具持ちの交代をする所作「奴振り」で地域の人々を楽しませたようでございます。その歴史的背景・文化を後世に伝える為に地域の神社(防府天満宮)にその伝統文化を「お手廻り保存会」として長く伝承して参りました。以来、地元有志で守り伝えて参りましたが、後継者不足により防府青年会議所が中心となり引き継ぎまして多くの方のご支援を頂き、今年四十周年を迎えます。これも偏に防府市文化協会様のご支援の賜物と深く感謝申し上げる次第です。今後ともこのお手廻りの伝統文化継承に精進いたし、防府市の観光・伝統文化の一助となるよう会員一同、行事や技術の継承に取り組んで参りたいと存じます。



防府中央ライオンズクラブ

第五十四代奉仕の心を受け継ぎ繋いでいく

防府中央ライオンズクラブ 会長 國田 浩一

防府中央ライオンズクラブは一九六五年に結成し、本年度で54年を迎えました。

ライオンズクラブの活動として、防府市内少年野球大会は42回目を数え開催し、防府市内小中学校善行児童生徒表彰を各学校にて表彰、献血推進イベント参加では皆様にお声掛けをし、たくさんの方々に協力をしております。

防府市役所交差点ほか毎月2回の立哨をする中で他団体の方、みまもり隊の方とお会いし地域の安全を守るという志は学ぶところがたくさんありました。

小中学校への植樹、清掃活動や幸せますフェスタにおけるビアフェスタ、愛情防府フリーマーケットなど、教育事業、ボランティア活動をはじめとする地域貢献事業ならびに災害地域への義援金支援を行っております。多くの先輩方が築いてこられた長い歴史の中で地域に対する奉仕の心の精神を大切に、ライオンズの会員が協力し合い、友好を図り切磋琢磨し、地域の発展に微力ながら貢献できればと共にライオンズ活動に励んでおります。

また、活動の活性化と会員増強の促進を図りたいと思いい、少しでも興味を持たれた方がおられましたらご一報下さい。会員一同お待ちしております。



華浦地区社会福祉協議会

「華浦音頭」について

坪郷 好夫

防府市華浦地区の「地域おこし」の一助にと、当時の華浦地域自治会連合会の吉次忠正会長が中心になられて、全住民から歌詞を募り作詞、踊りの振り付けを地区関係者で作成し、作曲は桑原一朗さんに依頼し、平成十六年の華浦地区文化祭で初めて披露された。

この時の製作者が華浦地域自治会連合会と華浦地区社会福祉協議会二つ組織でした。

歌詞には今では、懐かしい「鞠生松原・三田尻塩田・桑山・野村望東尼・お茶屋・英雲公・河野養哲」などの名所旧跡をおり込み最後は「みんなの笑顔で渡る希望の橋」と締めくくり、未来への思いを込めたものになっている。

今では、華浦地区の盆踊り大会、華浦小学校大運動会、敬老会、文化祭、地区イベント等で多くの地区住民の方々に参加いただき、披露している。今後、未永く踊り継がれると思う。



日本郵趣協会

(公財) 日本郵趣協会防府支部は

切手収集に興じる人々の集まりです
代表 齋藤 智

公益財団法人日本郵趣協会防府支部は、切手収集家の全国組織の支部で、三十四年前に設立されて、今日まで弛まず活動を続けています。趣味を通じての異業種交流の場としての性格が強いのですが、毎月の支部報と例会で会員が繋がっています。但し、組織の常として新しいメンバーの加入は欠かせないエネルギーであり、その目的の為に、外部へ向けてのイベントを欠かさずに続けています。

人を集めて支部への参入を促す為に、切手のテーブルバザールのイベントを、年三回開催しています。毎年四月と八月と十二月の最初の日曜日の、午前九時半から十五時まで、デザインプラザHOFUのクラフト展示ホールにおいて「防府切手のつどい」を開催しています。県下一円はもとより、広島県や福岡県、岡山県と熊本県に加えて、島根県等の県外からも大勢が集い、少しは知られたイベントに成長しました。この行事は、どなたでも参加ができる、入場無料の切手交換会です。



ホーリー会

ホーリー会（傾聴勉強会）の活動

ホーリー会代表 西村 忠夫

文化福祉会館での我々の勉強会もお陰様で十三年近く続いており感謝申し上げます。

当初十名弱で開始した会も現在では二十名強が集まり毎月一回、防府市内の仲間を中心に県内各地からも参加し傾聴や心理療法の研鑽に励んでいます。

私達は産業カウンセラー、臨床心理士、保健師等の心理や福祉の専門家やメンタルヘルスに興味のある労務担当者との集りです。そして我々の相談業務の中で重要となる傾聴技法について元児童相談所長で経験豊富な堀江秀紀氏を講師に学習を続けており、ホーリー会の名前の由来もこれにあります。

ここで傾聴とは何かについて述べ我々の会の内容を少しでも知って頂ければと思います。人は簡単に理解できるような存在ではありません。人は言葉や表情から色々なメッセージを伝えますが、そのメッセージはその人の一部でしかありません。傾聴とは相手の身となって相手に寄り添い、相手の感情、欲求、葛藤など相手の内面の世界を理解しようとするもので日常の会話とは異なり、カウンセリングでは重要で大切な技法となるものです。



山口県退職公務員連盟

生涯現役で社会貢献を

山口県退職公務員連盟 防府支部長 吉川 知至

退職公務員連盟は、国家公務員・地方公務員を問わず、あらゆる職種のすべての公務員退職者で構成されている組織です。

その退職公務員連盟は、国・県・市いずれの組織においても、日本退職公務員連盟創立時の理念のもとで、次のような活動をしています。

即ち、①年金をはじめ、誰もが安心できる社会保障制度の構築と、健全な公務員制度の確立②会員相互の絆を深め、知識と経験を生かし、地域福祉増進や伝統文化高揚等の社会貢献活動の積極的な推進などです。

防府支部は現在、正会員数二百十名。男性会員が百六十六名、女性会員が四十四名です。職種別では、教職OBが百五十三名で全体の七十三%を占め、次いで市職OBの五十一名、その他となっています。平均年齢は七十五・八歳。会員総数も、ピーク時には五百三十名でしたが、今では会員の高齢化と減少が大きな課題となっています。

防府支部の活動は、四月の地区幹事会で承認を得た事業計画及び予算に基づいて進めています。退公連新聞及び県連盟・支部会報の配布を通じた情報提供をはじめ、愛情防府フリーマーケットへの出店、会員作品展や会員ふれあいの集いの開催、赤い羽根共同募金活動など行っています。

今後は、「生涯現役」をモットーに、その知識と経験を活かして、社会貢献・地域活動に積極的に参加したいと思っています。

防府天満宮

防府市文化協会創立二十周年おめでとうございます

防府天満宮 宮司 鈴木 宏明



これまでに防府市の文化財保護と継承に尽力された同会に心より敬意を表します。少子高齢化の時代、地方においてはすべてにおいて持続可能な事業展開が困難を極める中、神楽を始めとする伝統文化や地域の風土や習慣が創り出した音楽・舞踊など、ややもすると埋もれてしまいそうな文化財を、昔話とならないように市民の記憶から無くなるように努めてこられた意義は本当に大きいものがあると思います。

防府天満宮にとりまして、花神子社参式に格式を添える「お手廻り」保存会には四十年以上の長い年月使用したお道具の修理や新調に、また稚児舞・神楽「紅わらべ」の衣装修理にもお力添えを頂きました。更には三十年続く天神おんな神輿のお囃子を担当するかわいい小学生で構成する「梅っこ」には、その活動に対して表彰して頂き総会の折には皆さんの前で演奏させて頂くという子供たちにとっても記憶に残る素晴らしい機会を与えて頂きました。

このようなご支援により会員の向上意識は以前に比べはるかに高まり、会の運営存続と防府天満宮に大きなお力を頂戴しました。改めまして心より感謝申し上げます。

終わりになりましたが、防府市文化協会の益々の発展と防府市の文化が更に高まることを祈念申し上げます、お祝いのことばと致します。

防府市老人クラブ連合会

防府市文化協会創立二十周年御目出とうございます。私ども防府市老人クラブ連合会の会員もたくさんの方が、文化協会の会員として参加しておりお世話になっています。

防府市老人クラブでは、文化活動としては、昨年十一月七日に、第十五回俳句大会を開催し、防府市長様、防府市議会議長様、防府市社会福祉協議会様、JA防府とくち農業組合様のご支援を頂いて、伊藤仙女先生のご指導で入賞作品の表彰式を行いました。

八月には、御園生百合子先生の御指導で紙上川柳大会を行っております。また、十月三日には、文化財探訪として、山口花博へいきました。

十一月十四日には、ソルトアリーナで、フォークダンス交流会を開催しておりますし、山口県老人クラブのコーラス大会にも、牟礼・大道のコーラスクラブが参加しております。

個人的にも、各人が持っている趣味や特技を生かして、地域社会の福祉に貢献できればと各地域で活動を続けております。

ささやかなことではあります。少しでも防府市の一市民として文化活動に協力できればと努めてまいりますので、よろしくお願ひ致します。防府市文化協会の更なる発展を祈念いたしております。



防府青年会議所

公益社団法人防府青年会議所 活動報告

公益社団法人防府青年会議所

第五十九代理事長 新原 耕由

平素は、多大なるご支援ならびにご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たち公益社団法人防府青年会議所は、「明るい豊かな社会の実現」を理想とし青少年開発事業の開催や地域活性化事業など様々な活動を行っております。その中でも、日本三大天神の一つである防府天満宮の事業にも共催するなど、文化振興にも力を入れております。特に、毎年八月三日～五日の三日間、菅原道真公のご生誕をお祝いする「防府天満宮御誕辰祭」では、約二千個のろうそくを灯して「灯火の大河」を演出する「万灯の夕べ」を本会議所で行ない、文化資源を活かしたまちづくりに取り組んでおります。さらには、地域伝統行事「花神子社参式」や「御神幸祭」にも、御手廻りの奴（大名の御道具持ち役）として花神子や大行司・小行司の皆様と行列を共にしながらご奉仕させていただきました。まちの伝統文化の継承を目的とした活動も行なっております。

今後も、文化振興のための活動をメンバー一同しっかりと行なってまいりますので、皆様のさらなるご支援ならびにご協力を賜りますようお願い申し上げます。本会議所の活動報告とさせていただきます。



3. 会 則 等

防 府 市 文 化 協 会 会 則

(名 称)

第1条 この会は、防府市文化協会という。

(事務局)

第2条 この会は、事務局を防府市文化財郷土資料館内に置く。

(目 的)

第3条 この会は、市民の文化・芸術活動に理解と関心を持ち、会員相互の連絡、提携のもとに、あらゆる文化・芸術活動の促進を図り、市民の文化・芸術の向上に寄与するとともに、薫り高い文化に富んだまちづくりに貢献することを目的とする。

(事 業)

第4条 この会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う

- (1) 各種文化・芸術活動の推進と奨励に関する事
- (2) 各種文化・芸術活動の支援・助成に関する事
- (3) 各種文化・芸術活動の調査、研究、顕彰に関する事
- (4) 会員相互の連絡・提携に関する事
- (5) その他この会の目的達成に必要な事項

(会 員)

第5条 この会は、会の目的に賛同し、入会する次の会員をもって構成する。

- | | |
|-------|------|
| 第一号会員 | 団体会員 |
| 第二号会員 | 個人会員 |
| 第三号会員 | 学校会員 |
| 第四号会員 | 名誉会員 |

(入 会)

第6条 この会に入会しようとする者は、所定の入会申込書に当該年度の会費を添えて申し込むものとする。

(退 会)

第7条 この会を退会しようとする者は、会長にその旨を届け出なければならない。なお、途中退会者については、会費は返還しないものとする。

- 2 会長は、この会の会員として不相当と認めた場合は、理事の3分の2の決議を経て脱退させることができる。

(役 員)

第8条 この会に、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副 会 長 2名
- (3) 常任理事 若干名
- (4) 理 事 若干名
- (5) 監 事 2名
- (6) 顧 問 若干名

(選 出)

第9条 役員を選出は、会員の中から次の方法により選出する。

- 1 会長、副会長、監事は、常任理事会の議を経て選出する。
- 2 常任理事は、理事の互選により選出する。

- 3 理事は、会員の中から別に定める方法（別紙）により選出する。
- 4 顧問は、会長が常任理事会の承認を経て、委嘱する。

（任 務）

第10条 役員の任務は、次のとおりとする。

- 1 会長は、会務を総括し、会を代表する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、副会長のうちあらかじめ会長が指名する者がその職務を代理する。
- 3 常任理事は、常任理事会を構成し、この会の運営に関する事項を企画執行するとともに、総会並びに理事会に付議する事項について審議する。緊急重要な事項については、審議決定する。
- 4 理事は、理事会を構成し、この会の運営に関する事項を審議決定する。
- 5 監事は、会務及び会計を監査する。
- 6 顧問は、会長の諮問に応ずるとともに、意見を述べることができる。

（任 期）

第11条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 役員に欠員が生じた場合における任期は、前任者の残任期間とする。

（事務局職員）

第12条 この会の事務局に、職員を置く。

- 2 職員（事務局長）の任免は、会長が常任理事会の承認を経て行う。
- 3 事務局長は、会務及び会計事務を処理する。
- 4 事務局長の服務については、防府市職員の例による。

（会 議）

第13条 この会に次の会議を置く。

- 1 総会 2 常任理事会 3 理事会 4 事業部会 5 専門委員会

（総 会）

第14条 定期総会は、会長がこれを招集し、毎年1回開催する。

- 2 臨時総会は、会長が必要と認めるとき、又は常任理事の3分の2以上の要求があったときは、これを開く。
- 3 総会において、次の事項を議決する。
 - (1) 予算及び決算に関すること
 - (2) 事業計画及び実施に関すること
 - (3) 会則の改廃に関すること
 - (4) その他必要な事項

（常任理事会）

第15条 常任理事会は、会長、副会長、常任理事をもって構成する。

- 2 常任理事会は、会長がこれを招集し、次の事項を審議する。
 - (1) 予算及び決算に関すること
 - (2) 事業計画及び実施に関すること
 - (3) 規約の改廃に関すること
 - (4) その他必要な事項

（理事会）

第16条 理事会は会長、副会長、理事をもって構成する。

- 2 臨時理事会は、会長が認めるとき、又は理事の3分の2以上の要求があったときは、これを開く。
- 3 理事会は、会長がこれを招集し、次の事項を審議決定する。
 - (1) 予算及び決算に関すること
 - (2) 事業計画及び実施に関すること

- (3) 規約の改廃に関する事
- (4) 退会に関する事
- (5) その他必要な事項

(事業部会)

第17条 この会に次の事業部会を設ける。

- (1) 市民文化活動支援事業部会
- (2) 文化振興奨励事業部会
- (3) 市民文芸選考事業部会

- 2 各事業部会の委員は、別に定める方法により委嘱する。
- 3 各事業部会は、別に定める方法により必要事項を審議決定する。

(専門委員会)

第18条 この会は、必要に応じ専門委員会を設けることができる。

- 2 専門委員は、会長が理事会の推薦によって委嘱する。

(会議録)

第19条 会議に際しては、会議録を調製し会議の次第及び出席役員の氏名を記載しなければならない。

- 2 会議録には、議長及び2人以上の役員が署名しなければならない。
- 3 前項の会議録に署名する役員は、議長が指名する。

(議長)

第20条 総会の議長は、会員の中から選出する。

- 2 常任理事会の議長は、常任理事の中から選出する。
- 3 理事会の議長は、会長とする。

(議決)

第21条 総会・常任理事会・理事会、及び事業部会は、構成員の2分の1以上の出席により成立し、議決は、出席者の過半数をもって決める。可否同数であるときは、議長が決するところによる。

(会計)

第22条 この会の経費は、会費、寄付金、補助金、事業収益金、その他の収入をもって充てる。

- 2 会員は、次により会費を納入しなければならない。

- (1) 第一号会員(団体会員) 年 3,000円
- (2) 第二号会員(個人会員) 年 1,500円
- (3) 第三号会員(学校会員) 無 料
- (4) 第四号会員(名誉会員) 無 料

- 3 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(積立金)

第23条 協会は理事会の議決を経て特定の目的のために積立金を設けることができる。

- 2 積立額については毎年度理事会に諮り決定する。

(その他)

第24条 この会則施行について必要な事項は、理事会において審議決定する。

附 則

この会則は、平成10年10月16日から施行する。

この会則は、平成13年2月23日に改正する。

この会則は、平成18年1月5日に改正する。

この会則は、平成24年4月1日から施行する。

この会則は、平成26年4月1日から施行する。

防府市文化協会 市民文化活動支援事業部会規約

(名 称)

第1条 この部会は、防府市文化協会市民文化活動支援事業部会（以下「部会」という。）という。

(目 的)

第2条 この部会は、防府市文化協会会則第17条に基づき、防府市に所在する企業、個人等（防府市外に在住する防府出身者を含む。）が参加して結成する組織で、防府市内で実施する文化・芸術等の活動を支援し、市民の文化・芸術の向上を図るとともに、潤いのあるまちづくりに貢献することを目的とする。

(事 業)

第3条 この部会は、前条の目的を達成するため、次の活動や事業を支援する。

- (1) 防府市に在住する団体及び個人が、防府市内で開催する文化・芸術等の活動に対する助成
- (2) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(会 員)

第4条 この部会は、部会の目的に賛同し入会した会員（企業及び個人等）をもって構成する。

(会 費)

第5条 会員は、会費を納付しなければならない。

- 2 会費は、年 一口 10,000円とする。

(役 員)

第6条 この部会に次の役員を置く。

- (1) 部 会 長 … 1名
- (2) 副部会長 … 1名
- (3) 委 員 … 若干名
- (4) 監 事 … 2名

2 委員は、市民文化活動支援事業部会で選任し、防府市文化協会会長が委嘱する。

3 部会長、副部会長は、市民文化活動支援事業部会委員会（以下「委員会」という。）で選任する。

4 監事は、防府市文化協会監事を充てる。

(職 務)

第7条 部会長は、この部会を代表し、その業務を統轄する。

2 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故のあるときは、その職務を代理する。

3 委員は、委員会を構成し、この部会の運営に関する次の事項を企画執行する。

- (1) 支援する事業の助成及び協賛に係る必要事項の決定
- (2) 別に定める審査基準及び方法による助成対象者並びに助成金額等の決定
- (3) その他、本事業の目的達成に必要な業務の処理

4 監事は、業務及び会計を監査し、委員会の議決を経て防府市文化協会の総会で報告する。

(任 期)

第8条 役員任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合における補欠役員任期は、前任期間とする。

3 役員は、辞任した場合、又は任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、必要な職務を行わなければならない。

(会 議)

第9条 この部会の会議は、委員会とする。

- 2 委員会は、部会長が7月と12月の年2回招集する。
- 3 委員会の議長は、部会長がこれに当たる。

(定足数)

第10条 委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議 決)

第11条 委員会における決定は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(報 告)

第12条 部会長は、委員会の審議結果及び審査結果を防府市文化協会会長に報告しなければならない。

(会 計)

第13条 この部会の経費は、会費及びその他の収入をもって充てる。

- 2 この部会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(その他)

第14条 この規約に定めるものの他、この部会の運営に関する必要事項は委員会の議決を経て、部会長が定める。

附 則

この規約は、平成11年9月3日から施行する。

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

市民文化活動支援事業助成金交付要綱

(目 的)

第1条 この要綱は、市民文化活動支援事業部会規約第7条第3項に基づき審査基準及び内容など必要な事項を定める。

(助成の対象者等)

第2条 助成対象となるものは、防府市に在住する団体、個人及び防府市出身者（以下「団体等」という。）とする。

(助成の対象事業等)

第3条 助成の対象となる事業は、別表に掲げる、文化・芸術活動等であって、防府市内で行なわれるものとする。ただし、次の各号に掲げる事業活動は、助成の対象としない。

- (1) 営利を目的とする事業
- (2) 利益が見込める事業
- (3) 宗教、政治的、商業的、または興業的な意図が認められる事業

(助成金の交付申請)

第4条 助成金の交付を受けようとする団体等（以下「申請者」という。）は、市民文化活動支援事業部会長へ6月末日、11月末日に、市民文化活動支援事業部助成金交付申請書（別紙 第1号様式 以下「申請書」という。）に掲げる書類を添えて提出しなければならない。

- (1) 事業計画書（別紙 第2号様式）
- (2) 事業収支予算書（別紙 第3号様式）
- (3) 団体概要書（別紙 第4号様式）又は個人概要書（別紙 第5号様式）
- (4) 第3号に掲げるもののほか、会長が定める書類

(助成金の交付決定)

第5条 部会長は、申請者から申請書の提出があった場合は、審査委員会を招集し、審査員の審査を経て当該申請書に係る事業につき助成金の交付が適当であると認めるときは、その旨を申請者に通知するものとする。

(事業完了の届出)

第6条 助成対象者は、事業が完了したときは完了の日から30日以内に支援事業実績報告書（別紙 第6号様式）に、次に掲げる書類を添えて部会長に提出しなければならない。

- (1) 事業実績書 （別紙 第6号-1様式）
- (2) 事業収支精算書 （別紙 第6号-2様式）
- (3) 請求書・領収書 （別紙 第6号-3様式）
- (4) 参考資料

(助成金の確定、交付)

第7条 部会長は、支援事業実績報告書の提出があったときはその内容を審査の上、助成金の額を決定し交付する。

(助成金の交付決定の取消等)

第8条 部会長は、助成対象者が、次の各号のいずれかに該当するときは、助成金の交付決定の全部または一部を取り消すことができる。

- (1) この要綱に違反したとき
- (2) 事業の実施方法が不適當であると認めるとき
- (3) 支出額が予算額に比して減少したとき
- (4) 収入額が予算額に比して増加したとき

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか助成について必要な事項は、部会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成11年7月19日から施行する。

この要綱は、平成13年3月22日に改正する。（第3条の第4項を削除）

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

【別 表】

補助対象事業	主 な 内 容
文化・芸術等の創出、伝承活動	① 音楽・美術・文芸・演劇などの創作、公演、展示、鑑賞の場づくり ② 歴史的街並保存等の文化的な環境づくり ③ 文化財、伝統芸能の保存伝承

◎市民文芸欄への投稿してみませんか

市広報「ほうふ」の一日号に掲載の市民文芸欄への投稿を広く募集しています。掲載された方で優秀な作品は総会にて表彰しております。

《部門》川柳・俳句・短歌・自由律俳句

☆同月一部門のみで3句（首）までに限ります。

☆各公民館・図書館・アスピラート・文化福祉会館・市役所に設置してある投句用紙又は官製はがきに、楷書で記入し、漢字にはすべてふりがなを必ず記入して下さい。（ファクスでの応募も可）

☆住所・氏名・電話番号を記入して下さい。

☆毎月二十日消印有効とします。

☆新聞・雑誌等に未投稿のものに限ります（二重投稿及び一度市広報に掲載されたもの不可。）

☆一句の中で仮名遣いは新旧のどちらかに統一してください。

☆投句された句は、選考・校正・印刷等の都合により3ヶ月後の市広報に掲載されることとなります。

作品は、選者による選考の後掲載します。

平成三十年度では、

川 柳…御園生百合子・河村康子・安村敏子

俳 句…伊藤仙女（林勇二）・藤井汎水・周防淑子

短 歌…久保敬・羽仁和子・藤本征子

自由律俳句…窪田耕二・富永鳩山・門田美和子

大変お世話様になっております。

防府市文化振興奨励賞授賞規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、防府市文化協会会則第17条に基づき、防府市の芸術・文化の振興に資するため、防府市文化振興奨励賞（以下「奨励賞」という。）を授賞することについて必要な事項を定めるものとする。

(授賞の対象)

第2条 市内に居住する者又は、主たる事務所等を有する団体で、次の各号のいずれかに該当する者に対して会長は、奨励賞を授賞する。

- (1) 芸術・文化の分野で高い水準の創作活動を行なっている者
- (2) 永年にわたり地道な芸術・文化活動を続け、多大な成果をあげている者
- (3) 芸術・文化の振興発展に尽力し、功績が顕著な者
- (4) 文化財、郷土芸能の保存、継承に永年にわたり尽力している者
- (5) 文化団体が主催する文化行事において、優秀な業績をおさめ、他の模範となる者

(授賞候補者の推薦)

第3条 会長は、次の各号に掲げる者に奨励賞の授賞候補者の推薦を依頼するものとする。

- (1) 防府市文化協会理事
- (2) 防府市教育委員会
- (3) (公財)防府市文化振興財団
- (4) その他、会長が特に必要と認める者

2 第2条各号に該当する者があるときは、別に定める授賞候補者推薦調書を会長に提出するものとする。

(文化振興奨励事業部会)

第4条 会長は、奨励賞授賞の候補者選考に関する事項を調査審議するため、文化振興奨励事業部会（以下「部会」という。）を置く。

2 部会委員は、次の各号に掲げる者について、会長が委嘱する。

- (1) 防府市長
- (2) 防府市教育長
- (3) (公財)防府市文化振興財団事務局長
- (4) 防府市文化協会副会長
- (5) その他、会長が特に必要と認める者

(授賞者の決定)

第5条 奨励賞の授賞者は、部会が選考した者のうちから、会長が決定する。

(賞及び授賞の期日)

第6条 奨励賞は、賞状及び記念品とする。

2 授賞日は、別に定める日とする。

(授賞の取消し)

第7条 第5条の定めにより、奨励賞の授賞の決定を受けた者が不都合の行為があった場合は、当該授賞の決定を取り消すものとする。

(追賞)

第8条 第5条の定めにより、奨励賞の授賞の決定を受けた者が、奨励賞を受ける前に死亡した時は、死亡後であっても表彰を行う。

(その他)

第9条 この規定に定めるもののほか、奨励賞の授賞について必要な事項は、部会において別に定める。

- 附 則 この規程は、平成11年3月25日から施行する。
この規程は、平成18年1月5日に改正する。
この規程は、平成24年4月1日から施行する。
この規程は、平成26年4月1日から施行する。

防府市文化協会市民文芸年度賞等授賞規程

（趣 旨）

第1条 この規程は、防府市文化協会会則第17条に基づき、防府市の芸術・文化の振興に資するため市民文芸年度賞等（以下「年度賞等」という。）を授賞することについて必要な事項を定めるものとする。

（授賞の対象）

第2条 市内に居住又は事業所に勤務する者で、川柳、俳句、短歌、自由律俳句の投稿者の中から毎年度中の市広報「市民文芸」欄に掲載された者の中から会長は年度賞等を授賞する。

（賞の種類）

第3条 賞の種類は、次の号に掲げるものとする。

- （1）市民文芸特別賞（同一部門で市民文芸賞を2回授賞した者）
- （2）市民文芸賞（同一部門で年度賞を4回授賞した者）
- （3）年度賞（川柳、俳句、短歌、自由律俳句の各部門からそれぞれ5句（首））
- （4）佳 作（年度賞を逸した者のうち、各部門からそれぞれ5句（首））

（市民文芸選考事業部会）

第4条 会長は、年度賞等の選考に関する事業を調査審議するため、市民文芸選考事業部会（以下「部会」という。）を置く。

部会の委員は、市民文芸選者に会長が委嘱する。

（受賞者の決定）

第5条 年度賞等の受賞者は、部会が選考した者のうちから会長が決定する。

（賞及び授賞の期日）

第6条 年度賞は、賞状及び記念品とする。

授賞日は、別に定める日とする。

（授賞の取り消し）

第7条 第5条の定めにより年度賞等の授賞の決定を受けたものが、不都合の行為があった場合は当該授賞の決定を取り消すものとする。

（追 賞）

第8条 第5条の定めにより年度賞等の授賞の決定を受けた者が年度賞等を受ける前に死亡した時は、死亡後であっても表彰を行う。

（その他）

第9条 この規程に定めるもののほか、年度賞等の授賞について必要な事項は部会において別に定める。

附 則 この規程は、平成11年2月25日から実施する。

この規程は、平成19年3月16日から実施する。

この規程は、平成24年4月1日から実施する。

4. 表彰

「防府市文化振興奨励賞」受賞者（団体・個人）一覧

年次	年 度	個人の部		団体の部	
		氏 名	部 門	氏 名	部 門
1	平成11年度	渡邊長月 花柳寿三五郎 長宗敦子 鈴木満寿子 若林清利 磯村百合子	短歌 舞踊 仕舞 箏曲 文化振興 茶道	華道家元池坊防府支部 アキヨバレエ研究所 三田尻女子高等学校バトントワリング部	華道 洋舞 音楽
2	平成12年度	加藤重美 加藤一雄 荻原旭 山田如仙 中山美代子 中河村一郎	陶芸 書道 郷土史 水墨画 箏曲 詩吟	グループ“キット” 末田・堀越壺まつり実行委員会 野島盆踊保存会 松崎歴史同好会 右田お田植祭実行委員会	美術工芸 美術陶芸 郷土芸能 学術郷土史 郷土芸能
3	平成13年度	西山ミサエ 木原節子 桑原一朗 山野富貴代 古橋谷昇子 橋口昌子	文化振興 華道 音楽 茶道 歴史文化 文化功労	下津令大神楽 敷山城址保存会 防府商業高校演劇部	文化 歴史・文化 文芸・演劇
4	平成14年度	脇正典 皆元百代 村松逸眺 中村みゆき	文化功労 ちぎりえ 尺八 茶道	中関塩浜唄の会 野島を愛する会 切畑代神楽保存会 防府詩吟連合会	郷土芸能 総合 郷土芸能 邦楽・詩吟
5	平成15年度	米本峯子 西村謙	華道 文芸	勝間歴史同好会 MUREジュニアマーチングバンド 半田代神楽舞保存会 小俣代神楽保存会 大道中学校吹奏楽部	学術文化 音楽 郷土芸能 郷土芸能 音楽
6	平成16年度	橋本藤夫 佐藤國憲 田村ハナエ 西村茂夫 杉山珠子	生活文化 音楽 生活文化 文芸 生活文化	華浦の歴史を学ぶ会 春日鬼面保存会	学術文学 生活文化
7	平成17年度	宮内威徳 田中是親 吉本鶴吉 末富和子 宇田富美子	文化功労 文化功労 民謡 華道 工芸	(財)小原流防府支部 華西中学校吹奏楽部 小俣八幡宮「笑い講」(特別文化功労賞)	華道 音楽 民俗芸能・文化
8	平成18年度	中藤尾岳 奨 増井鳳仙 子 坂田保子 登 花東香登代 田柳鶴千榮 田中 和 夫	邦楽(詩吟) 民謡 華道 舞踊 舞踊 生活文化	富海史談会 龍美女太鼓	学術文化 民俗芸能
9	平成19年度	池田幸子 角中悦太郎 筒井久夫 田中竹風	工芸(美術) 音楽 短歌 生活文化(華道)	防府グリークラブ 勝坂手作り会	音楽 美術

年次	年 度	個人の部		団体の部	
		氏 名	部 門	氏 名	部 門
10	平成20年度	御園生 百合子 羽 仁 和 子 伊 藤 仙 女 村 本 昭 重 坂 本 修 治 青 木 昭 代	文芸 (川柳) 文芸 (短歌) 文芸 (俳句) 映像 盆栽 洋舞	防府映像サークル 晒石奴長持保存会 国府中学校吹奏楽部 防府少年少女合唱団	映像 民俗芸能 音楽 音楽
11	平成21年度	坪 郷 久 榮 山 野 歌 奈 女 稀 音 家 六 知 せい 小 林 範 山 谷 村 一 美	生活文化 邦楽 (箏) 邦楽 (長唄) 邦楽 (尺八) 音楽	K I M I E ダンススタジオ 大村能章顕彰会	洋舞 音楽
12	平成22年度	松 田 龍 仁 山 田 アサコ 吉 田 稔 花 柳 扇 千 鶴	美術工芸 芸術 音楽 邦楽 (舞踊)	勝間浦人太鼓 宇佐八幡宮の腰輪踊り	民俗芸能 民俗芸能
13	平成23年度	針 間 文 彦 藤 澤 宗 和 佐 藤 通 新 山 王 哲	美術 生活文化(茶道) 音楽 総合	防府吹奏楽団 防長民謡会	音楽 邦楽 (民謡)
14	平成24年度	山 本 歩 高 杉 三 千 恵 中 野 光 栄 杉 山 玲 子	美術 (木彫) 美術(染色工芸) 文芸 (短歌) 生活文化(華道)	鴻峯吟詠防府朗吟会 中関小学校吹奏楽部	邦楽 音楽
15	平成25年度	久 保 敬 若 柳 吉 冬 貴 羽 嶋 貞 子	文芸 (短歌) 邦楽 (舞踊) 生活文化(華道)	上田流尺八道菅友会 山頭火讃歌隊	邦楽 (尺八) 音楽
16	平成26年度	上 田 清 子 國 廣 眷 爾 上 山 喜 譽 上 山 忠 男	民俗芸能 映像 歴史 学術・歴史	萌えぎ会 防府天神神輿囃子「梅っ子」	邦楽 (箏) 民俗芸能
17	平成27年度	西 山 森 作 窪 田 耕 二 久 保 聲 邦 竹 中 俊 二	民俗芸能 文芸 邦楽 (箏) 音楽	日本吟舞曾光流曾光会 十二の舞保存会	邦楽 (吟舞) 民俗芸能
18	平成28年度	永 田 菅 堂 國 貞 喜 美 江 原 田 信 夫 川 本 禮 子 河 村 康 子	民俗芸能 生活文化(茶道) 美 術 民俗芸能 文 芸	都山流尺八楽範山会 草月流新光会	邦楽 (尺八) 生活文化(華道)
19	平成29年度	原 田 紅 月 岡 田 博 幸 西 村 一 山 野 安 珠 美 田 村 京 子	生活文化(華道) 美術 映像 邦楽 (箏) 歴史	防府市俳句協会 天神おんな神輿の会	文芸 民俗芸能
20	平成30年度	中 村 ゆきえ 高 橋 瑞 峯 池 田 初 子 鰐 石 洋 己	民俗芸能 生活文化(華道) 生活文化(茶道) 美術 (写真)	若柳流吉冬貴の会 防府歴史と考古学の会 牟礼フォークダンス同好会 山口県立防府西高等学校吹奏楽部	邦楽 (舞踊) 歴史 洋舞 音楽

「市民文芸年度賞」受賞者一覧

部門	年度	第37回	第38回	第39回	第40回	第41回	第42回
		(平成10年度)	(平成11年度)	(平成12年度)	(平成13年度)	(平成14年度)	(平成15年度)
川柳	大橋 ツヤ子	大橋 九一	清水 俊子	河野 芳雄	大橋 九一	竹重 満夫	竹重 満夫
	田中 初枝	竹重 満夫	杉岡 静子	白井 智津子	久保 敬	藤井 美寿子	藤井 美寿子
俳句	林 スエノ	藤井 美寿子	田中 初枝	竹重 満夫	桑原 右峰	白井 智津子	白井 智津子
	伏谷 節代	堀江 勝子	種田 のぶ子	林 スエノ	中野 清子	伏谷 節代	伏谷 節代
短歌	安村 敏子	吉武 三和子	中川 フサ子	藤井 清子	山本 サカエ	河野 芳雄	河野 芳雄
	河野 雪江	今川 マサ子	内田 チエ	荒瀬 まゆ美	岡山 美彦	清水 正枝	清水 正枝
自由律俳句	益富 竹川	篠原 久子	津秋 悦代	河合 知子	金子 清子	今川 マサ子	今川 マサ子
	松永 美津江	中司 愛子	村上 重光	坂根 豊子	古谷 光子	栗本 房昭	栗本 房昭
市民文芸賞	三宅 和子	藤井 和春子	吉武 三和子	田中 盟子	四井 富士	内田 信子	内田 信子
	大田 茂樹	下瀬 常子	大田 茂樹	上田 スミエ	粟本 房子	脇屋 スミエ	脇屋 スミエ
特別賞	大佐山 アサ子	蓮住 キク子	大篠崎 康義	椎木 アサ子	大田 茂樹	上田 中花	上田 中花
	杉岡 静子	宮澤 美代子	菅本 緑一	原田 澄子	末永 地美	田中 久保	田中 久保
特別賞	該当者なし	該当者なし	該当者なし	該当者なし	該当者なし	該当者なし	該当者なし

部門	年度	第43回	第44回	第45回	第46回	第47回	第48回
		(平成16年度)	(平成17年度)	(平成18年度)	(平成19年度)	(平成20年度)	(平成21年度)
川柳	山根 利正	松村 玲子	松村 咲夫	山根 利正	白井 智津子	松村 玲子	松村 玲子
	田中 初枝	白井 智津子(4)	梅田 智子	田中 初枝	大平 峯	村重 栄子	村重 栄子
俳句	藤井 清子	竹重 満夫	藤井 清子	藤井 美寿子	福田 ナミエ	梅田 ともか	梅田 ともか
	南部 節夫	大橋 九一	重田 二枝	安達 愛子	藤井 幸生	山根 利正	山根 利正
短歌	中野 清子	中川 フサ子	杉岡 静子	村重 栄子	伏谷 節代	藤井 美寿子	藤井 美寿子
	河野 雪江	内田 チエ(4)	田中 盟子	篠原 久子	岸本 千絵	春吉 智子	春吉 智子
自由律俳句	山本 ミネ	村重 光子	松本 邦子	内田 チエ	藤田 玲子	山本 ミネ	山本 ミネ
	松永 美津江	國弘 恵子	山本 ミネ	俵 昭二	古谷 季子	村上 安遊	村上 安遊
市民文芸賞	荒瀬 まゆ美	篠原 久子	古谷 季子	田中 裕子	荒瀬 まゆ美	篠原 久子	篠原 久子
	村上 安遊	俵 昭二	津秋 悦代	金子 清子	大村 和子	俵 昭二	俵 昭二
特別賞	椎木 アサ子	林 タキ子	末永 敦子	丹後 日出雄	古谷 和子	重田 二枝	重田 二枝
	古谷 和子	重田 二枝	粟本 房子	山本 緑子	末永 敦子	金山 教夫	金山 教夫
特別賞	岸本 マサ子	山本 緑一	古谷 和子	林 タキ子	粟本 房子	篠崎 康三	篠崎 康三
	桂 ユリ子	吉末 一	岸本 マサ子	田中 花子	余園 岡子	林 タキ子	林 タキ子
特別賞	田中 育子	丹後 日出雄	山縣 美代子	篠崎 康三	山縣 美代子	山本 緑	山本 緑
	自由律俳句		三木 知子	新山 のぶ子	有 冬扇	河野 榆平	河野 榆平
市民文芸賞			江内 キヨ子	三浦 ツヤ子	丹後 日出雄	岡 里美	岡 里美
			田中 むつこ	門田 美和子	中村 ユキ子	藤川 未奈子	藤川 未奈子
特別賞			大村 久子	田中 里美	江内 キヨ子	松永 淑子	松永 淑子
			有 冬扇	下瀬 美保子	國澤 志帆	篠原 久子	篠原 久子
特別賞			坂根 豊	該当者なし	該当者なし	篠原 久子	篠原 久子
						俵 昭二	俵 昭二
特別賞						篠崎 康三	篠崎 康三
						林 タキ子	林 タキ子
特別賞	椎木 アサ子	該当者なし	該当者なし	該当者なし	該当者なし	山本 緑	山本 緑

部門	年度	第49回	第50回	第51回	第52回	第53回	第54回
		(平成22年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)
川柳	柳	佐藤静枝 杉岡静子 山本幸恵 中野清子 末岡千代子	吉川知至 藤井絹枝 坪郷英美子 佐藤哲夫 藤井幸生	山根利正 松村玲子 田邊千寿子 竹内英雄 宮内正子	佐藤哲夫 城尾公美 高松康子 村重栄子 岡村京子	佐藤哲夫 山本ミネ 坪郷英美子 田邊千寿子 松村玲子(4)	坪郷英美子 田邊千寿子 藤井絹枝 村重栄子 山根利正(4)
		田中裕子 田中盟子 光井加代子 津秋悦代子 村重光子	村上安遊 宮崎三郎 清水正枝 大村和子 山本ミネ(4)	河村一彦 光井加代子 田中裕子 俵昭二子 大村和子	三戸志津江 角本幸子 宮崎三郎 田中恵子 阿部明美	春吉智子 田中裕子 藤田玲子 関谷和子 山村さだ子	関谷和子 春吉智子 新山王哲子 山村さだ子 田中裕子
		余園岡子 椎木アサ子 末永敦子 栗本房子 古谷和子	田中義規 林タキ子 重田二枝 山本緑子 鈴木朝子	末永敦子 栗本房子 余園岡子 岡本泰代	重田二枝(4) 山本緑子 田中義規 山田公子 林タキ子	賤間由美子 栗本房子 河野美津子 河野豊子 余園岡子(4)	重田二枝子 末永敦子 林タキ子 山本緑子 江川詳子
		清水俊子 中村ユキ子 丹後日出雄 倉床節子 川村安奈子	松下満江 有冬扇平 河野榆子 西岡悦和 葛原希子	丹後日出雄 倉床節子 中村ユキ子 清水俊子 大村久子	有冬扇(4) 西岡悦子 米田多冴子 藤井総知世	清水俊子 倉床節子 河野榆平子 江内キヨ子 丹後日出雄(4)	松下満江苗 財間香悦子 西岡里美 田中吉崎剛
市民文芸賞	村重光子 末永敦子 栗本房子 古谷和子	山本ミネ	該当者なし	重田二枝 有冬扇	松村玲子 余園岡子 丹後日出雄	山根利正 田中裕子	
特別賞	該当者なし	該当者なし	該当者なし	該当者なし	該当者なし	該当者なし	

部門	年度	第55回	第56回	第57回			
		(平成28年度)	(平成29年度)	(平成30年度)			
川柳	柳	城尾公美 松村玲子 山根利正 坪郷英美子 田邊千寿子	江山豊 岡田芳江 藤井絹枝 重宗隆治 佐藤哲夫(4)				
		阿部あけ美 村瀧富子 三戸志津江 江山豊子 春吉智子	新山王哲 光井加代子 入江伸枝 田中裕子 藤岡久美子				
		余園岡子 賤間由美子 山田槌登 石井弘一 山本ヨネコ	山本緑(4) 末永敦子 重田二枝子 蓑島美佐子 江川詳子				
		倉床節子(4) 清水俊子(4) 河野榆平(4) 倉重遥代子 白石祥子	西岡悦子(4) 田中里美(4) 財間香苗 松下満江 佐伯初枝				
市民文芸賞	城尾公美 倉床節子 清水俊子 河野榆平	佐藤哲夫 山本緑子 西岡悦子 田中里美					
特別賞	該当者なし	該当者なし					

「支援事業振興賞」受賞企業一覧

防府市文化協会5周年支援事業振興賞表彰企業

事業所名	代表者名	事業所名	代表者名
(株)ロータリーコーポレーション	万野 龍之介	医療法人神徳会三田尻病院	神徳 真也
(株)シャンピアホテル	嶋崎 隆郎	医療法人至誠会 防府中央外科・胃腸科	谷川 精一
防府商工会議所	澤田 光穂	防府信用金庫	嶋本 博
山口銀行防府支店	辻田 信次	藤井建設(株)	藤井 勝
内崎建設(株)	内崎 美智代	日本通運(株)防府支店	宮中 豊
山陽建設工業(株)	塩田 津多子	(株)三友	元 正邦
防府天満宮	鈴木 宏明	藤本工業(株)	藤本 宏司
大村印刷(株)	大村 俊雄	防府青年会議所	中谷 泰
(有)防府モータース	米田 繁喜	英友総合設計事務所(株)	吉岡 保彦
作曲家	高橋 正剛		

防府市文化協会10周年支援事業振興賞表彰企業

事業所名	代表者名	事業所名	代表者名
防府商工会議所	澤田 光穂	医療法人至誠会 防府中央外科・胃腸科	谷川 精一
(株)ロータリーコーポレーション	万野 龍之介	藤本工業(株)	藤本 宏司
大村印刷(株)	大村 俊雄	医療法人神徳会三田尻病院	神徳 真也
山陽建設工業(株)	塩田 津多子	藤本工業(株)	藤本 宏司
防府信用金庫	嶋本 博	日本通運(株)防府支店	杉谷 一郎
内崎建設(株)	内崎 美智代		

防府市文化協会15周年支援事業振興賞表彰企業

事業所名	代表者名	事業所名	代表者名
(株)ロータリーコーポレーション	万野 龍之介	山陽建設工業(株)	塩田 津多子
防府商工会議所	澤田 光穂	防府信用金庫	嶋本 博
日本通運(株)防府支店	神田 俊彦		

防府市文化協会20周年支援事業振興賞表彰企業

事業所名	代表者名	事業所名	代表者名
(株)ロータリーコーポレーション	万野 龍之介	山陽建設工業(株)	塩田 津多子
防府商工会議所	喜多村 誠	東山口信用金庫	嶋本 博

5. 市民文化活動支援事業助成金交付状況

分野	年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
音楽・美術・文芸・演劇等の創作発表		<ul style="list-style-type: none"> 防府詩の会発足25周年記念アンソロジー出版【50千円】 	<ul style="list-style-type: none"> 和尚なまづ劇化発表【300千円】 郷土誌「三田尻」創刊号発行【10千円】 	<ul style="list-style-type: none"> 第4回ギターとマンダリンの集い【150千円】 親子で楽しむ手作りX'masコンサート【50千円】 	<ul style="list-style-type: none"> 第30回記念防府市新人演奏会【200千円】 「姫島婿島物語」公演【100千円】 	<ul style="list-style-type: none"> 芙蓉会合同葉俳句集発行【20千円】 04やまぐち県詩祭【50千円】 	<ul style="list-style-type: none"> 国府中学校防府の方言歌、踊りの創作発表【100千円】 第60回合唱コンクール大会【150千円】
公演・展示・鑑賞等の場づくり		<ul style="list-style-type: none"> 第3回アンサンブルジョイントコンサート【30千円】 防府ウインドアンサンブル【150千円】 	<ul style="list-style-type: none"> 人形劇「風の泉」の上演【150千円】 	<ul style="list-style-type: none"> 笛師九兵衛おもち箱コンサート【30千円】 		<ul style="list-style-type: none"> ミスター・ムーンライト<月光旅人>上演 劇団ろけっと☆まん【100千円】 	<ul style="list-style-type: none"> 防府ミュージカルキッズ【50千円】 和尚なまづ公演【120千円】
歴史的町並みの保存等 文化的な環境づくり			<ul style="list-style-type: none"> 防府天満宮お手廻り(奴)保存会【500千円】 全国山頭火フォーラムin防府【300千円】 		<ul style="list-style-type: none"> 第2回山頭火いろはかるた大会【50千円】 		<ul style="list-style-type: none"> 第3回山頭火いろはかるた大会【50千円】
文化財・伝統芸能の保存伝承			<ul style="list-style-type: none"> 第12回右田お田植祭【50千円】 大平ふるさと保存会(ヤンソラ踊り)【38千円】 	<ul style="list-style-type: none"> 浜子唄保存会背景幕製作【126千円】 西浦音頭【100千円】 切畑玉祖神社代神楽保存会【50千円】 		<ul style="list-style-type: none"> 華浦音頭作成事業【130千円】 切畑代神楽の伝承保存【200千円】 	<ul style="list-style-type: none"> 西浦えひめあやめ保存会【100千円】 勝間太鼓【250千円】

分野 \ 年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
音楽・美術・文芸・演劇等の創作発表	<ul style="list-style-type: none"> ・児童文学講演会【30千円】 ・防府映像サークル映写会【20千円】 ・市民音楽祭参加及び合唱講習会【20千円】 ・文化講演【5千円】 ・本を読む市民のつどい【4千円】 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民音楽祭参加及び合唱講習会【20千円】 ・山口県障害者芸術文化祭出品作品作成事業及び防府市障害者ふれあい芸術展出品作品作成事業【50千円】 ・創作ツリーコンテスト【10千円】 ・全日本アンサンブルコンテスト全国大会【100千円】 ・ロマンチックナイトin防府2007【10千円】 ・人形劇とゲーム巡回上演【70千円】 	<ul style="list-style-type: none"> ・H C B カウンテース結成40周年記念コンサート【100千円】 ・市民音楽祭参加及び合唱講習会【20千円】 ・文化講演会【10千円】 ・佐波中学校による防府の歌・踊りの創作【100千円】 ・華浦短歌会合同歌集「華浦」の出版【10千円】 ・子ども読書まつり【10千円】 	<ul style="list-style-type: none"> ・山頭火劇【60千円】 ・市民音楽祭参加及び合唱講習会【20千円】 ・市民短歌会【10千円】 ・市民川柳会【10.5千円】 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民音楽祭参加及び合唱講習会【20千円】 ・第4回山口県総合芸術文化祭'10やまぐち県詩祭【20千円】 ・第4回山口県総合芸術文化祭第47回山口県俳句大会【30千円】
公演・展示・鑑賞等の場づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・KIMIEDANCE スタジオ SPRINGCONCERT【50千円】 ・雅楽演奏【10千円】 ・人形浄瑠璃【10千円】 			<ul style="list-style-type: none"> ・勝間浦人太鼓【20千円】 ・勝間浦人太鼓指導（桑原一朗氏）【20千円】 ・第60回防府市美術展【50千円】 ・KIMIEDANCE スタジオ【30千円】
歴史的町並みの保存等文化的な環境づくり					<ul style="list-style-type: none"> ・防府天満宮御誕辰祭「万灯の夕べ」【50千円】
文化財・伝統芸能の保存伝承	<ul style="list-style-type: none"> ・勝間浦人太鼓・いきいきプロジェクト【90千円】 		<ul style="list-style-type: none"> ・天神囃子「梅っ子」【46千円】 ・創作「風鎮神楽」による地域の活性化【200千円】 		

分野 \ 年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
音楽・美術・文芸・演劇等の創作発表	・市民音楽祭参加及び合唱講習会 【20千円】	・合唱による老人保健施設慰問、学校訪問活動 【20千円】 ・山頭火讃歌隊結成10周年記念事業 【50千円】			・第9回山口県総合芸術文化祭'15やまぐち県詩祭防府 【50千円】
公演・展示・鑑賞等の場づくり		・第21回全国山頭火フォーラム 【100千円】	・フルートフェスタ山口2013 【100千円】	・中関小唄CD作成事業 【50千円】	・防府映像サークル第20回ビデオ作品上映会 【55千円】
歴史的町並みの保存等文化的な環境づくり					
文化財・伝統芸能の保存伝承			・防府民俗芸能まつり 【180千円】	・大道文楽人形浄瑠璃保存会による人形浄瑠璃公演 【30千円】	・「中関塩浜唄の会」による太鼓演奏 【30千円】

分野 \ 年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
音楽・美術・文芸・演劇等の創作発表	・最新版リーフレット野村望東尼ゆかりのまち防府（仮称）の作成・配布事業 【100千円】 ・西本正彦著 郷土の俳人種田山頭火の生涯と業績について教師の経験からみた彼の心と句を出版、頒布する 【150千円】 ・「野村望東尼150回忌記念短歌作品募集と優秀作品の表彰」事業 【100千円】	・語りつぐ藍と愛-襦袢・ぼろ展 【200千円】 ・西本正彦著「秘すれば花なり山頭火」出版事業 【100千円】 ・防府天神祭振興会30周年記念誌制作 【100千円】	・HCBカウントエース結成50周年記念コンサート 【100千円】 ・防府マンドリン・ギターアンサンブル第20回定期演奏会 【50千円】		
公演・展示・鑑賞等の場づくり	・防府民俗芸能連盟 大平ふる里保存会によるヤンソラ踊り 【30千円】 ・山口県書道連盟防府支部書道展 【50千円】 ・「上山満之進に学ぶ会」地域公開フォーラム 防府の先人 上山満之進の精神をいかに現代に活かすか～台湾との友好を目指して～ 【100千円】	・お手廻り道具保存修理事業 【400千円】 ・防府民俗芸能連盟西浦音頭保存会による西浦音頭 【30千円】			
歴史的町並みの保存等文化的な環境づくり					
文化財・伝統芸能の保存伝承		・「防府の民俗芸能をたずねて」改訂版作製及び配布事業 【200千円】			

6. 会 員 名 簿

平成30年度 団体会員

<p>○彫歩会 ○藍と愛の会</p> <p>〔音楽〕20団体 ○オカリナ花みずき ○合唱組曲佐波川を歌う会 ○防府マンドリン ○ギターアンサンブル ○勝間ギターアンサンブル ○大村能章顕彰会 ○大正琴さんご樹 ○防府吹奏楽団 ○防府市民合唱団 ○コール・シオン ○防府ふるさとコール ○サルビア・コール ○日本クラウ協会山口支部 ○防府音楽連盟 ○堀江鴻と ○ハワイアンドリムズ ○はちみつ合唱団 ○リトおんClub ○防府音楽協会 ○山頭火讃歌隊 ○HCBカウントエース</p> <p>〔邦楽〕28団体 ○鴻峯吟詠防府朗吟会 ○茜屋出雲流 茜会 ○岳誠流防府岳誠会師範会 ○防長民謡会 ○岳誠流日本吟道防府岳誠会 ○日本舞踊花扇の会 ○鶯朋吟詠会防府総支部 ○防府詩吟連合会 ○防府邦楽舞踊連盟 ○日本吟舞曾光流曾光会 ○都山流尺八楽範山会 ○箏曲「雅会」 ○都々美会 ○和歌奈会 ○上田流尺八道菅友会</p>	<p>〔文芸〕9団体 ○初めての自由律俳句の会みもぎ ○防府市俳句協会 ○防府市民短歌会 ○防府市市民川柳会 ○防府図書館自由律句講座 ○防府詩の会 ○防府市民文芸自由律俳句の会 ○文化サークル爛銀 ○山頭火ふるさと会</p> <p>〔美術〕27団体 ○ほうふ水彩画倶楽部 ○書研・風信会 ○書友会 ○絵手紙同好会 ○スケッチサークル十色会 ○アトリエ 8 ○すずらん会 ○鎌倉彫サークル ○西日本墨仙会 ○彫美会 ○レザークラフトひまわり ○防府市美術連盟 ○たんぼぼの会 ○さくららの会 ○防府市書道連盟 ○書研 鳩山書院 ○大濤書道会 ○絵手紙 楽の会 ○絵手紙 季の会 ○花桜の会 ○遊の会 ○書道塾 茜雲会 ○フォトフレンズ写意 ○面龍会 ○書の学習会</p>	<p>○都山流山口県支部松山会 ○吟詠岳奨会 ○萌えぎ会 ○鶴千榮会 ○千鶴の会 ○吉冬貴の会 ○友貴の会 ○祐矢の会 ○浜子うた保存会 ○長宗閑祥会 ○茜屋出雲流 松姿会 ○茜屋出雲流 松賀会 ○みんなよう華の会</p> <p>〔洋舞〕25団体 ○ベージック会 ○ムーメント会 ○アロハ・フラ フレンズ ○太極拳 翠楊会 ○ホームヨーガ ○ルルベ ○フォーキングダンス ○ウォーキングヨガ ○健康ヨガ倶楽部 ○フォークダンス研究会 ○大道リズムダンスクラブ ○太極拳なごみの会 ○龍華の会 ○子どもフラダンス ○イクエ フラ PDC ○牟礼フォークダンス同好会 ○Dance Studio Kirara Spirits ○谷淑江 スペイン舞踊 ○スタジオダンスサルテ ○のびのび健康体操 ○ヤエコ&リズムダンス ○カパークーカウイ ○オクウアパレリア ○ティアラ・パレエアート ○重藤亜季恵パレエスタジオ ○Izumi Ballet Studio ○防府ミュージカル ○キッズダンスアカデミー</p>	<p>〔映画〕1団体 ○防府映像サークル</p> <p>〔歴史〕3団体 ○上山満之進に学ぶ会 ○防府野村望東尼会 ○防府史談会</p> <p>〔生活文化〕38団体 ○煎茶道三葵亭賣茶流 ○カントリードールを作る会 ○着物リメイク教室 ○Chuno de Rosas ○ラベンダーの会 ○専心池坊山口県中部支部 ○大道盆栽会 ○華道家元池坊防府支部 ○華道二葉流山口県支部 ○衣服のリフォーム ○オレンジ ○表流防和会 ○洋裁 ○草月流新光会 ○日本礼道小笠原流煎茶 ○茶道裏千家淡交会山口支部 ○萌の会 ○専心小笠原流煎茶防府会 ○さくららんぼ ○茶道講座 ○若葉会 ○表千家青年部防府地区 ○パン・お菓子サークル ○着物の会 ○柴山古流清風会 ○小原流華城地区 ○伝統文化いけ花親子教室 ○防府市華道連盟 ○華道専心池坊防府会 ○お菓子サークル ○ハーブの会 ○花供養あじさい会 ○(財)小原流防府支部 ○着付サークル</p>	<p>○水月会防府支部 ○専心池坊山口西京支部 ○子供そろばん ○わか翠グループ ○防府茶道連盟 ○防府盆栽会</p> <p>〔民俗芸能〕7団体 ○中関塩浜唄の会 ○古典芸能南京玉すだれ ○山口保存会 ○防府民俗芸能連盟 ○笑い講 ○創作風鎮神楽会 ○国府の節保存会 ○大道人形浄瑠璃保存会</p> <p>〔福祉〕4団体 ○新田地区社会福祉協議会 ○防府中央ライオンズクラブ ○防府ライオンズクラブ ○華浦地区社会福祉協議会</p> <p>〔学術〕9団体 ○日本郵趣協会防府支部 ○ホーリー会 ○山口県退職公務員連盟 ○防府支部 ○防府市退職校長会 ○牟礼校区こども会 ○防府市老人クラブ連合会 ○ふるさと大道を掘り起こす会 ○親子ふれあいあそび教室</p> <p>合計171団体</p>
--	---	---	--	--

平成30年度
個人会員

〈文芸〉

佐藤 文彌
新山王 哲
三戸志津江
森坂 達夫
松本 幸子
佐藤 哲夫
藤岡久美子
重宗 隆治
江川 詳子
藤井 絹枝
藤井 汎水
久保 敬
藤本 征子
羽仁 和子
窪田 耕二
門田美和子
倉床 節子
石井 弘一

〈美術〉

佐古 淳子
光元 裕子
波多 洋子

〈邦楽〉

徳永 信子
若柳吉冬貴
原田 勇
若柳吉豊生
若柳吉祐矢
若柳貴吉香
若柳貴吉奏
若柳吉環貴
若柳貴千帆
山田 茉莉
伊藤 結彩
池本 笑彩
水岡 里絵
藤井 涼可
藤村美登里
池本 千賀
藤井 桂子
吉武真由美
中村 美恵
花柳扇千鶴
小林 範山

〈洋舞〉

西山 晋
谷 博子
竹尾耶衣子
谷 淑江
吉武真由美
藤本久美子

〈映像〉

村本 昭重
石田 祥子
畔田 京子

〈歴史〉

岡本早智子
長野 嘉久

〈生活文化〉

中島のり子

〈民俗芸能〉

中村ゆきえ

〈福祉〉

高森 哲郎

〈学術〉

斎藤 智
吉川 知至

〈文化協会〉

岡田 利雄
坪郷 久榮

〈一般〉

米村 雄二
福田まゆみ
中司千瀬子

合計 63

平成30年度
市民文化活動支援
事業部会会員

(株) カキタ徳山支店
(株) 土井工務店
(医) 社団大西眼科
山口工材(株)
(株) ロータリー
コーポレーション
誠英高等学校
山口県議会議員 渋谷 正
(株) 山口機械
鰐石歯科医院
防府荷役(株)
馬場回漕店
深川内科循環器科
防府商工会議所
東山口信用金庫
三田尻化学工業(株)
くらしげ小児科
大村印刷株式会社
山根勇事務所
澤田建設(株)
藤本工業(株)
山陽建設工業(株)
防府市長
斉藤段ボール(株)
村田株式会社

防府市教育委員会 教育長
防府とくち農業協同組合
医療法人 博愛会
(株) 原工務店
(有) シブヤ薬局
防府天満宮
防府青年会議所
深田 慎治
岡本早智子

合計 33

7. 歴代の役員

年代	平成10年6月～平成13年3月		平成13年度～平成14年度		平成15年～平成16年度	
会長	橋口 照男	音楽	橋口 照男	音楽	橋口 照男	音楽
副会長	太田 耕作	ユネスコ協会	太田 耕作	ユネスコ協会	吉岡 保彦	芸術文化協会
	吉岡 保彦	芸術文化協会	吉岡 保彦	芸術文化協会	福島 正則	商工会議所
常任理事			福島 正則	14年より商工会議所	中谷 泰・ 中塚 達美	青年会議所
	宮川 晃一	公民館	澤田 健規	青年会議所	山田 如仙	美術連盟
	櫻井 宏明	青年会議所	山田 如仙	美術連盟	桑原悦子・ 田中 佳子	音楽協会
	山田 如仙	美術連盟	桑原 悦子	音楽協会	杉山玲子・ 田中 節子	華道連盟
	桑原 悦子	音楽協会	山中 雅恵	華道連盟	種田 勇	川柳会
	末富 和子	華道連盟	伊藤 仙女	俳句協会	近棟歌登美	邦楽連盟
	伊藤 仙女	俳句協会	近棟歌登美	邦楽連盟	重村ゆき子・ 岩城克枝	ママさんコーラス連盟
	近棟歌登美	邦楽連盟	村木 浅江	ママさんコーラス連盟	富永鳩山・ 窪田 耕二	山頭火ふるさと会
	岩城 克枝	ママさんコーラス連盟	富永 鳩山	山頭火ふるさと会	内崎せつ子・ 新山王哲	ユネスコ協会
	富永 鳩山	山頭火ふるさと会	小林 雅明	文化振興財団	小林 雅明	文化振興財団 (15年)
	福島 正則	商工会議所			増野 泰夫	アスピラート館長
小林 雅明	文化振興財団			先村 健二	民俗芸能連盟	
理事	田中 詩生	川柳会	種田 勇	川柳会	伊藤 仙女	俳句協会
	渡邊 長月	合同短歌会	渡邊 長月	短歌会	渡邊 長月	短歌会
	大森昭太郎	勝坂手作り会	大森昭太郎	勝坂手作り会	大森昭太郎	勝坂手作り会
	山田 梓江	書道	山田 梓江	書道	山田 梓江	書道
	石川 功	音楽連盟	石川 功	音楽連盟	石川 功	音楽連盟
	青木 昭代	洋舞の会	青木 昭代	洋舞の会	青木 昭代	洋舞の会
	中尾 岳奨	詩吟連合会	小林 範山	邦楽尺八	中尾 岳奨	詩吟連合会
	花柳寿五郎	舞踊	花柳寿五郎	舞踊	花柳寿五郎	舞踊
	米倉 弘	映像サークル	中尾 岳奨	詩吟連合会 (13年まで)	小林 範山	邦楽尺八
	中村みゆき	茶道連盟	米倉 弘	映像サークル	山野富貴子	茶道連盟
	坂本 修治	盆栽連合会	中村みゆき	茶道連盟	坂本 修治	盆栽連合会
		坂本 修治	盆栽連合会	田村 清利	小学校長会	
		小中学校	校長会	俣賀 幹夫	中学校長会	
監事	坪郷 久榮	連合婦人会長	坪郷 久榮	連合婦人会長	坪郷 久榮	連合婦人会長
	池田 功	生涯学習課長	渡邊 輝美	生涯学習課長	渡邊 輝美	生涯学習課長 (15年)
					中尾 博	生涯学習課長 (16年)
事務局	吉川 邦雄	事務局長	吉川 邦雄	事務局長	小田 寛	事務局長 (15年)
	馬場 玲子	事務局員	馬場 玲子	事務局員	矢野 嘉彦	事務局長 (16年)
					馬場 玲子	事務局員 (15年)
					末富 美幸	事務局員 (16年)

年 代	平成17年～平成18年度		平成19年～平成20年度		平成21年～平成22年	
会 長	橋口 照男	音 楽	橋口 照男	音 楽	橋口 照男	音 楽
副会長	吉岡 保彦	芸術文化協会	先村 健二	民俗芸能連盟	新山王 哲	ユネスコ協会
	先村 健二	民俗芸能連盟	新山王 哲	ユネスコ協会	中尾 岳奨	邦楽舞踊連盟
常任理事	久保浩通・ 長沼 幸忠	青年会議所	田中康一・ 中村大二郎	青年会議所	先村 健二	民俗芸能連盟
	山田 如仙	美術連盟	山田 如仙	美術連盟	山田 如仙	美術連盟
	吉田 稔	音楽家	吉田 稔・ 桑原 一郎	音楽家	桑原 一郎	音楽家
	田中 竹風	華道連盟	田中繁満・ 末富 和子	華道連盟	末富 和子	華道連盟 (21年)
	みそのゆり	川柳会	御園生百合子	川柳会	原田 貞子	華道連盟 (22年)
	近棟歌登美	邦楽連盟	近棟歌登美	邦楽連盟	御園生百合子	川柳会
	岩城克枝・ 小林 雅明	女声合唱連盟	松田秀子・ 浅川紀代美	女声合唱連盟	近棟歌登美	邦楽連盟
	窪田 耕二	山頭火ふるさと会	窪田 耕二	山頭火ふるさと会	中村喜美子	女声合唱連盟 (21年度)
	新山王 哲	ユネスコ協会	増野 泰夫	アスピラート館長	岩城 克枝	女声合唱連盟 (22年度)
	増野 泰夫	アスピラート館長	中尾 岳奨	詩吟連盟 (20年)	窪田 耕二	山頭火ふるさと会
			深田 慎治	支援事業部 (20年)	増野 泰夫	アスピラート館長
					深田 慎治	支援事業部
					弘中 貴之	青年会議所
理 事	伊藤 仙女	俳句協会	伊藤 仙女	俳句協会	伊藤 仙女	俳句協会
	渡邊 長月	短歌会	渡邊 長月	短歌会	羽仁 和子	短歌会
	大森昭太郎・ 中田英二	勝坂手作り会	中田 英二	勝坂手作り会	中田 英二	勝坂手作り会
	山田 梓江	書道	山田 梓江	書道	山田 梓江	書道
	石川 功	音楽連盟	石川 功	音楽連盟	石川 功	音楽連盟
	青木 昭代	洋舞の会	青木 昭代	洋舞の会	青木 昭代	洋舞の会
	小林 範山	邦楽尺八	中尾 岳奨	詩吟連合会	小林 範山	都山流尺八範山会
	坂東香登美	舞踊連盟	小林 範山	邦楽尺八	花柳扇千鶴	舞踊協会
	中尾 岳奨	詩吟連盟	花柳扇千鶴	舞踊連盟	清澄 邦夫	映像サークル
	清澄 邦夫	映像サークル	清澄 邦夫	映像サークル	宗野 初枝	茶道連盟
	山野宗貴・ 藤津 常樵	茶道連盟	藤津常樵・ 國貞喜美江	茶道連盟	岡 義和	盆栽連合会
	坂本 修治	盆栽連合会	坂本 修治	盆栽連合会	藤田 健二	小学校長会
	藤田 辰夫	小学校長会	芝口 英夫	小学校長会	松原 秀樹	中学校長会
原田 信夫	中学校長会	白杵 裕世	中学校長会			
監 事	坪郷 久榮	連合婦人会長	坪郷 久榮	連合婦人会長	坪郷 久榮	学識経験者
	中尾 博	生涯学習課長	岡部 忠則	生涯学習課長 (19年)	徳富 健司	生涯学習課長
			福田 雄二	生涯学習課長 (20年)		
事 務 局	猪俣 光生	事務局長 (17年)	岡崎久美子	事務局長	岡崎久美子	事務局長
	生雲 尚一	事務局長 (18年)				
	富重 典子	事務局員 (17年)				
	岡崎久美子	事務局員 (18年)				

年代	平成23年度		平成24年～平成25年		平成26年度～平成27年度	
顧問	橋口 照男	音 楽	橋口 照男	音 楽	橋口 照男	音 楽
会 長	岡田 利雄	個人・賛助会員	岡田 利雄	個人・賛助会員	岡田 利雄	個人
副 会 長	新山王 哲	ユネスコ協会	中尾 岳奨	邦楽舞踊連盟	中尾 岳奨	邦楽舞踊連盟
	中尾 岳奨	邦楽舞踊連盟	桑原 一朗	防府民俗芸能連盟	桑原 一朗	防府民俗芸能連盟
常任理事	先村 健二	青年会議所	羽仁 和子	防府市民短歌会	藤井 繁美	防府市俳句協会
	山田 如仙	美術連盟	中田 英二	勝坂手づくり会	岡田 博幸	美術連盟
	桑原 一朗	音楽協会	荻原 悦子	女声合唱連盟	田中 和実	大村能章顕彰会
	原田 貞子	華道連盟	竹尾耶衣子	ヤエコ& リズムダンス	竹尾耶衣子	ヤエコ& リズムダンス
	御園生百合子	川柳会	上山 喜譽	野村望東尼会	上山 喜譽	野村望東尼会
	近棟歌登美	邦楽連盟	高橋 宗信	茶道裏千家淡交 会山口支部	中野 倫子	草月流新光会
	林 清子	女声合唱連盟	新山王 哲	悠々会	新山王 哲	悠々会
	窪田 耕二	山頭火ふるさと会	吉川 知至	県退職公務員連 盟防府支部	吉川 知至	県退職公務員連盟 防府支部
	上原 久生	アスピラート館長	窪田 耕二	山頭火ふるさと会	窪田 耕二	山頭火ふるさと会
	深田 慎治	支援事業部	深田 慎治	支援事業部	深田 慎治	支援事業部
	竹内 恵一	青年会議所	林 勲	青年会議所	西村 直記	中学校長会
			西村 直記	中学校長会	山内 博則	文化・スポーツ 課長26年
			中村 淳二	生涯学習課長	藤井 隆	文化・スポーツ 課長27年
理 事	伊藤 仙女	俳句協会	富永 鳩山	防府市書道連盟	富永 鳩山	防府市書道連盟
	羽仁 和子	短歌会	片岡 泰鳳	書の学習会	鰐石 洋己	フォトフレンズ 写意
	中田 英二	勝坂手作り会	石川 功	音楽連盟	石川 功	音楽連盟
	山田 梓江	書道	小林 範山	都山流尺八範山会	小林 範山	都山流尺八範山会
	石川 功	音楽連盟	若柳吉冬貴	吉冬貴の会	若柳吉冬貴	吉冬貴の会
	青木 昭代	洋舞の会	徳本喜美恵	ルルベ	山野歌奈女	和歌奈会
	小林 範山	都山流尺八範山会	橋本 政代	華道連盟	徳本喜美恵	ルルベ
	若柳吉冬貴	舞踊協会	岡 義和	大道盆栽会	松下 里美	茶道連盟
	清澄 邦夫	映像サークル	佐戸レイ子	花供養あじさい会	荒瀬 玲子	オレンジ
	高橋 宗信	茶道連盟	鈴木 宏明	防府天満宮	鈴木 宏明	防府天満宮
	岡 義和	盆栽連合会	河村 俊之	小学校長会	河村 俊之	小学校長会
	村上 恭子	小学校長会	永田美津生	アスピラート館長	永田 美津生	アスピラート 館長26年
	西村 直記	中学校長会			湯面 栄二	アスピラート 館長27年
				林 勲	青年会議所26年	
				久保田雅久	青年会議所27年	
監 事	坪郷 久榮	学識経験者	坪郷 久榮	学識経験者	坪郷 久榮	学識経験者
	福嶋 慎次	生涯学習課長	清澄 邦夫	映像サークル	清澄 邦夫	映像サークル
事務局	岡崎久美子	事務局長	岡崎久美子	事務局長	岡崎久美子	事務局長

年 代	平成28年～平成29年度		平成30年～	
顧 問		岡田 利雄 29年	岡田 利雄	個人
会 長	岡田 利雄 28年	岡本 早智子 29年	岡本早智子	防府野村望東尼会
副 会 長	小林 範山	都山流尺八楽範山会	小林 範山	都山流尺八楽範山会
	竹尾耶衣子	防府市洋舞の会	竹尾耶衣子	防府市洋舞の会
常 理 任 事	佐藤 文彌	防府詩の会	佐藤 文彌	防府詩の会
	山田 如仙	墨仙会	山田 如仙	墨仙会
	石川 功	防府音楽連盟	石川 功	防府音楽連盟
	若柳吉冬貴	防府邦楽舞踊連盟	若柳吉冬貴	防府邦楽舞踊連盟
	岡本早智子 28年	防府野村望東尼会	河内山厚子	防府茶道連盟
	高橋 瑞峯	華道 二葉流	桑原 一朗	防府民俗芸能連盟
	桑原 一朗	防府民俗芸能連盟	坪郷 好夫	華浦地区社会福祉協議会
	坪郷 好夫	華浦地区社会福祉協議会	斎藤 智	日本郵趣協会防府支部
	斎藤 智	日本郵趣協会防府支部	窪田 耕二	個人会員
	窪田 耕二	個人会員	前原 隆志	中学校長会
	河村 俊之	中学校長会	深田 慎治	支援事業部
	深田 慎治	支援事業部	杉江 純一	総合政策部文化・スポーツ課長
	杉江 純一	総合政策部文化・スポーツ課長		
理 事	佐古 淳子	防府市美術連盟	佐古 淳子	防府市美術連盟
	藤井 三男	フォトフレンズ写意	藤井 三男	フォトフレンズ写意
	石川 功	音楽連盟	石川 功	音楽連盟
	竹内 亮	防府市民合唱団	竹内 亮	防府市民合唱団
	中尾 岳奨	防府邦楽舞踊連盟	中尾 岳奨	防府邦楽舞踊連盟
	若柳吉冬貴	吉冬貴の会	若柳吉冬貴	吉冬貴の会
	山野歌奈女	花柳 扇千鶴	花柳扇千鶴	千鶴の会
	徳本喜美恵	ルルベ	徳本喜美恵	ルルベ
	福田 育恵	イクエフラPDC	田村 梨乃	ティアラバレエアート
	國貞喜美江	防府茶道連盟	羽嶋 貞子	防府市華道連盟
	新山王 哲 H28	個人会員	中川 栄治	小学校長会
	中川 栄治	小学校長会	鈴木 宏明	防府天満宮
	鈴木 宏明	防府天満宮	新原 耕由 H30	防府青年会議所
	脇 幸典 H28	防府青年会議所	湯面 栄二	アスピラート館長
梅本 洋平 H29	防府青年会議所			
湯面 栄二	アスピラート館長			
監 事	坪郷 久榮	個人会員	坪郷 久榮	個人会員
	清澄 邦夫	映像サークル	清澄 邦夫	映像サークル
事務局	岡崎久美子	事務局長	岡崎久美子	事務局長

防府市文化協会『20年のあゆみ』の編集に携わって

防府市文化協会 事務局長 岡崎 久美子

防府市文化協会は創立20周年を迎え、この機会に20周年記念誌を作製するにあたり、改めて創立から現在までを紐解いて振り返る機会に触れ、平成12年に『生涯学習都市宣言』をし、市民活動のさかんな防府市に生まれながら、役員の皆さま・文化団体・会員の皆さま・諸関係団体等に支えられ、無事20周年を迎えられた事を実感し、感謝申し上げます。

防府市文化協会とのご縁を持つことができましたのは、平成18年の国民文化祭が山口県で開催された年でありました。防府市が自由律俳句大会の開催場所となり、山頭火の生誕地である防府市のPRや自由律俳句の普及に多くの方々のご尽力されたことが思い起こされます。あれから、13年。手腕のたけた歴代の会長様、役員の皆さま等のご指導・ご協力のおかげにより、今日まで事務局が続けられ、新しい課題や出会いの中で、自分自身を成長させて頂いていることに深く感謝するとともに、2020年には、日本で東京オリンピックが開催されることから、今まで以上に海外から多くの外国の方々が訪問され、おもてなしが行なわれる事となるでしょう。それは同時に、私たち日本人そのものが忘れていている日本の文化・芸術の重要性を再認識することにも繋がるように思います。

これまで文化協会を支えてくださった多くの先人の方々のご遺志も引き継ぎ、これから次世代にバトンタッチしながら、当会が、どのような役割を担っていけるのかを皆さまと模索し、未来に向けて継承・発展し前進し続けるよう、今後とも益々のお力添えをいただきますようよろしくお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

< 会員募集 >

◎ 防府市文化協会では、皆さんの文化・芸術に関する発表事業及び研究・顕彰・啓発事業のお手伝いをする団体です。団体会費3,000円、個人会員1,500円です。

* 会員特典

個人会員は、『防府の生んだ自由律俳人山頭火』を進呈。団体会員は、加入団体の共催・後援。文化福祉会館・公民館施設（文化福祉会館大会議室を除く）月1回1区分無料利用。（但し電気代等実費利用分は有料となりますので、必ず各施設にご確認ください。）

入会申込書（防府市役所文化・スポーツ課のホームページからダウンロード可能）と会費を添えて事務局へ。但し、団体会員については、会員名簿（氏名のみ）を添付してください。

* 期限：年度の4月1日から翌年3月31日までの一年間（年度ごと更新）

◎ 『防府の生んだ自由律俳人 山頭火』の新書を発売中

内容が子どもさんから大人まで、山頭火についてわかりやすくまとめた本を刊行しました。一冊**600円**。山頭火ふるさと館・アスピラート・デザインプラザHOFU・文化財郷土資料館3階文化協会事務局で販売しています。





裏表紙のこのロゴマーク（会章）は、カルチュア（文化・文明の意）のCを中心に市章を包んだ形で、本市の文化都市としての将来の夢を表したものです。

